

下水道用設計標準歩掛表（令和7年度版）の改定

新旧対照表

—第1巻 管路—

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路

頁	改定趣旨	現 行											
		レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	総括表用 単 位	数 量	単価(円)	金額(円)	摘 要		
10	本工事費 内訳の改定	管 路											
		(中略)											
			付帯工									A-10	
				排水構造物撤去工									
					L型側溝撤去		式 or m					*	
					ヒューム管撤去		式 or m					*	
					ボックスカルバート撤去		式 or m					*	
					PC管撤去		式 or m					*	
					暗渠排水管撤去		式 or m					*	
					管(函)渠型側溝撤去		式 or m					*	
					集水樹撤去		式 or 基					*	
					コルゲートパイプ撤去		式 or m					*	
					コルゲートフリューム撤去		式 or m					*	
					マンホール撤去		式 or 基					*	
					鉄筋コンクリート台付管撤去		式 or m					*	
					U型側溝撤去		式 or m					*	
					蓋版撤去		式 or 枚					*	
				(中略)									
		11	本工事費 内訳の改定	側溝復旧工									
							プレキャストL型側溝		m				
					L型側溝		m					*	
					均しコンクリート		m2					*	
					PC管		m					*	
					ヒューム管(B形管)		m					*	
					暗渠排水管		m					*	
					管(函)渠型側溝		m					*	
					鉄筋コンクリート台付管		m					*	
					巻きコンクリート		m3					*	
					側溝基礎		m					*	
					プレキャストU型側溝		m					*	
					コルゲートフリューム		m					*	
					自由勾配側溝		m					*	
					側溝蓋		枚					*	
					雨水ます取付管復旧工		箇所					*	

工 種 名		管 路 施 設 (開削工法)									
改 定											
レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	総括表用 単 位	数 量	単価(円)	金額(円)	摘 要		
管 路											
(中略)											
	付帯工									A-10	
		排水構造物撤去工									
			L形側溝撤去		式 or m					*	
			ヒューム管撤去		式 or m					*	
			ボックスカルバート撤去		式 or m					*	
			PC管撤去		式 or m					*	
			暗渠排水管撤去		式 or m					*	
			管(函)渠型側溝撤去		式 or m					*	
			集水樹撤去		式 or 基					*	
			コルゲートパイプ撤去		式 or m					*	
			コルゲートフリューム撤去		式 or m					*	
			マンホール撤去		式 or 基					*	
			鉄筋コンクリート台付管撤去		式 or m					*	
			U型側溝撤去		式 or m					*	
			蓋版撤去		式 or 枚					*	
		(中略)									
		側溝復旧工									
			プレキャストL形側溝		m					*	
			L形側溝		m					*	
			均しコンクリート		m2					*	
			PC管		m					*	
			ヒューム管(B形管)		m					*	
			暗渠排水管		m					*	
			管(函)渠型側溝		m					*	
			鉄筋コンクリート台付管		m					*	
			巻きコンクリート		m3					*	
			側溝基礎		m					*	
			プレキャストU型側溝		m					*	
			コルゲートフリューム		m					*	
			自由勾配側溝		m					*	
			側溝蓋		枚					*	
			雨水ます取付管復旧工		箇所					*	

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路

頁	改定趣旨	現	行																																																																																															
28	機械指定事項の変更	<p>4. 単価表 (2) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m³/平積 0.2 m³</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械賃料数量→ 1.50</td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m³/平積 0.35 m³</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 52 機械賃料数量→ 1.50</td> </tr> </tbody> </table>		機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ /平積 0.2 m ³	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械賃料数量→ 1.50	バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m ³ /平積 0.35 m ³	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 52 機械賃料数量→ 1.50																																																																																			
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																															
バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ /平積 0.2 m ³	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械賃料数量→ 1.50																																																																																															
バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m ³ /平積 0.35 m ³	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 52 機械賃料数量→ 1.50																																																																																															
29	施工歩掛の改定	<p>3. 施工歩掛 硬質塩化ビニル管布設歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表-5-2 硬質塩化ビニル管布設歩掛 (10m当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">種 目</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="10">呼び径 (mm)</th> </tr> <tr> <th colspan="5">-</th> <th colspan="5">機 械 施 工</th> </tr> <tr> <th>150</th> <th>200</th> <th>250</th> <th>300</th> <th>350</th> <th>400</th> <th>450</th> <th>500</th> <th>600</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.26</td> <td>0.27</td> <td>0.28</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.52</td> <td>0.54</td> <td>0.56</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.52</td> <td>0.54</td> <td>0.56</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.26</td> <td>0.27</td> <td>0.28</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>%</td> <td colspan="5">-</td> <td colspan="5">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 歩掛は、運搬距離 20m程度の現場内小運搬、管の接合据付作業であり、床掘り、基礎、埋戻し、水替等は含まない。 2 諸雑費は、接合材 (接着剤、滑剤)、レバーブロック及び切断機等の費用であり、労務費の合計に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。ただし、管損失費用は含まない。 3 呼び径 150mm～350mm については市場単価を適用する。</p> <p>4. 単価表 (2) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m³/平積 0.2 m³</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械賃料数量→ 1.50</td> </tr> </tbody> </table>		種 目	単 位	呼び径 (mm)										-					機 械 施 工					150	200	250	300	350	400	450	500	600	土木一般世話役	人	-	-	-	-	-	0.26	0.27	0.28	0.30	特殊作業員	人	-	-	-	-	-	0.52	0.54	0.56	0.60	普通作業員	人	-	-	-	-	-	0.52	0.54	0.56	0.60	バックホウ運転	日	-	-	-	-	-	0.26	0.27	0.28	0.30	諸 雑 費	%	-					1					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ /平積 0.2 m ³	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械賃料数量→ 1.50
種 目	単 位	呼び径 (mm)																																																																																																
		-					機 械 施 工																																																																																											
		150	200	250	300	350	400	450	500	600																																																																																								
土木一般世話役	人	-	-	-	-	-	0.26	0.27	0.28	0.30																																																																																								
特殊作業員	人	-	-	-	-	-	0.52	0.54	0.56	0.60																																																																																								
普通作業員	人	-	-	-	-	-	0.52	0.54	0.56	0.60																																																																																								
バックホウ運転	日	-	-	-	-	-	0.26	0.27	0.28	0.30																																																																																								
諸 雑 費	%	-					1																																																																																											
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																															
バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ /平積 0.2 m ³	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械賃料数量→ 1.50																																																																																															

工 種 名	管路施設 (開削工法)																																																																																																	
		改	定																																																																																															
		<p>4. 単価表 (2) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m³/平積 0.2 m³</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 34 機械賃料数量→ 1.50</td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m³/平積 0.35 m³</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 50 機械賃料数量→ 1.50</td> </tr> </tbody> </table>		機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ /平積 0.2 m ³	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 34 機械賃料数量→ 1.50	バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m ³ /平積 0.35 m ³	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 50 機械賃料数量→ 1.50																																																																																			
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																															
バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ /平積 0.2 m ³	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 34 機械賃料数量→ 1.50																																																																																															
バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m ³ /平積 0.35 m ³	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 50 機械賃料数量→ 1.50																																																																																															
		<p>3. 施工歩掛 硬質塩化ビニル管布設歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表-5-2 硬質塩化ビニル管布設歩掛 (10m当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">種 目</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="10">呼び径 (mm)</th> </tr> <tr> <th colspan="5">-</th> <th colspan="5">機 械 施 工</th> </tr> <tr> <th>150</th> <th>200</th> <th>250</th> <th>300</th> <th>350</th> <th>400</th> <th>450</th> <th>500</th> <th>600</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.27</td> <td>0.29</td> <td>0.30</td> <td>0.33</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.54</td> <td>0.58</td> <td>0.60</td> <td>0.66</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.54</td> <td>0.58</td> <td>0.60</td> <td>0.66</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.27</td> <td>0.29</td> <td>0.30</td> <td>0.33</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>%</td> <td colspan="5">-</td> <td colspan="5">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 歩掛は、運搬距離 20m程度の現場内小運搬、管の接合据付作業であり、床掘り、基礎、埋戻し、水替等は含まない。 2 諸雑費は、接合材 (接着剤、滑剤)、レバーブロック及び切断機等の費用であり、労務費の合計に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。ただし、管損失費用は含まない。 3 呼び径 150mm～350mm については市場単価を適用する。</p> <p>4. 単価表 (2) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m³/平積 0.2 m³</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 34 機械賃料数量→ 1.50</td> </tr> </tbody> </table>		種 目	単 位	呼び径 (mm)										-					機 械 施 工					150	200	250	300	350	400	450	500	600	土木一般世話役	人	-	-	-	-	-	0.27	0.29	0.30	0.33	特殊作業員	人	-	-	-	-	-	0.54	0.58	0.60	0.66	普通作業員	人	-	-	-	-	-	0.54	0.58	0.60	0.66	バックホウ運転	日	-	-	-	-	-	0.27	0.29	0.30	0.33	諸 雑 費	%	-					1					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ /平積 0.2 m ³	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 34 機械賃料数量→ 1.50
種 目	単 位	呼び径 (mm)																																																																																																
		-					機 械 施 工																																																																																											
		150	200	250	300	350	400	450	500	600																																																																																								
土木一般世話役	人	-	-	-	-	-	0.27	0.29	0.30	0.33																																																																																								
特殊作業員	人	-	-	-	-	-	0.54	0.58	0.60	0.66																																																																																								
普通作業員	人	-	-	-	-	-	0.54	0.58	0.60	0.66																																																																																								
バックホウ運転	日	-	-	-	-	-	0.27	0.29	0.30	0.33																																																																																								
諸 雑 費	%	-					1																																																																																											
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																															
バックホウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ /平積 0.2 m ³	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 34 機械賃料数量→ 1.50																																																																																															

頁	改定趣旨	現 行															
31	機械指定事項の変更	4. 単価表 (2) 機械運転単価表 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m³/平積 0.2 m²</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械賃料数量→ 1.50</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m³/平積 0.35 m²</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 52 機械賃料数量→ 1.50</td> </tr> </tbody> </table>				機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ /平積 0.2 m ²	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械賃料数量→ 1.50	バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m ³ /平積 0.35 m ²	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 52 機械賃料数量→ 1.50
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項														
バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ /平積 0.2 m ²	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械賃料数量→ 1.50														
バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m ³ /平積 0.35 m ²	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 52 機械賃料数量→ 1.50														
32	機械指定事項の変更	4. 単価表 (2) 機械運転単価表 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m³/平積 0.2 m²</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械賃料数量→ 1.50</td> </tr> </tbody> </table>				機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ /平積 0.2 m ²	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械賃料数量→ 1.50				
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項														
バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ /平積 0.2 m ²	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 35 機械賃料数量→ 1.50														

工 種 名	管路施設 (開削工法)															
改 定																
	4. 単価表 (2) 機械運転単価表 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m³/平積 0.2 m²</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 34 機械賃料数量→ 1.50</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m³/平積 0.35 m²</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 50 機械賃料数量→ 1.50</td> </tr> </tbody> </table>				機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ /平積 0.2 m ²	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 34 機械賃料数量→ 1.50	バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m ³ /平積 0.35 m ²	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 50 機械賃料数量→ 1.50
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項													
バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ /平積 0.2 m ²	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 34 機械賃料数量→ 1.50													
バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 2.9t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m ³ /平積 0.35 m ²	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 50 機械賃料数量→ 1.50													
	4. 単価表 (2) 機械運転単価表 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m³/平積 0.2 m²</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 34 機械賃料数量→ 1.50</td> </tr> </tbody> </table>				機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ /平積 0.2 m ²	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 34 機械賃料数量→ 1.50				
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項													
バ ッ ク ホ ウ	クローラ型 クレーン機能付 吊能力 1.7t 吊 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ /平積 0.2 m ²	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 34 機械賃料数量→ 1.50													

頁	改定趣旨	現 行																																																																													
60	表記の修正	<p>C-15 薬液注入 (1本当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価 (円)</th> <th>金 額 (円)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬 液 注 入 工</td> <td>二重管ストレーナ工法</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D-15-1</td> </tr> <tr> <td>注入設備据付解体工</td> <td>地上</td> <td>現場</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D-15-2</td> </tr> <tr> <td>注入設備移設工</td> <td>地上</td> <td>回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D-15-3</td> </tr> <tr> <td>注入設備据付解体工</td> <td>車上</td> <td>現場</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D-15-4</td> </tr> <tr> <td>排水汚泥土処理工</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D-15-5</td> </tr> <tr> <td>削 孔 工</td> <td>二重管ダブルバッカー工法</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D-15-6</td> </tr> <tr> <td>一 次 注 入 工</td> <td>二重管ダブルバッカー工法</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D-15-7</td> </tr> <tr> <td>二 次 注 入 工</td> <td>二重管ダブルバッカー工法</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D-15-8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>〇〇本当り</td> </tr> <tr> <td>1 本 当 り</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計/〇〇本</td> </tr> </tbody> </table> <p>1. 適用範囲 本歩掛は、粘土、シルト及び砂質土等の地盤に薬液を注入し「地盤の透水性を減少」又は「地盤の強度（固結度）を増加」させる薬液注入工法のうち、二重管ストレーナ工法（単相方式及び複相方式）及び二重管ダブルバッカー工法を対象とし、鉛直方向施工にのみ適用する。 なお、本工法採用に当たっては、建設省通達「薬液注入工による建設工事の施工に関する暫定指針」（建設省技発第160号、昭和49年7月10日）に基づくとともに、土質、地下埋設物、地下水位等を十分考慮し、他の工法との適否を比較検討のうえ適用する。</p> <p>2. 施工フロー図 施工フローは、下記を標準とする。 二重管ストレーナ工法(単相) 二重管ストレーナ工法(複相) 二重管ダブルバッカー工法(削孔) 二重管ダブルバッカー工法(注入)</p> <p>(注) 1 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2 プラントは、グラウトミキサ、薬液ミキサ、送水ポンプ、グラウトポンプ、薬液注入ポンプ、貯水槽、貯液槽、グラウト流量・圧力測定装置、水ガラス積算流量計、ボーリングマシン等、注入工に要する設備全般を示す。</p>	種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	薬 液 注 入 工	二重管ストレーナ工法	本				D-15-1	注入設備据付解体工	地上	現場				D-15-2	注入設備移設工	地上	回				D-15-3	注入設備据付解体工	車上	現場				D-15-4	排水汚泥土処理工		式				D-15-5	削 孔 工	二重管ダブルバッカー工法	本				D-15-6	一 次 注 入 工	二重管ダブルバッカー工法	本				D-15-7	二 次 注 入 工	二重管ダブルバッカー工法	本				D-15-8	計						〇〇本当り	1 本 当 り						計/〇〇本
種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																																																																									
薬 液 注 入 工	二重管ストレーナ工法	本				D-15-1																																																																									
注入設備据付解体工	地上	現場				D-15-2																																																																									
注入設備移設工	地上	回				D-15-3																																																																									
注入設備据付解体工	車上	現場				D-15-4																																																																									
排水汚泥土処理工		式				D-15-5																																																																									
削 孔 工	二重管ダブルバッカー工法	本				D-15-6																																																																									
一 次 注 入 工	二重管ダブルバッカー工法	本				D-15-7																																																																									
二 次 注 入 工	二重管ダブルバッカー工法	本				D-15-8																																																																									
計						〇〇本当り																																																																									
1 本 当 り						計/〇〇本																																																																									
61	表記の修正	<p>C-15 薬液注入 (1本当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価 (円)</th> <th>金 額 (円)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬 液 注 入 工</td> <td>二重管ストレーナ工法</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D-15-1土木工事標準歩掛による</td> </tr> <tr> <td>注入設備据付解体工</td> <td>地上</td> <td>現場</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D-15-2土木工事標準歩掛による</td> </tr> <tr> <td>注入設備移設工</td> <td>地上</td> <td>回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D-15-3土木工事標準歩掛による</td> </tr> <tr> <td>注入設備据付解体工</td> <td>車上</td> <td>現場</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D-15-4</td> </tr> <tr> <td>排水汚泥土処理工</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D-15-5土木工事標準歩掛による</td> </tr> <tr> <td>削 孔 工</td> <td>二重管ダブルバッカー工法</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D-15-6土木工事標準歩掛による</td> </tr> <tr> <td>一 次 注 入 工</td> <td>二重管ダブルバッカー工法</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D-15-7土木工事標準歩掛による</td> </tr> <tr> <td>二 次 注 入 工</td> <td>二重管ダブルバッカー工法</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D-15-8土木工事標準歩掛による</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>〇〇本当り</td> </tr> <tr> <td>1 本 当 り</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計/〇〇本</td> </tr> </tbody> </table> <p>1. 適用範囲 本歩掛は、<u>下水道工事</u>を対象とし、粘土、シルト及び砂質土等の地盤に薬液を注入し「地盤の透水性を減少」又は「地盤の強度（固結度）を増加」させる薬液注入工法のうち、二重管ストレーナ工法（<u>単相方式及び複相方式</u>）及び二重管ダブルバッカー工法を対象とし、鉛直方向施工にのみ適用する。 また、本工法採用に当たっては、建設省通達「薬液注入工による建設工事の施工に関する暫定指針」（建設省技発第160号、昭和49年7月10日）に基づくとともに、土質、地下埋設物、地下水位等を十分考慮し、他の工法との適否を比較検討のうえ適用する。 なお、本項に定めのない部分については、土木工事標準歩掛による。</p> <p>2. 施工フロー図 施工フローは、下記を標準とする。 二重管ストレーナ工法(単相) 二重管ストレーナ工法(複相) 二重管ダブルバッカー工法(削孔) 二重管ダブルバッカー工法(注入)</p> <p>(注) 1 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2 プラントは、グラウトミキサ、薬液ミキサ、送水ポンプ、グラウトポンプ、薬液注入ポンプ、貯水槽、貯液槽、グラウト流量・圧力測定装置、水ガラス積算流量計、ボーリングマシン等、注入工に要する設備全般を示す。</p>	種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	薬 液 注 入 工	二重管ストレーナ工法	本				D-15-1 土木工事標準歩掛による	注入設備据付解体工	地上	現場				D-15-2 土木工事標準歩掛による	注入設備移設工	地上	回				D-15-3 土木工事標準歩掛による	注入設備据付解体工	車上	現場				D-15-4	排水汚泥土処理工		式				D-15-5 土木工事標準歩掛による	削 孔 工	二重管ダブルバッカー工法	本				D-15-6 土木工事標準歩掛による	一 次 注 入 工	二重管ダブルバッカー工法	本				D-15-7 土木工事標準歩掛による	二 次 注 入 工	二重管ダブルバッカー工法	本				D-15-8 土木工事標準歩掛による	計						〇〇本当り	1 本 当 り						計/〇〇本
種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																																																																									
薬 液 注 入 工	二重管ストレーナ工法	本				D-15-1 土木工事標準歩掛による																																																																									
注入設備据付解体工	地上	現場				D-15-2 土木工事標準歩掛による																																																																									
注入設備移設工	地上	回				D-15-3 土木工事標準歩掛による																																																																									
注入設備据付解体工	車上	現場				D-15-4																																																																									
排水汚泥土処理工		式				D-15-5 土木工事標準歩掛による																																																																									
削 孔 工	二重管ダブルバッカー工法	本				D-15-6 土木工事標準歩掛による																																																																									
一 次 注 入 工	二重管ダブルバッカー工法	本				D-15-7 土木工事標準歩掛による																																																																									
二 次 注 入 工	二重管ダブルバッカー工法	本				D-15-8 土木工事標準歩掛による																																																																									
計						〇〇本当り																																																																									
1 本 当 り						計/〇〇本																																																																									

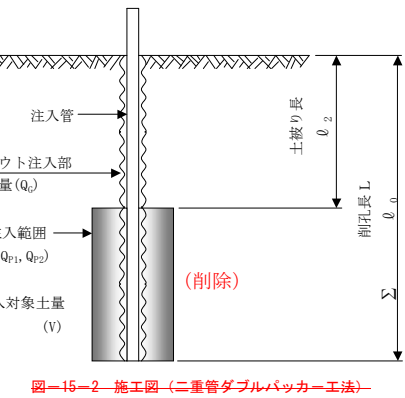
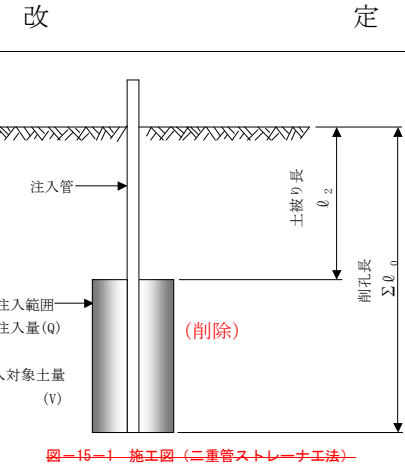
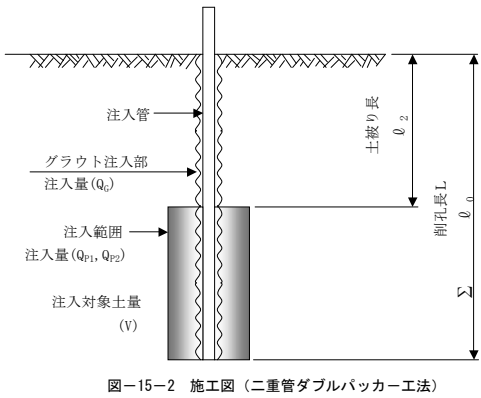
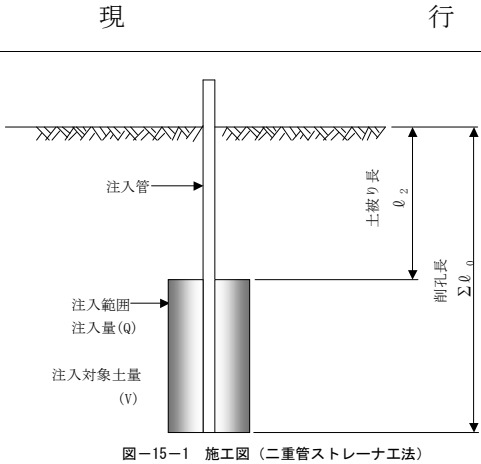
工 種 名	管路施設（開削工法）
	改 定

頁	改定趣旨	現	行																																																																																																																																																																																												
61	表記の修正	<p>3. 注入範囲 注入範囲については、止水、地盤強化、地下埋設物及び既設構造物の防護等の注入目的及び土質条件、地下水位等を十分考慮して決定すること。また、注入孔の配置は、原則として1.0mピッチとする。</p> <p>4. 注入量の計算 薬液注入量の算定は、次式による。 $V = v \cdot \rho \cdot \alpha$ ここに、V：注入量 (kℓ) v：注入対象土量 (m³) ρ：間隙率 (%) α：薬液填充率 (%)</p> <p>5. 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表-15-1 二重管ストレート工法の機種を選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機種</th> <th rowspan="3">規格</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="4">数 量</th> </tr> <tr> <th colspan="2">単相方式</th> <th colspan="2">複相方式</th> </tr> <tr> <th>2セット</th> <th>4セット</th> <th>2セット</th> <th>4セット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボーリングマシン</td> <td>油圧式5.5kW級</td> <td>台</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ</td> <td>吐出量 5~20ℓ/min×2 (9.8MPa)</td> <td>台</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>水ガラス積算流量計</td> <td>0~50ℓ/min</td> <td>台</td> <td>備考²(1)</td> <td>備考²(1)</td> <td>備考²(1)</td> <td>備考²(1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 施工本数が100本未満の場合は2セット、100本以上の場合は4セットを標準とする。 2 水ガラス積算流量計は、総注入量500kℓ以上の場合に計上する。</p> <p style="text-align: center;">表-15-2 二重管ダブルバッカー工法の機種を選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機種</th> <th rowspan="3">規格</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="5">数 量</th> </tr> <tr> <th colspan="2">削 孔</th> <th>一次注入</th> <th colspan="2">二次注入</th> </tr> <tr> <th>1セット</th> <th>2セット</th> <th>セメント ペントナ イト注入</th> <th>溶 液 型 有 機 系 入</th> <th>溶 液 型 無 機 系 入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボーリングマシン</td> <td>ロータリーパーカッション式クローラ型81kW級</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ</td> <td>吐出量 0~20ℓ/min×2 (9.8MPa)</td> <td>台</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ゲルミキサ</td> <td>300ℓ×1槽</td> <td>台</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ミキシングプラント</td> <td>3,000ℓ/h</td> <td>台</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水ガラス積算流量計</td> <td>0~50ℓ/min</td> <td>台</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>備考²(1)</td> <td>備考²(1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 削孔は施工本数が200本未満の場合は1セット、200本以上の場合は2セットを標準とする。 2 水ガラス積算流量計は、総注入量500kℓ以上の場合に計上する。</p>	機種	規格	単位	数 量				単相方式		複相方式		2セット	4セット	2セット	4セット	ボーリングマシン	油圧式5.5kW級	台	2	4	2	4	薬液注入ポンプ	吐出量 5~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	台	2	4	2	4	水ガラス積算流量計	0~50ℓ/min	台	備考 ² (1)	備考 ² (1)	備考 ² (1)	備考 ² (1)	機種	規格	単位	数 量					削 孔		一次注入	二次注入		1セット	2セット	セメント ペントナ イト注入	溶 液 型 有 機 系 入	溶 液 型 無 機 系 入	ボーリングマシン	ロータリーパーカッション式クローラ型81kW級	台	1	2	-	-	-	薬液注入ポンプ	吐出量 0~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	台	-	-	2	2	2	ゲルミキサ	300ℓ×1槽	台	-	-	-	1	-	ミキシングプラント	3,000ℓ/h	台	-	-	-	-	1	水ガラス積算流量計	0~50ℓ/min	台	-	-	-	備考 ² (1)	備考 ² (1)	<p>2. 注入範囲 注入範囲については、止水、地盤強化、地下埋設物及び既設構造物の防護等の注入目的及び土質条件、地下水位等を十分考慮して決定すること。また、注入孔の配置は、原則として1.0mピッチとする。</p> <p>3. 注入量の計算 薬液注入量の算定は、次式による。 $V = v \cdot \rho \cdot \alpha$ ここに、V：注入量 (kℓ) v：注入対象土量 (m³) ρ：間隙率 (%) α：薬液填充率 (%)</p> <p>5. 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表-15-1 二重管ストレート工法の機種を選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機種</th> <th rowspan="3">規格</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="4">数 量</th> </tr> <tr> <th colspan="2">単相方式</th> <th colspan="2">複相方式</th> </tr> <tr> <th>2セット</th> <th>4セット</th> <th>2セット</th> <th>4セット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボーリングマシン</td> <td>油圧式5.5kW級</td> <td>台</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ</td> <td>吐出量 5~20ℓ/min×2 (9.8MPa)</td> <td>台</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>水ガラス積算流量計</td> <td>0~50ℓ/min</td> <td>台</td> <td>備考²(1)</td> <td>備考²(1)</td> <td>備考²(1)</td> <td>備考²(1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 施工本数が100本未満の場合は2セット、100本以上の場合は4セットを標準とする。 2 水ガラス積算流量計は、総注入量500kℓ以上の場合に計上する。</p> <p style="text-align: center;">表-15-2 二重管ダブルバッカー工法の機種を選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機種</th> <th rowspan="3">規格</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="5">数 量</th> </tr> <tr> <th colspan="2">削 孔</th> <th>一次注入</th> <th colspan="2">二次注入</th> </tr> <tr> <th>1セット</th> <th>2セット</th> <th>セメント ペントナ イト注入</th> <th>溶 液 型 有 機 系 入</th> <th>溶 液 型 無 機 系 入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボーリングマシン</td> <td>ロータリーパーカッション式クローラ型81kW級</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ</td> <td>吐出量 0~20ℓ/min×2 (9.8MPa)</td> <td>台</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ゲルミキサ</td> <td>300ℓ×1槽</td> <td>台</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ミキシングプラント</td> <td>3,000ℓ/h</td> <td>台</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水ガラス積算流量計</td> <td>0~50ℓ/min</td> <td>台</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>備考²(1)</td> <td>備考²(1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 削孔は施工本数が200本未満の場合は1セット、200本以上の場合は2セットを標準とする。 2 水ガラス積算流量計は、総注入量500kℓ以上の場合に計上する。</p>	機種	規格	単位	数 量				単相方式		複相方式		2セット	4セット	2セット	4セット	ボーリングマシン	油圧式5.5kW級	台	2	4	2	4	薬液注入ポンプ	吐出量 5~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	台	2	4	2	4	水ガラス積算流量計	0~50ℓ/min	台	備考²(1)	備考²(1)	備考²(1)	備考²(1)	機種	規格	単位	数 量					削 孔		一次注入	二次注入		1セット	2セット	セメント ペントナ イト注入	溶 液 型 有 機 系 入	溶 液 型 無 機 系 入	ボーリングマシン	ロータリーパーカッション式クローラ型81kW級	台	1	2	-	-	-	薬液注入ポンプ	吐出量 0~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	台	-	-	2	2	2	ゲルミキサ	300ℓ×1槽	台	-	-	-	1	-	ミキシングプラント	3,000ℓ/h	台	-	-	-	-	1	水ガラス積算流量計	0~50ℓ/min	台	-	-	-	備考²(1)	備考²(1)
機種	規格	単位				数 量																																																																																																																																																																																									
						単相方式		複相方式																																																																																																																																																																																							
			2セット	4セット	2セット	4セット																																																																																																																																																																																									
ボーリングマシン	油圧式5.5kW級	台	2	4	2	4																																																																																																																																																																																									
薬液注入ポンプ	吐出量 5~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	台	2	4	2	4																																																																																																																																																																																									
水ガラス積算流量計	0~50ℓ/min	台	備考 ² (1)	備考 ² (1)	備考 ² (1)	備考 ² (1)																																																																																																																																																																																									
機種	規格	単位	数 量																																																																																																																																																																																												
			削 孔		一次注入	二次注入																																																																																																																																																																																									
			1セット	2セット	セメント ペントナ イト注入	溶 液 型 有 機 系 入	溶 液 型 無 機 系 入																																																																																																																																																																																								
ボーリングマシン	ロータリーパーカッション式クローラ型81kW級	台	1	2	-	-	-																																																																																																																																																																																								
薬液注入ポンプ	吐出量 0~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	台	-	-	2	2	2																																																																																																																																																																																								
ゲルミキサ	300ℓ×1槽	台	-	-	-	1	-																																																																																																																																																																																								
ミキシングプラント	3,000ℓ/h	台	-	-	-	-	1																																																																																																																																																																																								
水ガラス積算流量計	0~50ℓ/min	台	-	-	-	備考 ² (1)	備考 ² (1)																																																																																																																																																																																								
機種	規格	単位	数 量																																																																																																																																																																																												
			単相方式		複相方式																																																																																																																																																																																										
			2セット	4セット	2セット	4セット																																																																																																																																																																																									
ボーリングマシン	油圧式5.5kW級	台	2	4	2	4																																																																																																																																																																																									
薬液注入ポンプ	吐出量 5~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	台	2	4	2	4																																																																																																																																																																																									
水ガラス積算流量計	0~50ℓ/min	台	備考²(1)	備考²(1)	備考²(1)	備考²(1)																																																																																																																																																																																									
機種	規格	単位	数 量																																																																																																																																																																																												
			削 孔		一次注入	二次注入																																																																																																																																																																																									
			1セット	2セット	セメント ペントナ イト注入	溶 液 型 有 機 系 入	溶 液 型 無 機 系 入																																																																																																																																																																																								
ボーリングマシン	ロータリーパーカッション式クローラ型81kW級	台	1	2	-	-	-																																																																																																																																																																																								
薬液注入ポンプ	吐出量 0~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	台	-	-	2	2	2																																																																																																																																																																																								
ゲルミキサ	300ℓ×1槽	台	-	-	-	1	-																																																																																																																																																																																								
ミキシングプラント	3,000ℓ/h	台	-	-	-	-	1																																																																																																																																																																																								
水ガラス積算流量計	0~50ℓ/min	台	-	-	-	備考²(1)	備考²(1)																																																																																																																																																																																								

工種名	管路施設 (開削工法)
	<p style="text-align: center;">改 定</p>

頁 改定趣旨

63 表記の修正



64 表記の修正

6. 編成人員

薬液注入工の日当り編成人員は、次表を標準とする。

表-15-3 二重管ストレーナ工法の日当り編成人員 (人)

工 法	セット数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員
単相方式	2セット	1	3	2
	4セット	1	6	2
複相方式	2セット	1	3	2
	4セット	1	6	2

表-15-4 二重管ダブルパッカー工法の日当り編成人員 (人)

条 件	セット数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員
削 孔 時	1セット	1	3	1
	2セット	1	5	2
一次注入時	4セット	1	5	2
二次注入時	4セット	1	5	2

備考1 上表は削孔時1セット・2セット分、一次注入時及び二次注入時は4セット分の人員である。
2 注入材等の混合に要する労務を含む。

6. 編成人員

薬液注入工の日当り編成人員は、次表を標準とする。

表-15-3 二重管ストレーナ工法の日当り編成人員 (人)

工 法	セット数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員
単相方式	2セット	1	3	2
	4セット	1	6	2
複相方式	2セット	1	3	2
	4セット	1	6	2

表-15-4 二重管ダブルパッカー工法の日当り編成人員 (人)

条 件	セット数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員
削 孔 時	1セット	1	3	1
	2セット	1	5	2
一次注入時	4セット	1	5	2
二次注入時	4セット	1	5	2

備考1 上表は削孔時1セット・2セット分、一次注入時及び二次注入時は4セット分の人員である。
2 注入材等の混合に要する労務を含む。

頁	改定趣旨	現 行																
64	表記の修正	<p>7. 施工歩掛（二重管ストレーナ工法）</p> <p>(1) 1本当り施工時間（T_s） 二重管ストレーナ工法における1本当り施工時間は、次式による。 $T_s = T_1 + T_2 + T_3 + T_4$ T_s : 二重管ストレーナ工法1本当り施工時間 (min) T_1 : 機械準備時間 (min) T_2 : 削孔時間 (min) T_3 : 注入時間 (min) T_4 : 土被り部引抜時間 (min)</p> <p>1) 機械準備時間（T_1） 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び注入後の器具洗浄時間であり14分とする。 なお、打設間隔は1mを標準とする。</p> <p>2) 削孔時間（T_2） $T_2 = \sum (\gamma_1 \times \ell_0)$ γ_1 : 各土質毎の削孔の単位作業時間 (min/m) ℓ_0 : 各土質毎の削孔長 (m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表-15-5 削孔の単位作業時間(γ_1) (min/m)</caption> <tr> <th>土 質</th> <th>礫質土</th> <th>砂質土</th> <th>粘性土</th> </tr> <tr> <td>γ_1</td> <td style="text-align: center;">8.0</td> <td style="text-align: center;">5.0</td> <td style="text-align: center;">4.0</td> </tr> </table> <p>3) 注入時間（T_3） $T_3 = \frac{Q_s}{q_s}$ Q_s : 二重管ストレーナ工法の1本当り注入量 (ℓ) q_s : 単位時間当り注入量 (ℓ/min)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表-15-6 単位時間当り注入量 (q_s) (ℓ/min)</caption> <tr> <th>工 法 名</th> <th>単 相 方 式</th> <th>複 相 方 式</th> </tr> <tr> <td>q_s</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">16</td> </tr> </table> <p>4) 土被り部引抜時間（T_4） $T_4 = \gamma_2 \times \ell_2$ γ_2 : 土被り部引抜の単位作業時間 (min/m) ℓ_2 : 土被り長 (m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表-15-7 土被り部引抜の単位作業時間 (γ_2) (min/m)</caption> <tr> <td style="text-align: center;">γ_2</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> </table> <p>(2) 注入材料使用量 二重管ストレーナ工法に必要な注入材料は、次式による。 $Q_s = (V \times 1000) / n$式1 Q_s : 二重管ストレーナ工法の1本当り注入量 ($\ell/\text{本}$) V : 総注入量 ($k\ell$) n : 注入本数 (本) 複合注入における瞬結材（1次注入）と緩結材（2次注入）の注入比は、土質条件にあわせて適宜決定すること。</p> <p>(3) 1日当り施工本数 二重管ストレーナ工法における1日当り施工本数は、次式による。 $N = \frac{60 \times H}{T_s} \times 2$ (4) N : 2（4）セット1日当り施工本数 (本/日) H : 注入設備の1日当り実作業時間で6.3時間とする。 T_s : 1本当り施工時間 (min)</p>	土 質	礫質土	砂質土	粘性土	γ_1	8.0	5.0	4.0	工 法 名	単 相 方 式	複 相 方 式	q_s	18	16	γ_2	2.0
土 質	礫質土	砂質土	粘性土															
γ_1	8.0	5.0	4.0															
工 法 名	単 相 方 式	複 相 方 式																
q_s	18	16																
γ_2	2.0																	
65		<p>7. 施工歩掛（二重管ストレーナ工法）</p> <p>(1) 1本当り施工時間（T_s） 二重管ストレーナ工法における1本当り施工時間は、次式による。 $T_s = T_1 + T_2 + T_3 + T_4$ T_s: 二重管ストレーナ工法1本当り施工時間 (min) T_1 : 機械準備時間 (min) T_2 : 削孔時間 (min) T_3 : 注入時間 (min) T_4 : 土被り部引抜時間 (min)</p> <p>1) 機械準備時間（T_1） 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び注入後の器具洗浄時間であり14分とする。 なお、打設間隔は1mを標準とする。</p> <p>2) 削孔時間（T_2） $T_2 = \sum (\gamma_1 \times \ell_0)$ γ_1: 各土質毎の削孔の単位作業時間 (min/m) ℓ_0 : 各土質毎の削孔長 (m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表-15-5 削孔の単位作業時間(γ_1) (min/m)</caption> <tr> <th>土 質</th> <th>礫質土</th> <th>砂質土</th> <th>粘性土</th> </tr> <tr> <td>γ_1</td> <td style="text-align: center;">8.0</td> <td style="text-align: center;">5.0</td> <td style="text-align: center;">4.0</td> </tr> </table> <p>3) 注入時間（T_3） $T_3 = \frac{Q_s}{q_s}$ Q_s : 二重管ストレーナ工法の1本当り注入量 (ℓ) q_s : 単位時間当り注入量 (ℓ/min)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表-15-6 単位時間当り注入量 (q_s) (ℓ/min)</caption> <tr> <th>工 法 名</th> <th>単 相 方 式</th> <th>複 相 方 式</th> </tr> <tr> <td>q_s</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">16</td> </tr> </table> <p>4) 土被り部引抜時間（T_4） $T_4 = \gamma_2 \times \ell_2$ γ_2: 土被り部引抜の単位作業時間 (min/m) ℓ_2 : 土被り長 (m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表-15-7 土被り部引抜の単位作業時間 (γ_2) (min/m)</caption> <tr> <td style="text-align: center;">γ_2</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> </table> <p>(2) 注入材料使用量 二重管ストレーナ工法に必要な注入材料は、次式による。 $Q_s = (V \times 1000) / n$式1 Q_s : 二重管ストレーナ工法の1本当り注入量 ($\ell/\text{本}$) V : 総注入量 ($k\ell$) n : 注入本数 (本) 複合注入における瞬結材（1次注入）と緩結材（2次注入）の注入比は、土質条件にあわせて適宜決定すること。</p> <p>(3) 1日当り施工本数 二重管ストレーナ工法における1日当り施工本数は、次式による。 $N = \frac{60 \times H}{T_s} \times 2$ (4) N : 2（4）セット1日当り施工本数 (本/日) H : 注入設備の1日当り実作業時間で6.3時間とする。 T_s : 1本当り施工時間 (min)</p>	土 質	礫質土	砂質土	粘性土	γ_1	8.0	5.0	4.0	工 法 名	単 相 方 式	複 相 方 式	q_s	18	16	γ_2	2.0
土 質	礫質土	砂質土	粘性土															
γ_1	8.0	5.0	4.0															
工 法 名	単 相 方 式	複 相 方 式																
q_s	18	16																
γ_2	2.0																	

改 定																
<p>7. 施工歩掛（二重管ストレーナ工法）</p> <p>(1) 1本当り施工時間（T_s） 二重管ストレーナ工法における1本当り施工時間は、次式による。 $T_s = T_1 + T_2 + T_3 + T_4$ T_s: 二重管ストレーナ工法1本当り施工時間 (min) T_1 : 機械準備時間 (min) T_2 : 削孔時間 (min) T_3 : 注入時間 (min) T_4 : 土被り部引抜時間 (min)</p> <p>1) 機械準備時間（T_1） 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び注入後の器具洗浄時間であり14分とする。 なお、打設間隔は1mを標準とする。</p> <p>2) 削孔時間（T_2） $T_2 = \sum (\gamma_1 \times \ell_0)$ γ_1: 各土質毎の削孔の単位作業時間 (min/m) ℓ_0 : 各土質毎の削孔長 (m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表-15-5 削孔の単位作業時間(γ_1) (min/m)</caption> <tr> <th>土 質</th> <th>礫質土</th> <th>砂質土</th> <th>粘性土</th> </tr> <tr> <td>γ_1</td> <td style="text-align: center;">8.0</td> <td style="text-align: center;">5.0</td> <td style="text-align: center;">4.0</td> </tr> </table> <p>3) 注入時間（T_3） $T_3 = \frac{Q_s}{q_s}$ Q_s : 二重管ストレーナ工法の1本当り注入量 (ℓ) q_s : 単位時間当り注入量 (ℓ/min)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表-15-6 単位時間当り注入量 (q_s) (ℓ/min)</caption> <tr> <th>工 法 名</th> <th>単 相 方 式</th> <th>複 相 方 式</th> </tr> <tr> <td>q_s</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">16</td> </tr> </table> <p>4) 土被り部引抜時間（T_4） $T_4 = \gamma_2 \times \ell_2$ γ_2: 土被り部引抜の単位作業時間 (min/m) ℓ_2 : 土被り長 (m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表-15-7 土被り部引抜の単位作業時間 (γ_2) (min/m)</caption> <tr> <td style="text-align: center;">γ_2</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> </table> <p>(2) 注入材料使用量 二重管ストレーナ工法に必要な注入材料は、次式による。 $Q_s = (V \times 1000) / n$式1 Q_s : 二重管ストレーナ工法の1本当り注入量 ($\ell/\text{本}$) V : 総注入量 ($k\ell$) n : 注入本数 (本) 複合注入における瞬結材（1次注入）と緩結材（2次注入）の注入比は、土質条件にあわせて適宜決定すること。</p> <p>(3) 1日当り施工本数 二重管ストレーナ工法における1日当り施工本数は、次式による。 $N = \frac{60 \times H}{T_s} \times 2$ (4) N : 2（4）セット1日当り施工本数 (本/日) H : 注入設備の1日当り実作業時間で6.3時間とする。 T_s : 1本当り施工時間 (min)</p>	土 質	礫質土	砂質土	粘性土	γ_1	8.0	5.0	4.0	工 法 名	単 相 方 式	複 相 方 式	q_s	18	16	γ_2	2.0
土 質	礫質土	砂質土	粘性土													
γ_1	8.0	5.0	4.0													
工 法 名	単 相 方 式	複 相 方 式														
q_s	18	16														
γ_2	2.0															

頁	改定趣旨	現 行	改 定																										
65	表記の修正	<p>(4) 諸雑費 二重管ストレーナ工法の1本当り諸雑費は、グラウト流量・圧力測定装置、薬液ミキサ、グラウトミキサ、送水ポンプ、送液ポンプ、貯水槽、貯液槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費及び機械損料の合計額（水ガラス積算流量計は除く）に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表-15-8 二重管ストレーナ工法の諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>セット数</th> <th>諸雑費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">単 相 方 式</td> <td>2</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">複 相 方 式</td> <td>2</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>	工 法	セット数	諸雑費率	単 相 方 式	2	19	4	18	複 相 方 式	2	20	4	19	<p>(4) 諸雑費 二重管ストレーナ工法の1本当り諸雑費は、グラウト流量・圧力測定装置、薬液ミキサ、グラウトミキサ、送水ポンプ、送液ポンプ、貯水槽、貯液槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費及び機械損料の合計額（水ガラス積算流量計は除く）に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表-15-8 二重管ストレーナ工法の諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>セット数</th> <th>諸雑費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">単 相 方 式</td> <td>2</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">複 相 方 式</td> <td>2</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>	工 法	セット数	諸雑費率	単 相 方 式	2	19	4	18	複 相 方 式	2	20	4	19
工 法	セット数	諸雑費率																											
単 相 方 式	2	19																											
	4	18																											
複 相 方 式	2	20																											
	4	19																											
工 法	セット数	諸雑費率																											
単 相 方 式	2	19																											
	4	18																											
複 相 方 式	2	20																											
	4	19																											
66	表記の修正	<p>8. 施工歩掛（二重管ダブルバッカー工法）</p> <p>(1) 1本当り削孔施工時間（T_D） 二重管ダブルバッカー工法における1本当り削孔施工時間は、次式による。 $T_D = T_1 + T_2 + T_3$ T_D：二重管ダブルバッカー工法の1本当り削孔時間（min） T_1：機械準備時間（min） T_2：削孔時間（min） T_3：薬液注入管準備時間（min）</p> <p>1) 機械準備時間（T_1） 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び注入後の器具洗浄時間であり14分とする。 なお、打設間隔は1mを標準とする。</p> <p>2) 削孔時間（T_2） $T_2 = \sum (\gamma_1 \times \ell_0)$ γ_1：各土質毎の削孔の単位作業時間（min/m） ℓ_0：各土質毎の削孔長（m）</p> <p style="text-align: center;">表-15-9 削孔の単位作業時間（γ_1） (min/m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>土 質</th> <th>礫質土</th> <th>砂質土</th> <th>粘性土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>γ_1</td> <td>6.0</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 薬液注入管準備時間（T_3） 薬液注入管準備時間は、グラウト注入、薬液注入管建込及びケーシング引抜時間であり、次式とする。 $T_3 = \gamma_2 \times L$ γ_2：薬液注入管準備の単位作業時間（min/m） L：削孔長（m）</p> <p style="text-align: center;">表-15-10 薬液注入管準備の単位作業時間（γ_2） (min/m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td>γ_2</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 1本当り一次注入施工時間（T_{P1}） 二重管ダブルバッカー工法における一次注入の1本当り注入施工時間は、次式による。 $T_{P1} = T_1 + T_2 + T_3$ T_{P1}：二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入時間（min） T_1：機械準備時間（min） T_2：注入時間（min） T_3：土被り部引抜時間（min）</p> <p>1) 機械準備時間（T_1） 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び器具洗浄時間であり13分とする。</p> <p>2) 注入時間（T_2） $T_2 = \frac{Q_{P1}}{q_{P1}}$ Q_{P1}：二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入量（ℓ） q_{P1}：単位時間当り注入量（ℓ/min）</p>	土 質	礫質土	砂質土	粘性土	γ_1	6.0	5.0	3.0	γ_2	3.0	<p>8. 施工歩掛（二重管ダブルバッカー工法）</p> <p>(1) 1本当り削孔施工時間（T_D） 二重管ダブルバッカー工法における1本当り削孔施工時間は、次式による。 $T_D = T_1 + T_2 + T_3$ T_D：二重管ダブルバッカー工法の1本当り削孔時間（min） T_1：機械準備時間（min） T_2：削孔時間（min） T_3：薬液注入管準備時間（min）</p> <p>1) 機械準備時間（T_1） 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び注入後の器具洗浄時間であり14分とする。 なお、打設間隔は1mを標準とする。</p> <p>2) 削孔時間（T_2） $T_2 = \sum (\gamma_1 \times \ell_0)$ γ_1：各土質毎の削孔の単位作業時間（min/m） ℓ_0：各土質毎の削孔長（m）</p> <p style="text-align: center;">表-15-9 削孔の単位作業時間（γ_1） (min/m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>土 質</th> <th>礫質土</th> <th>砂質土</th> <th>粘性土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>γ_1</td> <td>6.0</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 薬液注入管準備時間（T_3） 薬液注入管準備時間は、グラウト注入、薬液注入管建込及びケーシング引抜時間であり、次式とする。 $T_3 = \gamma_2 \times L$ γ_2：薬液注入管準備の単位作業時間（min/m） L：削孔長（m）</p> <p style="text-align: center;">表-15-10 薬液注入管準備の単位作業時間（γ_2） (min/m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td>γ_2</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 1本当り一次注入施工時間（T_{P1}） 二重管ダブルバッカー工法における一次注入の1本当り注入施工時間は、次式による。 $T_{P1} = T_1 + T_2 + T_3$ T_{P1}：二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入時間（min） T_1：機械準備時間（min） T_2：注入時間（min） T_3：土被り部引抜時間（min）</p> <p>1) 機械準備時間（T_1） 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び器具洗浄時間であり13分とする。</p> <p>2) 注入時間（T_2） $T_2 = \frac{Q_{P1}}{q_{P1}}$ Q_{P1}：二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入量（ℓ） q_{P1}：単位時間当り注入量（ℓ/min）</p>	土 質	礫質土	砂質土	粘性土	γ_1	6.0	5.0	3.0	γ_2	3.0						
土 質	礫質土	砂質土	粘性土																										
γ_1	6.0	5.0	3.0																										
γ_2	3.0																												
土 質	礫質土	砂質土	粘性土																										
γ_1	6.0	5.0	3.0																										
γ_2	3.0																												

頁	改定趣旨	現 行	改 定																				
67	表記の修正	<p>表-15-11 単位時間当り注入量 (q_{P1}) (ℓ/min)</p> <table border="1" data-bbox="488 240 958 272"> <tr> <td>q_{P1}</td> <td>8</td> </tr> </table> <p>3) 土被り部引抜時間 (T_3) $T_3 = \gamma_3 \times \ell_2$ γ_3 : 土被り部引抜の単位作業時間 (min/m) ℓ_2 : 土被り長 (m)</p> <p>表-15-12 土被り部引抜の単位作業時間 (γ_3) (min/m)</p> <table border="1" data-bbox="488 400 958 432"> <tr> <td>γ_3</td> <td>1.0</td> </tr> </table> <p>(3) 1本当り二次注入施工時間 (T_{P2}) 二重管ダブルパッカー工法における二次注入の1本当り注入施工時間は、次式による。 $T_{P2} = T_1 + T_2 + T_3$ T_{P2} : 二重管ダブルパッカー工法の二次注入の1本当り注入時間 (min) T_1 : 機械準備時間 (min) T_2 : 注入時間 (min) T_3 : 土被り部引抜時間 (min)</p> <p>1) 機械準備時間 (T_1) 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び器具洗浄時間であり13分とする。</p> <p>2) 注入時間 (T_2) $T_2 = \frac{Q_{P2}}{q_{P2}}$ Q_{P2} : 二重管ダブルパッカー工法の二次注入の1本当り注入量 (ℓ) q_{P2} : 単位時間当り注入量 (ℓ/min)</p> <p>表-15-13 単位時間当り注入量 (q_{P2}) (ℓ/min)</p> <table border="1" data-bbox="488 815 958 847"> <tr> <td>q_{P2}</td> <td>9</td> </tr> </table> <p>3) 土被り部引抜時間 (T_3) $T_3 = \gamma_4 \times \ell_2$ γ_4 : 土被り部引抜の単位作業時間 (min/m) ℓ_2 : 土被り長 (m)</p> <p>表-15-14 土被り部引抜の単位作業時間 (γ_4) (min/m)</p> <table border="1" data-bbox="488 975 958 1007"> <tr> <td>γ_4</td> <td>1.0</td> </tr> </table> <p>(4) 注入材料使用量 二重管ダブルパッカー工法における注入材料使用量は、次式による。</p> <p>1) グラウト注入材料 $Q_G = \gamma_5 \times L$式2 Q_G : グラウト注入の1本当り注入量 (ℓ) γ_5 : グラウト注入の単位使用量 (ℓ/m) L : 削孔長 (m)</p> <p>表-15-15 グラウト注入の単位使用量 (γ_5) (ℓ/m)</p> <table border="1" data-bbox="488 1214 958 1246"> <tr> <td>γ_5</td> <td>12</td> </tr> </table> <p>2) 一次注入材料 $Q_{P1} = (V_{P1} \times 1000) / n$式3 Q_{P1} : 二重管ダブルパッカー工法の一次注入の1本当り注入量 (ℓ) V_{P1} : 二重管ダブルパッカー工法の一次注入の総注入量 ($k\ell$) n : 注入本数</p> <p>3) 二次注入材料 $Q_{P2} = (V_{P2} \times 1000) / n$式4 Q_{P2} : 二重管ダブルパッカー工法の二次注入の1本当り注入量 (ℓ) V_{P2} : 二重管ダブルパッカー工法の二次注入の総注入量 ($k\ell$) n : 注入本数</p>	q_{P1}	8	γ_3	1.0	q_{P2}	9	γ_4	1.0	γ_5	12	<p>表-15-11 単位時間当り注入量 (q_{P1}) (ℓ/min)</p> <table border="1" data-bbox="1458 240 1928 272"> <tr> <td>q_{P1}</td> <td>8</td> </tr> </table> <p>3) 土被り部引抜時間 (T_3) $T_3 = \gamma_3 \times \ell_2$ γ_3: 土被り部引抜の単位作業時間 (min/m) ℓ_2 : 土被り長 (m)</p> <p>表-15-12 土被り部引抜の単位作業時間 (γ_3) (min/m)</p> <table border="1" data-bbox="1458 400 1928 432"> <tr> <td>γ_3</td> <td>1.0</td> </tr> </table> <p>(3) 1本当り二次注入施工時間 (T_{P2}) 二重管ダブルパッカー工法における二次注入の1本当り注入施工時間は、次式による。 $T_{P2} = T_1 + T_2 + T_3$ T_{P2} : 二重管ダブルパッカー工法の二次注入の1本当り注入時間 (min) T_1 : 機械準備時間 (min) T_2 : 注入時間 (min) T_3 : 土被り部引抜時間 (min)</p> <p>1) 機械準備時間 (T_1) 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び器具洗浄時間であり13分とする。</p> <p>2) 注入時間 (T_2) $T_2 = \frac{Q_{P2}}{q_{P2}}$ Q_{P2}: 二重管ダブルパッカー工法の二次注入の1本当り注入量 (ℓ) q_{P2} : 単位時間当り注入量 (ℓ/min)</p> <p>表-15-13 単位時間当り注入量 (q_{P2}) (ℓ/min)</p> <table border="1" data-bbox="1458 815 1928 847"> <tr> <td>q_{P2}</td> <td>9</td> </tr> </table> <p>3) 土被り部引抜時間 (T_3) $T_3 = \gamma_4 \times \ell_2$ γ_4: 土被り部引抜の単位作業時間 (min/m) ℓ_2 : 土被り長 (m)</p> <p>表-15-14 土被り部引抜の単位作業時間 (γ_4) (min/m)</p> <table border="1" data-bbox="1458 975 1928 1007"> <tr> <td>γ_4</td> <td>1.0</td> </tr> </table> <p>(4) 注入材料使用量 二重管ダブルパッカー工法における注入材料使用量は、次式による。</p> <p>1) グラウト注入材料 $Q_G = \gamma_5 \times L$式2 Q_G : グラウト注入の1本当り注入量 (ℓ) γ_5 : グラウト注入の単位使用量 (ℓ/m) L : 削孔長 (m)</p> <p>表-15-15 グラウト注入の単位使用量 (γ_5) (ℓ/m)</p> <table border="1" data-bbox="1458 1214 1928 1246"> <tr> <td>γ_5</td> <td>12</td> </tr> </table> <p>2) 一次注入材料 $Q_{P1} = (V_{P1} \times 1000) / n$式3 Q_{P1} : 二重管ダブルパッカー工法の一次注入の1本当り注入量 (ℓ) V_{P1} : 二重管ダブルパッカー工法の一次注入の総注入量 ($k\ell$) n : 注入本数</p> <p>3) 二次注入材料 $Q_{P2} = (V_{P2} \times 1000) / n$式4 Q_{P2} : 二重管ダブルパッカー工法の二次注入の1本当り注入量 (ℓ) V_{P2} : 二重管ダブルパッカー工法の二次注入の総注入量 ($k\ell$) n : 注入本数</p>	q_{P1}	8	γ_3	1.0	q_{P2}	9	γ_4	1.0	γ_5	12
q_{P1}	8																						
γ_3	1.0																						
q_{P2}	9																						
γ_4	1.0																						
γ_5	12																						
q_{P1}	8																						
γ_3	1.0																						
q_{P2}	9																						
γ_4	1.0																						
γ_5	12																						
68																							

頁	改定趣旨	現 行																																																						
68	表記の修正 (5) 1日当り施工本数 二重管ダブルバック工法における削孔、一次注入、二次注入の1日当り施工本数は、次式とする。 1) 削孔 $N = \frac{60 \times H}{T_D} \quad (\times 2)$ N : 1 (2) セット1日当り削孔施工本数 (本/日) H : 削孔設備の1日当り実作業時間で6.5時間とする。 T _D : 1本当り削孔時間 (min) 2) 一次注入 $N = \frac{60 \times H}{T_{P1}} \times 4$ N : 4セット1日当り注入施工本数 (本/日) H : 注入設備の1日当り実作業時間で7.3時間とする。 T _{P1} : 1本当り注入時間 (min) 3) 二次注入 $N = \frac{60 \times H}{T_{P2}} \times 4$ N : 4セット1日当り注入施工本数 (本/日) H : 注入設備の1日当り実作業時間で7.3時間とする。 T _{P2} : 1本当り注入時間 (min) (6) 諸雑費 二重管ダブルバック工法削孔時の諸雑費は、グラウトポンプ・グラウトミキサ・送水ポンプ・貯水槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、一次注入及び二次注入時の諸雑費は、グラウト流量・圧力測定装置・グラウトミキサ・バック加压ポンプ・送水ポンプ・送液ポンプ・貯水槽・貯液槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額（水ガラス積算流量計は除く）に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。	表-15-16 二重管ダブルバック工法の諸雑费率 (%) <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>条 件</th> <th>セット数</th> <th>諸雑费率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">削 孔</td> <td>1</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>一 次 注 入</td> <td>4</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>二 次 注 入 有 機 系</td> <td>4</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>二 次 注 入 無 機 系</td> <td>4</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	条 件	セット数	諸雑费率	削 孔	1	9	2	6	一 次 注 入	4	26	二 次 注 入 有 機 系	4	25	二 次 注 入 無 機 系	4	20																																					
条 件	セット数	諸雑费率																																																						
削 孔	1	9																																																						
	2	6																																																						
一 次 注 入	4	26																																																						
二 次 注 入 有 機 系	4	25																																																						
二 次 注 入 無 機 系	4	20																																																						
69	表記の修正 9. 消耗材料費（二重管ストレーナ工法） (1) 削孔材料消耗量	表-15-17 削孔材料消費量 (削孔径φ40.5mm 削孔長1.0m当り) <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品 名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">礫質土</th> <th colspan="2">砂質土</th> <th colspan="2">粘性土</th> </tr> <tr> <th>単相</th> <th>複相</th> <th>単相</th> <th>複相</th> <th>単相</th> <th>複相</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二重管ボーリングロッド</td> <td>m</td> <td>0.05</td> <td>0.05</td> <td>0.03</td> <td>0.03</td> <td>0.02</td> <td>0.02</td> </tr> <tr> <td>メタルクラウンφ41mm</td> <td>個</td> <td>0.30</td> <td>0.30</td> <td>0.04</td> <td>0.04</td> <td>0.03</td> <td>0.03</td> </tr> <tr> <td>単相用グラウトモニタφ40.5mm</td> <td>個</td> <td>0.005</td> <td>—</td> <td>0.003</td> <td>—</td> <td>0.002</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>複相用グラウトモニタφ40.5mm</td> <td>個</td> <td>—</td> <td>0.005</td> <td>—</td> <td>0.003</td> <td>—</td> <td>0.002</td> </tr> <tr> <td>そ の 他 雑 品</td> <td>%</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>23</td> <td>17</td> <td>23</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	品 名	単位	礫質土		砂質土		粘性土		単相	複相	単相	複相	単相	複相	二重管ボーリングロッド	m	0.05	0.05	0.03	0.03	0.02	0.02	メタルクラウンφ41mm	個	0.30	0.30	0.04	0.04	0.03	0.03	単相用グラウトモニタφ40.5mm	個	0.005	—	0.003	—	0.002	—	複相用グラウトモニタφ40.5mm	個	—	0.005	—	0.003	—	0.002	そ の 他 雑 品	%	15	11	23	17	23	16
品 名	単位	礫質土			砂質土		粘性土																																																	
		単相	複相	単相	複相	単相	複相																																																	
二重管ボーリングロッド	m	0.05	0.05	0.03	0.03	0.02	0.02																																																	
メタルクラウンφ41mm	個	0.30	0.30	0.04	0.04	0.03	0.03																																																	
単相用グラウトモニタφ40.5mm	個	0.005	—	0.003	—	0.002	—																																																	
複相用グラウトモニタφ40.5mm	個	—	0.005	—	0.003	—	0.002																																																	
そ の 他 雑 品	%	15	11	23	17	23	16																																																	
	備考 1 本歩掛は、鉛直方向への削孔にのみ適用する。 2 二重管ボーリングロッドは3.0m/本とする。 3 その他雑品には、ロッドカップリング、圧力計、パイプレンチ、ペンチ、ドライバー、カッター、スラントルール、水切りモップ等を含み、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。																																																							

改 定																																																						
(5) 1日当り施工本数 二重管ダブルバック工法における削孔、一次注入、二次注入の1日当り施工本数は、次式とする。 1) 削孔 $N = \frac{60 \times H}{T_D} \quad (\times 2)$ N : 1 (2) セット1日当り削孔施工本数 (本/日) H : 削孔設備の1日当り実作業時間で6.5時間とする。 T_D : 1本当り削孔時間 (min) 2) 一次注入 $N = \frac{60 \times H}{T_{P1}} \times 4$ N : 4セット1日当り注入施工本数 (本/日) H : 注入設備の1日当り実作業時間で7.3時間とする。 T_{P1} : 1本当り注入時間 (min) 3) 二次注入 $N = \frac{60 \times H}{T_{P2}} \times 4$ N : 4セット1日当り注入施工本数 (本/日) H : 注入設備の1日当り実作業時間で7.3時間とする。 T_{P2} : 1本当り注入時間 (min) (6) 諸雑費 二重管ダブルバック工法削孔時の諸雑費は、グラウトポンプ・グラウトミキサ・送水ポンプ・貯水槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、一次注入及び二次注入時の諸雑費は、グラウト流量・圧力測定装置・グラウトミキサ・バック加压ポンプ・送水ポンプ・送液ポンプ・貯水槽・貯液槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額（水ガラス積算流量計は除く）に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。																																																						
表-15-16 二重管ダブルバック工法の諸雑费率 (%) <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>条 件</th> <th>セット数</th> <th>諸雑费率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">削 孔</td> <td>1</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>一 次 注 入</td> <td>4</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>二 次 注 入 有 機 系</td> <td>4</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>二 次 注 入 無 機 系</td> <td>4</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	条 件	セット数	諸雑费率	削 孔	1	9	2	6	一 次 注 入	4	26	二 次 注 入 有 機 系	4	25	二 次 注 入 無 機 系	4	20																																					
条 件	セット数	諸雑费率																																																				
削 孔	1	9																																																				
	2	6																																																				
一 次 注 入	4	26																																																				
二 次 注 入 有 機 系	4	25																																																				
二 次 注 入 無 機 系	4	20																																																				
9. 消耗材料費（二重管ストレーナ工法） (1) 削孔材料消耗量																																																						
表-15-17 削孔材料消費量 (削孔径φ40.5mm 削孔長1.0m当り) <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品 名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">礫質土</th> <th colspan="2">砂質土</th> <th colspan="2">粘性土</th> </tr> <tr> <th>単相</th> <th>複相</th> <th>単相</th> <th>複相</th> <th>単相</th> <th>複相</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二重管ボーリングロッド</td> <td>m</td> <td>0.05</td> <td>0.05</td> <td>0.03</td> <td>0.03</td> <td>0.02</td> <td>0.02</td> </tr> <tr> <td>メタルクラウンφ41mm</td> <td>個</td> <td>0.30</td> <td>0.30</td> <td>0.04</td> <td>0.04</td> <td>0.03</td> <td>0.03</td> </tr> <tr> <td>単相用グラウトモニタφ40.5mm</td> <td>個</td> <td>0.005</td> <td>—</td> <td>0.003</td> <td>—</td> <td>0.002</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>複相用グラウトモニタφ40.5mm</td> <td>個</td> <td>—</td> <td>0.005</td> <td>—</td> <td>0.003</td> <td>—</td> <td>0.002</td> </tr> <tr> <td>そ の 他 雑 品</td> <td>%</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>23</td> <td>17</td> <td>23</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	品 名	単位	礫質土		砂質土		粘性土		単相	複相	単相	複相	単相	複相	二重管ボーリングロッド	m	0.05	0.05	0.03	0.03	0.02	0.02	メタルクラウンφ41mm	個	0.30	0.30	0.04	0.04	0.03	0.03	単相用グラウトモニタφ40.5mm	個	0.005	—	0.003	—	0.002	—	複相用グラウトモニタφ40.5mm	個	—	0.005	—	0.003	—	0.002	そ の 他 雑 品	%	15	11	23	17	23	16
品 名			単位	礫質土		砂質土		粘性土																																														
	単相	複相		単相	複相	単相	複相																																															
二重管ボーリングロッド	m	0.05	0.05	0.03	0.03	0.02	0.02																																															
メタルクラウンφ41mm	個	0.30	0.30	0.04	0.04	0.03	0.03																																															
単相用グラウトモニタφ40.5mm	個	0.005	—	0.003	—	0.002	—																																															
複相用グラウトモニタφ40.5mm	個	—	0.005	—	0.003	—	0.002																																															
そ の 他 雑 品	%	15	11	23	17	23	16																																															
備考 1 本歩掛は、鉛直方向への削孔にのみ適用する。 2 二重管ボーリングロッドは3.0m/本とする。 3 その他雑品には、ロッドカップリング、圧力計、パイプレンチ、ペンチ、ドライバー、カッター、スラントルール、水切りモップ等を含み、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。																																																						

頁	改定趣旨	現 行																																																																		
69	表記の修正	<p>(2) 注入材料消耗量 【DGD10510】 (注入量1kg/当り)</p> <p style="text-align: center;">表-15-18 注入材料消耗量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>単位</th> <th>単相</th> <th>複相</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グラウトモニタφ40.5mm</td> <td>個</td> <td>0.02</td> <td>—</td> <td>単相用</td> </tr> <tr> <td>グラウトモニタφ40.5mm</td> <td>個</td> <td>—</td> <td>0.02</td> <td>複相用</td> </tr> <tr> <td>注入ホース類φ12mm</td> <td>組</td> <td>0.005</td> <td>—</td> <td>P=4.9MPa (50kgf/cm²) L=50m×2</td> </tr> <tr> <td>注入ホース類φ12mm</td> <td>組</td> <td>—</td> <td>0.005</td> <td>P=4.9MPa (50kgf/cm²) L=50m×3</td> </tr> <tr> <td>サクシオンホースφ38mm</td> <td>組</td> <td>0.003</td> <td>—</td> <td>L=3m×2</td> </tr> <tr> <td>サクシオンホースφ38mm</td> <td>組</td> <td>—</td> <td>0.003</td> <td>L=3m×3</td> </tr> <tr> <td>その他雑品</td> <td>%</td> <td>42</td> <td>25</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 その他雑品には、二重管スイベル、スイベルカバー、継手類、ホース、ポンプ、流量計、分流バルブ、圧力計、パイプレンチ、ペンチ、ウエス、スコップ、土のう等を含み、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>10. 消耗材料費 (二重管ダブルバック工法)</p> <p>(1) 削孔材料消耗量 【DGD10520】 【DGD10530】 (削孔径φ96mm 削孔長1.0m/当り)</p> <p style="text-align: center;">表-15-19 削孔材料消耗量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>単位</th> <th>礫質土</th> <th>砂質土</th> <th>粘性土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケーシングφ96mm (カップリング付)</td> <td>個</td> <td>0.0167</td> <td>0.0055</td> <td>0.0040</td> </tr> <tr> <td>ウォータスイベルφ96mm</td> <td>個</td> <td>0.0028</td> <td>0.0009</td> <td>0.0007</td> </tr> <tr> <td>シャックロッド</td> <td>個</td> <td>0.0083</td> <td>0.0030</td> <td>0.0025</td> </tr> <tr> <td>その他雑品</td> <td>%</td> <td>41</td> <td>49</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 本歩掛は、鉛直方向への削孔にのみ適用する。 2 その他雑品には、シャックアダプタ、リングビット等が含まれており、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	品名	単位	単相	複相	備考	グラウトモニタφ40.5mm	個	0.02	—	単相用	グラウトモニタφ40.5mm	個	—	0.02	複相用	注入ホース類φ12mm	組	0.005	—	P=4.9MPa (50kgf/cm ²) L=50m×2	注入ホース類φ12mm	組	—	0.005	P=4.9MPa (50kgf/cm ²) L=50m×3	サクシオンホースφ38mm	組	0.003	—	L=3m×2	サクシオンホースφ38mm	組	—	0.003	L=3m×3	その他雑品	%	42	25	—	品名	単位	礫質土	砂質土	粘性土	ケーシングφ96mm (カップリング付)	個	0.0167	0.0055	0.0040	ウォータスイベルφ96mm	個	0.0028	0.0009	0.0007	シャックロッド	個	0.0083	0.0030	0.0025	その他雑品	%	41	49	55	
品名	単位	単相	複相	備考																																																																
グラウトモニタφ40.5mm	個	0.02	—	単相用																																																																
グラウトモニタφ40.5mm	個	—	0.02	複相用																																																																
注入ホース類φ12mm	組	0.005	—	P=4.9MPa (50kgf/cm ²) L=50m×2																																																																
注入ホース類φ12mm	組	—	0.005	P=4.9MPa (50kgf/cm ²) L=50m×3																																																																
サクシオンホースφ38mm	組	0.003	—	L=3m×2																																																																
サクシオンホースφ38mm	組	—	0.003	L=3m×3																																																																
その他雑品	%	42	25	—																																																																
品名	単位	礫質土	砂質土	粘性土																																																																
ケーシングφ96mm (カップリング付)	個	0.0167	0.0055	0.0040																																																																
ウォータスイベルφ96mm	個	0.0028	0.0009	0.0007																																																																
シャックロッド	個	0.0083	0.0030	0.0025																																																																
その他雑品	%	41	49	55																																																																
70	表記の修正	<p>(2) 注入材料消耗量 【DGD10540】 (注入量1kg/当り)</p> <p style="text-align: center;">表-15-20 注入材料消耗量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>単位</th> <th>ダブルバック</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二重管ホースφ12mm</td> <td>本</td> <td>0.01</td> <td>P=21MPa (210kgf/cm²) L=20m</td> </tr> <tr> <td>シールパッカーセット</td> <td>個</td> <td>0.02</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>シールセット</td> <td>個</td> <td>0.20</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>注入用部品類</td> <td>%</td> <td>56</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 注入用部品類は、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>11. 注入設備の据付・解体及び移設 注入設備据付・解体は、現場条件等により地上プラント、車上プラントを選択計上する。</p> <p>(1) 固定設備</p> <p>1) 注入設備据付・解体 注入設備の据付・解体 (搬入・搬出時) の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表-15-21 注入設備 据付・解体歩掛 (地上) (1現場/当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">単位</th> <th rowspan="3">規格</th> <th colspan="2">二重管ストレーナ工法</th> <th colspan="2">二重管ダブルバック工法</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">2セット</th> <th rowspan="2">4セット</th> <th colspan="2">削孔</th> </tr> <tr> <th>1セット</th> <th>2セット</th> <th>4セット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td></td> <td>2.2</td> <td>2.7</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>8.2</td> <td>13.3</td> <td>4.6</td> <td>6.2</td> <td>11.6</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>3.4</td> <td>5.6</td> <td>1.5</td> <td>2.3</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>トラック運転 (クレーン装置付)</td> <td>時間</td> <td>ベーストラック4t 級 吊能力2.9t</td> <td>13</td> <td>17</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>	品名	単位	ダブルバック	備考	二重管ホースφ12mm	本	0.01	P=21MPa (210kgf/cm ²) L=20m	シールパッカーセット	個	0.02	—	シールセット	個	0.20	—	注入用部品類	%	56	—	名称	単位	規格	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバック工法		2セット	4セット	削孔		1セット	2セット	4セット	土木一般世話役	人		2.2	2.7	1.5	1.5	3.1	特殊作業員	人		8.2	13.3	4.6	6.2	11.6	普通作業員	人		3.4	5.6	1.5	2.3	3.9	トラック運転 (クレーン装置付)	時間	ベーストラック4t 級 吊能力2.9t	13	17	6	6	19
品名	単位	ダブルバック	備考																																																																	
二重管ホースφ12mm	本	0.01	P=21MPa (210kgf/cm ²) L=20m																																																																	
シールパッカーセット	個	0.02	—																																																																	
シールセット	個	0.20	—																																																																	
注入用部品類	%	56	—																																																																	
名称	単位	規格	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバック工法																																																															
			2セット	4セット	削孔																																																															
					1セット	2セット	4セット																																																													
土木一般世話役	人		2.2	2.7	1.5	1.5	3.1																																																													
特殊作業員	人		8.2	13.3	4.6	6.2	11.6																																																													
普通作業員	人		3.4	5.6	1.5	2.3	3.9																																																													
トラック運転 (クレーン装置付)	時間	ベーストラック4t 級 吊能力2.9t	13	17	6	6	19																																																													

工種名	管路施設 (開削工法)																																																																																										
改 定																																																																																											
(2) 注入材料消耗量 【DGD10510】 (注入量1kg/当り)	表-15-18 注入材料消耗量 (注入量1kg/当り)																																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>単位</th> <th>単相</th> <th>複相</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グラウトモニタφ40.5mm</td> <td>個</td> <td>0.02</td> <td>—</td> <td>単相用</td> </tr> <tr> <td>グラウトモニタφ40.5mm</td> <td>個</td> <td>—</td> <td>0.02</td> <td>複相用</td> </tr> <tr> <td>注入ホース類φ12mm</td> <td>組</td> <td>0.005</td> <td>—</td> <td>P=4.9MPa (50kgf/cm²) L=50m×2</td> </tr> <tr> <td>注入ホース類φ12mm</td> <td>組</td> <td>—</td> <td>0.005</td> <td>P=4.9MPa (50kgf/cm²) L=50m×3</td> </tr> <tr> <td>サクシオンホースφ38mm</td> <td>組</td> <td>0.003</td> <td>—</td> <td>L=3m×2</td> </tr> <tr> <td>サクシオンホースφ38mm</td> <td>組</td> <td>—</td> <td>0.003</td> <td>L=3m×3</td> </tr> <tr> <td>その他雑品</td> <td>%</td> <td>42</td> <td>25</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 その他雑品には、二重管スイベル、スイベルカバー、継手類、ホース、ポンプ、流量計、分流バルブ、圧力計、パイプレンチ、ペンチ、ウエス、スコップ、土のう等を含み、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>10. 消耗材料費 (二重管ダブルバック工法)</p> <p>(1) 削孔材料消耗量 【DGD10520】 【DGD10530】 (削孔径φ96mm 削孔長1.0m/当り)</p> <p style="text-align: center;">表-15-19 削孔材料消耗量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>単位</th> <th>礫質土</th> <th>砂質土</th> <th>粘性土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケーシングφ96mm (カップリング付)</td> <td>個</td> <td>0.0167</td> <td>0.0055</td> <td>0.0040</td> </tr> <tr> <td>ウォータスイベルφ96mm</td> <td>個</td> <td>0.0028</td> <td>0.0009</td> <td>0.0007</td> </tr> <tr> <td>シャックロッド</td> <td>個</td> <td>0.0083</td> <td>0.0030</td> <td>0.0025</td> </tr> <tr> <td>その他雑品</td> <td>%</td> <td>41</td> <td>49</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 本歩掛は、鉛直方向への削孔にのみ適用する。 2 その他雑品には、シャックアダプタ、リングビット等が含まれており、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	品名	単位	単相	複相	備考	グラウトモニタφ40.5mm	個	0.02	—	単相用	グラウトモニタφ40.5mm	個	—	0.02	複相用	注入ホース類φ12mm	組	0.005	—	P=4.9MPa (50kgf/cm ²) L=50m×2	注入ホース類φ12mm	組	—	0.005	P=4.9MPa (50kgf/cm ²) L=50m×3	サクシオンホースφ38mm	組	0.003	—	L=3m×2	サクシオンホースφ38mm	組	—	0.003	L=3m×3	その他雑品	%	42	25	—	品名	単位	礫質土	砂質土	粘性土	ケーシングφ96mm (カップリング付)	個	0.0167	0.0055	0.0040	ウォータスイベルφ96mm	個	0.0028	0.0009	0.0007	シャックロッド	個	0.0083	0.0030	0.0025	その他雑品	%	41	49	55	<p style="text-align: center;">表-15-19 削孔材料消耗量 (削孔径φ96mm 削孔長1.0m/当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>単位</th> <th>礫質土</th> <th>砂質土</th> <th>粘性土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケーシングφ96mm (カップリング付)</td> <td>個</td> <td>0.0167</td> <td>0.0055</td> <td>0.0040</td> </tr> <tr> <td>ウォータスイベルφ96mm</td> <td>個</td> <td>0.0028</td> <td>0.0009</td> <td>0.0007</td> </tr> <tr> <td>シャックロッド</td> <td>個</td> <td>0.0083</td> <td>0.0030</td> <td>0.0025</td> </tr> <tr> <td>その他雑品</td> <td>%</td> <td>41</td> <td>49</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 本歩掛は、鉛直方向への削孔にのみ適用する。 2 その他雑品には、シャックアダプタ、リングビット等が含まれており、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	品名	単位	礫質土	砂質土	粘性土	ケーシングφ96mm (カップリング付)	個	0.0167	0.0055	0.0040	ウォータスイベルφ96mm	個	0.0028	0.0009	0.0007	シャックロッド	個	0.0083	0.0030	0.0025	その他雑品	%	41	49	55
品名	単位	単相	複相	備考																																																																																							
グラウトモニタφ40.5mm	個	0.02	—	単相用																																																																																							
グラウトモニタφ40.5mm	個	—	0.02	複相用																																																																																							
注入ホース類φ12mm	組	0.005	—	P=4.9MPa (50kgf/cm ²) L=50m×2																																																																																							
注入ホース類φ12mm	組	—	0.005	P=4.9MPa (50kgf/cm ²) L=50m×3																																																																																							
サクシオンホースφ38mm	組	0.003	—	L=3m×2																																																																																							
サクシオンホースφ38mm	組	—	0.003	L=3m×3																																																																																							
その他雑品	%	42	25	—																																																																																							
品名	単位	礫質土	砂質土	粘性土																																																																																							
ケーシングφ96mm (カップリング付)	個	0.0167	0.0055	0.0040																																																																																							
ウォータスイベルφ96mm	個	0.0028	0.0009	0.0007																																																																																							
シャックロッド	個	0.0083	0.0030	0.0025																																																																																							
その他雑品	%	41	49	55																																																																																							
品名	単位	礫質土	砂質土	粘性土																																																																																							
ケーシングφ96mm (カップリング付)	個	0.0167	0.0055	0.0040																																																																																							
ウォータスイベルφ96mm	個	0.0028	0.0009	0.0007																																																																																							
シャックロッド	個	0.0083	0.0030	0.0025																																																																																							
その他雑品	%	41	49	55																																																																																							
(2) 注入材料消耗量 【DGD10540】 (注入量1kg/当り)	表-15-20 注入材料消耗量 (注入量1kg/当り)																																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>単位</th> <th>ダブルバック</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二重管ホースφ12mm</td> <td>本</td> <td>0.01</td> <td>P=21MPa (210kgf/cm²) L=20m</td> </tr> <tr> <td>シールパッカーセット</td> <td>個</td> <td>0.02</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>シールセット</td> <td>個</td> <td>0.20</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>注入用部品類</td> <td>%</td> <td>56</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 注入用部品類は、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4. 注入設備の据付・解体及び移設 注入設備据付・解体は、現場条件等により地上プラント、車上プラントを選択計上する。</p> <p>(1) 固定設備</p> <p>1) 注入設備据付・解体 注入設備の据付・解体 (搬入・搬出時) の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表-15-21 注入設備 据付・解体歩掛 (地上) (1現場/当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">単位</th> <th rowspan="3">規格</th> <th colspan="2">二重管ストレーナ工法</th> <th colspan="2">二重管ダブルバック工法</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">2セット</th> <th rowspan="2">4セット</th> <th colspan="2">削孔</th> </tr> <tr> <th>1セット</th> <th>2セット</th> <th>4セット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td></td> <td>2.2</td> <td>2.7</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>8.2</td> <td>13.3</td> <td>4.6</td> <td>6.2</td> <td>11.6</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>3.4</td> <td>5.6</td> <td>1.5</td> <td>2.3</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>トラック運転 (クレーン装置付)</td> <td>時間</td> <td>ベーストラック4t 級 吊能力2.9t</td> <td>13</td> <td>17</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>	品名	単位	ダブルバック	備考	二重管ホースφ12mm	本	0.01	P=21MPa (210kgf/cm ²) L=20m	シールパッカーセット	個	0.02	—	シールセット	個	0.20	—	注入用部品類	%	56	—	名称	単位	規格	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバック工法		2セット	4セット	削孔		1セット	2セット	4セット	土木一般世話役	人		2.2	2.7	1.5	1.5	3.1	特殊作業員	人		8.2	13.3	4.6	6.2	11.6	普通作業員	人		3.4	5.6	1.5	2.3	3.9	トラック運転 (クレーン装置付)	時間	ベーストラック4t 級 吊能力2.9t	13	17	6	6	19	<p style="text-align: center;">表-15-20 注入材料消耗量 (注入量1kg/当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>単位</th> <th>ダブルバック</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二重管ホースφ12mm</td> <td>本</td> <td>0.01</td> <td>P=21MPa (210kgf/cm²) L=20m</td> </tr> <tr> <td>シールパッカーセット</td> <td>個</td> <td>0.02</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>シールセット</td> <td>個</td> <td>0.20</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>注入用部品類</td> <td>%</td> <td>56</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 注入用部品類は、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	品名	単位	ダブルバック	備考	二重管ホースφ12mm	本	0.01	P=21MPa (210kgf/cm ²) L=20m	シールパッカーセット	個	0.02	—	シールセット	個	0.20	—	注入用部品類	%	56	—				
品名	単位	ダブルバック	備考																																																																																								
二重管ホースφ12mm	本	0.01	P=21MPa (210kgf/cm ²) L=20m																																																																																								
シールパッカーセット	個	0.02	—																																																																																								
シールセット	個	0.20	—																																																																																								
注入用部品類	%	56	—																																																																																								
名称	単位	規格	二重管ストレーナ工法		二重管ダブルバック工法																																																																																						
			2セット	4セット	削孔																																																																																						
					1セット	2セット	4セット																																																																																				
土木一般世話役	人		2.2	2.7	1.5	1.5	3.1																																																																																				
特殊作業員	人		8.2	13.3	4.6	6.2	11.6																																																																																				
普通作業員	人		3.4	5.6	1.5	2.3	3.9																																																																																				
トラック運転 (クレーン装置付)	時間	ベーストラック4t 級 吊能力2.9t	13	17	6	6	19																																																																																				
品名	単位	ダブルバック	備考																																																																																								
二重管ホースφ12mm	本	0.01	P=21MPa (210kgf/cm ²) L=20m																																																																																								
シールパッカーセット	個	0.02	—																																																																																								
シールセット	個	0.20	—																																																																																								
注入用部品類	%	56	—																																																																																								

頁	改定趣旨	現	行																																																		
70	表記の修正	<p>2) 注入設備移設 注入設備を中心に半径50mを超える場合、又は同一現場内に施工箇所が2箇所以上あり、注入設備を移設しなければならない場合の歩掛は次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表-15-22 注入設備 移設歩掛（地上） (1回当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">単位</th> <th rowspan="3">規格</th> <th colspan="2">二重管ストレナーナ工法</th> <th colspan="3">二重管ダブルバッカー工法</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">2セット</th> <th rowspan="2">4セット</th> <th colspan="2">削孔</th> <th>注入</th> </tr> <tr> <th>1セット</th> <th>2セット</th> <th>4セット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td></td> <td>1.3</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>5.5</td> <td>8.5</td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>2.2</td> <td>3.5</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>トラック運転（クレーン装置付）</td> <td>時間</td> <td>ベーストラック4t級 吊能力2.9t</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	規格	二重管ストレナーナ工法		二重管ダブルバッカー工法			2セット	4セット	削孔		注入	1セット	2セット	4セット	土木一般世話役	人		1.3	2.0	1.0	1.0	2.0	特殊作業員	人		5.5	8.5	3.0	4.0	7.5	普通作業員	人		2.2	3.5	1.0	1.5	2.5	トラック運転（クレーン装置付）	時間	ベーストラック4t級 吊能力2.9t	8	11	4	4	12			
名称	単位	規格				二重管ストレナーナ工法		二重管ダブルバッカー工法																																													
						2セット	4セット	削孔		注入																																											
			1セット	2セット	4セット																																																
土木一般世話役	人		1.3	2.0	1.0	1.0	2.0																																														
特殊作業員	人		5.5	8.5	3.0	4.0	7.5																																														
普通作業員	人		2.2	3.5	1.0	1.5	2.5																																														
トラック運転（クレーン装置付）	時間	ベーストラック4t級 吊能力2.9t	8	11	4	4	12																																														
71	表記の修正	<p>(2) 移動設備 注入設備の据付・解体の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表-15-23 二重管ストレナーナ工法注入設備 据付・解体歩掛（車上） (1現場当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>規格</th> <th>二重管ストレナーナ工法（車上）</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td></td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>2.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>3.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック運転（クレーン装置付）</td> <td>時間</td> <td>ベーストラック4t級 吊能力2.9t</td> <td>14.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック損料</td> <td>日</td> <td>4～4.5t積</td> <td>2.0×α</td> <td>備考5</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td>式</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック損料（注入時）</td> <td>日</td> <td></td> <td>【DGD10590】</td> <td>備考6</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 上表は、薬液の調合・送液等に必要注入設備の据付・解体に要するものである。 2 注入設備工は昼間施工とする。 3 上表は、2セット分の歩掛である。 4 本歩掛は、注入設備据付・解体の一切を含む。 5 据付・解体のトラック損料日数＝（注入設備据付日数＋注入設備解体日数）×α 注入設備据付日数＝1.0日 注入設備解体日数＝1.0日 6 日数＝$\frac{\text{総注入量}V(k\ell)}{1\text{本当り注入量}Q_s(k\ell/\text{本}) \times 1\text{日当り施工本数}} \times \alpha$ α：供用日の割増率</p>	名称	単位	規格	二重管ストレナーナ工法（車上）	摘要	土木一般世話役	人		2.0		特殊作業員	人		2.6		普通作業員	人		3.7		トラック運転（クレーン装置付）	時間	ベーストラック4t級 吊能力2.9t	14.5		トラック損料	日	4～4.5t積	2.0×α	備考5	諸雑費	式		1		小計					トラック損料（注入時）	日		【DGD10590】	備考6	小計					
名称	単位	規格	二重管ストレナーナ工法（車上）	摘要																																																	
土木一般世話役	人		2.0																																																		
特殊作業員	人		2.6																																																		
普通作業員	人		3.7																																																		
トラック運転（クレーン装置付）	時間	ベーストラック4t級 吊能力2.9t	14.5																																																		
トラック損料	日	4～4.5t積	2.0×α	備考5																																																	
諸雑費	式		1																																																		
小計																																																					
トラック損料（注入時）	日		【DGD10590】	備考6																																																	
小計																																																					

改		定																																																			
<p>2) 注入設備移設 注入設備を中心に半径50mを超える場合、又は同一現場内に施工箇所が2箇所以上あり、注入設備を移設しなければならない場合の歩掛は次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表-15-22 注入設備 移設歩掛（地上） (1回当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">単位</th> <th rowspan="3">規格</th> <th colspan="2">二重管ストレナーナ工法</th> <th colspan="3">二重管ダブルバッカー工法</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">2セット</th> <th rowspan="2">4セット</th> <th colspan="2">削孔</th> <th>注入</th> </tr> <tr> <th>1セット</th> <th>2セット</th> <th>4セット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td></td> <td>1.3</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>5.5</td> <td>8.5</td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>2.2</td> <td>3.5</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>トラック運転（クレーン装置付）</td> <td>時間</td> <td>ベーストラック4t級 吊能力2.9t</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	規格	二重管ストレナーナ工法		二重管ダブルバッカー工法			2セット	4セット	削孔		注入	1セット	2セット	4セット	土木一般世話役	人		1.3	2.0	1.0	1.0	2.0	特殊作業員	人		5.5	8.5	3.0	4.0	7.5	普通作業員	人		2.2	3.5	1.0	1.5	2.5	トラック運転（クレーン装置付）	時間	ベーストラック4t級 吊能力2.9t	8	11	4	4	12				
名称	単位				規格	二重管ストレナーナ工法		二重管ダブルバッカー工法																																													
						2セット	4セット	削孔		注入																																											
		1セット	2セット	4セット																																																	
土木一般世話役	人		1.3	2.0	1.0	1.0	2.0																																														
特殊作業員	人		5.5	8.5	3.0	4.0	7.5																																														
普通作業員	人		2.2	3.5	1.0	1.5	2.5																																														
トラック運転（クレーン装置付）	時間	ベーストラック4t級 吊能力2.9t	8	11	4	4	12																																														
<p>(1) 移動設備 注入設備の据付・解体の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表-15-23 1 二重管ストレナーナ工法注入設備 据付・解体歩掛（車上） (1現場当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>規格</th> <th>二重管ストレナーナ工法（車上）</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td></td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>2.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>3.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック運転（クレーン装置付）</td> <td>時間</td> <td>ベーストラック4～4.5t級 吊能力2.9t</td> <td>14.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック損料</td> <td>日</td> <td>4～4.5t積</td> <td>2.0×α</td> <td>備考5</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td>式</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック損料（注入時）</td> <td>日</td> <td></td> <td>【DGD10590】</td> <td>備考6</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 上表は、薬液の調合・送液等に必要注入設備の据付・解体に要するものである。 2 注入設備工は昼間施工とする。 3 上表は、2セット分の歩掛である。 4 本歩掛は、注入設備据付・解体の一切を含む。 5 据付・解体のトラック損料日数＝（注入設備据付日数＋注入設備解体日数）×α 注入設備据付日数＝1.0日 注入設備解体日数＝1.0日 6 日数＝$\frac{\text{総注入量}V(k\ell)}{1\text{本当り注入量}Q_s(k\ell/\text{本}) \times 1\text{日当り施工本数}} \times \alpha$ α：供用日の割増率</p>		名称	単位	規格	二重管ストレナーナ工法（車上）	摘要	土木一般世話役	人		2.0		特殊作業員	人		2.6		普通作業員	人		3.7		トラック運転（クレーン装置付）	時間	ベーストラック4～4.5t級 吊能力2.9t	14.5		トラック損料	日	4～4.5t積	2.0×α	備考5	諸雑費	式		1		小計					トラック損料（注入時）	日		【DGD10590】	備考6	小計						
名称	単位	規格	二重管ストレナーナ工法（車上）	摘要																																																	
土木一般世話役	人		2.0																																																		
特殊作業員	人		2.6																																																		
普通作業員	人		3.7																																																		
トラック運転（クレーン装置付）	時間	ベーストラック4～4.5t級 吊能力2.9t	14.5																																																		
トラック損料	日	4～4.5t積	2.0×α	備考5																																																	
諸雑費	式		1																																																		
小計																																																					
トラック損料（注入時）	日		【DGD10590】	備考6																																																	
小計																																																					

頁	改定趣旨	現 行																								
71	表記の修正	<p>12. 排水汚泥土処理 注入排水、排土などのための処理設備が必要な場合は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表-15-24 排水汚泥土処理 (1日当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>規 格</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>工事中水モーターポンプ損料</td> <td>日</td> <td>φ50mm 全揚程 20m</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>アルカリ水中和装置損料</td> <td>時間</td> <td>炭酸ガス式 処理能力 6 m³/h</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>水 槽 損 料</td> <td>供用日</td> <td>鋼板製簡易水槽 5 m³</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td></td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 本工種以外における工事で濁水処理施設を設け、かつその施設で本工種で発生した削孔水等の濁水を処理する場合は計上しない。 2 諸雑費は電力に関する経費等であり、労務費及び機械損料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3 現場における中和剤材料費、排泥運搬のための汚泥吸排車及び処理費は、別途計上する。 4 上表は二重管ストレーナ工法4セットまで、二重管ダブルパッカー工法削孔2セット、注入4セットまでとする。</p> <p>13. 足場工 足場が必要な場合は、別途計上とする。</p> <p>14. その他 (1) 本工法は、特許を有する工法の場合もあるので、必要に応じて特許料を計上する。 (2) 用水費については、現場条件を確認の上、必要に応じて別途計上する。</p>	名 称	単 位	規 格	数 量	普 通 作 業 員	人		0.8	工事中水モーターポンプ損料	日	φ50mm 全揚程 20m	1.0	アルカリ水中和装置損料	時間	炭酸ガス式 処理能力 6 m ³ /h	6.8	水 槽 損 料	供用日	鋼板製簡易水槽 5 m ³	1.5	諸 雑 費 率	%		20
名 称	単 位	規 格	数 量																							
普 通 作 業 員	人		0.8																							
工事中水モーターポンプ損料	日	φ50mm 全揚程 20m	1.0																							
アルカリ水中和装置損料	時間	炭酸ガス式 処理能力 6 m ³ /h	6.8																							
水 槽 損 料	供用日	鋼板製簡易水槽 5 m ³	1.5																							
諸 雑 費 率	%		20																							

改 定																								
<p>12. 排水汚泥土処理 注入排水、排土などのための処理設備が必要な場合は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表-15-24 排水汚泥土処理 (1日当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>規 格</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>—</td> <td>—0.8</td> </tr> <tr> <td>工事中水モーターポンプ損料</td> <td>日</td> <td>φ50mm 全揚程 20m</td> <td>—1.0</td> </tr> <tr> <td>アルカリ水中和装置損料</td> <td>時間</td> <td>炭酸ガス式 処理能力 6 m³/h</td> <td>—6.8</td> </tr> <tr> <td>水 槽 損 料</td> <td>供用日</td> <td>鋼板製簡易水槽 5 m³</td> <td>—1.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>—</td> <td>—20</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 本工種以外における工事で濁水処理施設を設け、かつその施設で本工種で発生した削孔水等の濁水を処理する場合は計上しない。 2 諸雑費は電力に関する経費等であり、労務費及び機械損料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3 現場における中和剤材料費、排泥運搬のための汚泥吸排車及び処理費は、別途計上する。 4 上表は二重管ストレーナ工法4セットまで、二重管ダブルパッカー工法削孔2セット、注入4セットまでとする。</p> <p>13. 足場工 足場が必要な場合は、別途計上とする。</p> <p>14. その他 (1) 本工法は、特許を有する工法の場合もあるので、必要に応じて特許料を計上する。 (2) 用水費については、現場条件を確認の上、必要に応じて別途計上する。</p>	名 称	単 位	規 格	数 量	普 通 作 業 員	人	—	—0.8	工事中水モーターポンプ損料	日	φ50mm 全揚程 20m	—1.0	アルカリ水中和装置損料	時間	炭酸ガス式 処理能力 6 m ³ /h	—6.8	水 槽 損 料	供用日	鋼板製簡易水槽 5 m ³	—1.5	諸 雑 費 率	%	—	—20
名 称	単 位	規 格	数 量																					
普 通 作 業 員	人	—	—0.8																					
工事中水モーターポンプ損料	日	φ50mm 全揚程 20m	—1.0																					
アルカリ水中和装置損料	時間	炭酸ガス式 処理能力 6 m ³ /h	—6.8																					
水 槽 損 料	供用日	鋼板製簡易水槽 5 m ³	—1.5																					
諸 雑 費 率	%	—	—20																					

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路

頁	改定趣旨	現	行																																																																																																																																																																																																																																																																																								
72	表記の修正	<p>15. 単価表 (1) 二重管ストレーナ工法 1本当り D-15-1 薬液注入工</p> <p style="text-align: right;">【DGD10550】 (1本当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×a 表-15-3</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×a 表-15-3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×a 表-15-3</td> </tr> <tr> <td>注入材料</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>Q_s式1 備考4</td> </tr> <tr> <td>ボーリングマシン損料</td> <td>油圧式 5.5kW級</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×b 表-15-1</td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ損料</td> <td>吐出量 5~20ℓ/min×2 (9.8MPa)</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×b 表-15-1</td> </tr> <tr> <td>水ガラス積算流量計損料</td> <td>0~50ℓ/min</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×b 表-15-1 備考5</td> </tr> <tr> <td>削孔消耗材料費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>表-15-17 備考6</td> </tr> <tr> <td>注入消耗材料費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>表-15-18</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>表-15-8</td> </tr> <tr> <td>特許料金</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 N : 1日当り施工本数 2 a : 編成人員 3 b : 施工台数 4 Q_s : 二重管ストレーナ工法の1本当り注入量 (ℓ) 5 水ガラス積算流量計損料は、総注入量 500ℓ以上の場合に計上する。 6 削孔消耗材料費は次式により算出する。 $P = L_1 \times P_1 + L_2 \times P_2 + L_3 \times P_3$ P : 削孔消耗材料費 (円/本) L₁ : 礫質土部分削孔長 (m/本) L₂ : 砂質土部分削孔長 (m/本) L₃ : 粘性土部分削孔長 (m/本) P₁ : 礫質土1m当り削孔消耗材料費 (円/m) P₂ : 砂質土1m当り削孔消耗材料費 (円/m) P₃ : 粘性土1m当り削孔消耗材料費 (円/m)</p> <p>D-15-2 注入設備据付・解体工 (地上)</p> <p style="text-align: right;">【DGD10560】 (1現場当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-21</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-21</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-21</td> </tr> <tr> <td>トラック運転 (クレーン装置付)</td> <td>ベーストラック4t級 吊能力2.9t</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-21</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>端数処理</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役		人				1/N×a 表-15-3	特殊作業員		人				1/N×a 表-15-3	普通作業員		人				1/N×a 表-15-3	注入材料		ℓ				Q _s 式1 備考4	ボーリングマシン損料	油圧式 5.5kW級	日				1/N×b 表-15-1	薬液注入ポンプ損料	吐出量 5~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	日				1/N×b 表-15-1	水ガラス積算流量計損料	0~50ℓ/min	日				1/N×b 表-15-1 備考5	削孔消耗材料費		式	1			表-15-17 備考6	注入消耗材料費		式	1			表-15-18	諸雑費		式	1			表-15-8	特許料金		式	1			必要に応じて計上	計							名称	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役		人				表-15-21	特殊作業員		人				表-15-21	普通作業員		人				表-15-21	トラック運転 (クレーン装置付)	ベーストラック4t級 吊能力2.9t	時間				表-15-21	諸雑費		式	1			端数処理	計							<p>5. 単価表 (1) 二重管ストレーナ工法 1本当り D-15-1 薬液注入工</p> <p style="text-align: right;">【DGD10550】 (1本当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×a 表-15-3</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×a 表-15-3</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×a 表-15-3</td> </tr> <tr> <td>注入材料</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>Q_s式1 備考4</td> </tr> <tr> <td>ボーリングマシン損料</td> <td>油圧式 5.5kW級</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×b 表-15-1</td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ損料</td> <td>吐出量 5~20ℓ/min×2 (9.8MPa)</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×b 表-15-1</td> </tr> <tr> <td>水ガラス積算流量計損料</td> <td>0~50ℓ/min</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×b 表-15-1 備考5</td> </tr> <tr> <td>削孔消耗材料費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>表-15-17 備考6</td> </tr> <tr> <td>注入消耗材料費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>表-15-18</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>表-15-8</td> </tr> <tr> <td>特許料金</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 N : 1日当り施工本数 2 a : 編成人員 3 b : 施工台数 4 Q_s : 二重管ストレーナ工法の1本当り注入量 (ℓ) 5 水ガラス積算流量計損料は、総注入量 500ℓ以上の場合に計上する。 6 削孔消耗材料費は次式により算出する。 $P = L_1 \times P_1 + L_2 \times P_2 + L_3 \times P_3$ P : 削孔消耗材料費 (円/本) L₁ : 礫質土部分削孔長 (m/本) L₂ : 砂質土部分削孔長 (m/本) L₃ : 粘性土部分削孔長 (m/本) P₁ : 礫質土1m当り削孔消耗材料費 (円/m) P₂ : 砂質土1m当り削孔消耗材料費 (円/m) P₃ : 粘性土1m当り削孔消耗材料費 (円/m)</p> <p>D-15-2 注入設備据付・解体工 (地上)</p> <p style="text-align: right;">【DGD10560】 (1現場当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-21</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-21</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-21</td> </tr> <tr> <td>トラック運転 (クレーン装置付)</td> <td>ベーストラック4t級 吊能力2.9t</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-21</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>端数処理</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役		人				1/N×a 表-15-3	特殊作業員		人				1/N×a 表-15-3	普通作業員		人				1/N×a 表-15-3	注入材料		ℓ				Q _s 式1 備考4	ボーリングマシン損料	油圧式 5.5kW級	日				1/N×b 表-15-1	薬液注入ポンプ損料	吐出量 5~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	日				1/N×b 表-15-1	水ガラス積算流量計損料	0~50ℓ/min	日				1/N×b 表-15-1 備考5	削孔消耗材料費		式	1			表-15-17 備考6	注入消耗材料費		式	1			表-15-18	諸雑費		式	1			表-15-8	特許料金		式	1			必要に応じて計上	計							名称	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役		人				表-15-21	特殊作業員		人				表-15-21	普通作業員		人				表-15-21	トラック運転 (クレーン装置付)	ベーストラック4t級 吊能力2.9t	時間				表-15-21	諸雑費		式	1			端数処理	計						
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人				1/N×a 表-15-3																																																																																																																																																																																																																																																																																					
特殊作業員		人				1/N×a 表-15-3																																																																																																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		人				1/N×a 表-15-3																																																																																																																																																																																																																																																																																					
注入材料		ℓ				Q _s 式1 備考4																																																																																																																																																																																																																																																																																					
ボーリングマシン損料	油圧式 5.5kW級	日				1/N×b 表-15-1																																																																																																																																																																																																																																																																																					
薬液注入ポンプ損料	吐出量 5~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	日				1/N×b 表-15-1																																																																																																																																																																																																																																																																																					
水ガラス積算流量計損料	0~50ℓ/min	日				1/N×b 表-15-1 備考5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
削孔消耗材料費		式	1			表-15-17 備考6																																																																																																																																																																																																																																																																																					
注入消耗材料費		式	1			表-15-18																																																																																																																																																																																																																																																																																					
諸雑費		式	1			表-15-8																																																																																																																																																																																																																																																																																					
特許料金		式	1			必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																																																																																																																											
名称	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人				表-15-21																																																																																																																																																																																																																																																																																					
特殊作業員		人				表-15-21																																																																																																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		人				表-15-21																																																																																																																																																																																																																																																																																					
トラック運転 (クレーン装置付)	ベーストラック4t級 吊能力2.9t	時間				表-15-21																																																																																																																																																																																																																																																																																					
諸雑費		式	1			端数処理																																																																																																																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人				1/N×a 表-15-3																																																																																																																																																																																																																																																																																					
特殊作業員		人				1/N×a 表-15-3																																																																																																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		人				1/N×a 表-15-3																																																																																																																																																																																																																																																																																					
注入材料		ℓ				Q _s 式1 備考4																																																																																																																																																																																																																																																																																					
ボーリングマシン損料	油圧式 5.5kW級	日				1/N×b 表-15-1																																																																																																																																																																																																																																																																																					
薬液注入ポンプ損料	吐出量 5~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	日				1/N×b 表-15-1																																																																																																																																																																																																																																																																																					
水ガラス積算流量計損料	0~50ℓ/min	日				1/N×b 表-15-1 備考5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
削孔消耗材料費		式	1			表-15-17 備考6																																																																																																																																																																																																																																																																																					
注入消耗材料費		式	1			表-15-18																																																																																																																																																																																																																																																																																					
諸雑費		式	1			表-15-8																																																																																																																																																																																																																																																																																					
特許料金		式	1			必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																																																																																																																											
名称	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人				表-15-21																																																																																																																																																																																																																																																																																					
特殊作業員		人				表-15-21																																																																																																																																																																																																																																																																																					
普通作業員		人				表-15-21																																																																																																																																																																																																																																																																																					
トラック運転 (クレーン装置付)	ベーストラック4t級 吊能力2.9t	時間				表-15-21																																																																																																																																																																																																																																																																																					
諸雑費		式	1			端数処理																																																																																																																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																																																																																																																											

工種名	管路施設 (開削工法)
	改定

頁	改定趣旨	現	行																																																																																																																																																										
73	表記の修正	<p>D-15-3 注入設備移設工 (地上) 【DGD10570】 (1回当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-22</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-22</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-22</td> </tr> <tr> <td>トラック運転(クレーン装置付)</td> <td>ベーストラック4t級 吊能力2.9t</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-22</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>端数処理</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>D-15-4 注入設備据付・解体工 (車上) 【DGD10580】 (1現場当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-23</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-23</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-23</td> </tr> <tr> <td>トラック運転(クレーン装置付)</td> <td>ベーストラック4t級 吊能力2.9t</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-23</td> </tr> <tr> <td>トラック損料</td> <td>4~4.5t積</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-23</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>端数処理</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック損料(注入時)</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E-15-1</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 上記のトラック損料, トラック損料(注入時)は, 「建設機械等損料算定表」の供用1日当り損料額(11)欄を用いること。</p> <p>D-15-5 排水汚泥土処理工 (1式)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排水汚泥土処理</td> <td>処理設備費</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E-15-2</td> </tr> <tr> <td>排水汚泥土処理</td> <td>処理費</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役		人				表-15-22	特殊作業員		人				表-15-22	普通作業員		人				表-15-22	トラック運転(クレーン装置付)	ベーストラック4t級 吊能力2.9t	時間				表-15-22	諸雑費		式	1			端数処理	計							種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役		人				表-15-23	特殊作業員		人				表-15-23	普通作業員		人				表-15-23	トラック運転(クレーン装置付)	ベーストラック4t級 吊能力2.9t	時間				表-15-23	トラック損料	4~4.5t積	日				表-15-23	諸雑費		式	1			端数処理	小計							トラック損料(注入時)		日				E-15-1	小計							計							種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	排水汚泥土処理	処理設備費	日				E-15-2	排水汚泥土処理	処理費	m³				必要に応じて計上	計						
名称	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																							
土木一般世話役		人				表-15-22																																																																																																																																																							
特殊作業員		人				表-15-22																																																																																																																																																							
普通作業員		人				表-15-22																																																																																																																																																							
トラック運転(クレーン装置付)	ベーストラック4t級 吊能力2.9t	時間				表-15-22																																																																																																																																																							
諸雑費		式	1			端数処理																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																													
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																							
土木一般世話役		人				表-15-23																																																																																																																																																							
特殊作業員		人				表-15-23																																																																																																																																																							
普通作業員		人				表-15-23																																																																																																																																																							
トラック運転(クレーン装置付)	ベーストラック4t級 吊能力2.9t	時間				表-15-23																																																																																																																																																							
トラック損料	4~4.5t積	日				表-15-23																																																																																																																																																							
諸雑費		式	1			端数処理																																																																																																																																																							
小計																																																																																																																																																													
トラック損料(注入時)		日				E-15-1																																																																																																																																																							
小計																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																													
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																							
排水汚泥土処理	処理設備費	日				E-15-2																																																																																																																																																							
排水汚泥土処理	処理費	m³				必要に応じて計上																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																													

工種名	管路施設(開削工法)																																																																																																																																																										
<p>改定</p> <p>D-15-3 注入設備移設工 (地上) 【DGD10570】 (1回当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-22</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-22</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-22</td> </tr> <tr> <td>トラック運転(クレーン装置付)</td> <td>ベーストラック4t級 吊能力2.9t</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-22</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>端数処理</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>D-15-4.1 注入設備据付・解体工 (車上) 【DGD10580】 (1現場当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-23 1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-23 1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-23 1</td> </tr> <tr> <td>トラック運転(クレーン装置付)</td> <td>ベーストラック4~4.5t級 吊能力2.9t</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-23 1</td> </tr> <tr> <td>トラック損料</td> <td>4.4~4.5t積</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-23 1</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>端数処理</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック損料(注入時)</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E-15-1 1</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 上記のトラック損料, トラック損料(注入時)は, 「建設機械等損料算定表」の供用1日当り損料額(11)欄を用いること。</p> <p>D-15-5 排水汚泥土処理工 (1式)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排水汚泥土処理</td> <td>処理設備費</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E-15-2</td> </tr> <tr> <td>排水汚泥土処理</td> <td>処理費</td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役		人				表-15-22	特殊作業員		人				表-15-22	普通作業員		人				表-15-22	トラック運転(クレーン装置付)	ベーストラック4t級 吊能力2.9t	時間				表-15-22	諸雑費		式	1			端数処理	計							種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役		人				表-15-23 1	特殊作業員		人				表-15-23 1	普通作業員		人				表-15-23 1	トラック運転(クレーン装置付)	ベーストラック4~4.5t級 吊能力2.9t	時間				表-15-23 1	トラック損料	4.4~4.5t積	日				表-15-23 1	諸雑費		式	1			端数処理	小計							トラック損料(注入時)		日				E-15-1 1	小計							計							種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	排水汚泥土処理	処理設備費	日				E-15-2	排水汚泥土処理	処理費	m³				必要に応じて計上	計						
名称	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人				表-15-22																																																																																																																																																					
特殊作業員		人				表-15-22																																																																																																																																																					
普通作業員		人				表-15-22																																																																																																																																																					
トラック運転(クレーン装置付)	ベーストラック4t級 吊能力2.9t	時間				表-15-22																																																																																																																																																					
諸雑費		式	1			端数処理																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																											
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人				表-15-23 1																																																																																																																																																					
特殊作業員		人				表-15-23 1																																																																																																																																																					
普通作業員		人				表-15-23 1																																																																																																																																																					
トラック運転(クレーン装置付)	ベーストラック4~4.5t級 吊能力2.9t	時間				表-15-23 1																																																																																																																																																					
トラック損料	4.4~4.5t積	日				表-15-23 1																																																																																																																																																					
諸雑費		式	1			端数処理																																																																																																																																																					
小計																																																																																																																																																											
トラック損料(注入時)		日				E-15-1 1																																																																																																																																																					
小計																																																																																																																																																											
計																																																																																																																																																											
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																					
排水汚泥土処理	処理設備費	日				E-15-2																																																																																																																																																					
排水汚泥土処理	処理費	m³				必要に応じて計上																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																											

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路

頁	改定趣旨	現	行																																																																																																																																												
74	表記の修正	<p>(2) 二重管ダブルパッカー工法1本当り D-15-6 削孔工 【DGD10600】 (1本当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×a 表-15-4</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×a 表-15-4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×a 表-15-4</td> </tr> <tr> <td>グラウト材</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>Q_G式2 備考4</td> </tr> <tr> <td>薬液注入管</td> <td></td> <td>本</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>E-15-3</td> </tr> <tr> <td>ボーリングマシン運転</td> <td>ロータリーバー カッション式 クローラ型 81kW級</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×b 表-15-2</td> </tr> <tr> <td>削孔消耗材料費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>表-15-19 備考5</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>表-15-16</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 N : 1日当り施工本数 2 a : 編成人員 3 b : 施工台数 4 Q_G : グラウト注入の1本当り注入量 (ℓ) 5 削孔消耗材料費は、次式により算出する。 $P = L_1 \times P_1 + L_2 \times P_2 + L_3 \times P_3$ P : 削孔消耗材料費 (円/本) L₁ : 礫質土部分削孔長 (m/本) L₂ : 砂質土部分削孔長 (m/本) L₃ : 粘性土部分削孔長 (m/本) P₁ : 礫質土1m当り削孔消耗材料費 (円/m) P₂ : 砂質土1m当り削孔消耗材料費 (円/m) P₃ : 粘性土1m当り削孔消耗材料費 (円/m)</p> <p>D-15-7 一次注入工 【DGD10610】 (1本当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×a 表-15-4</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×a 表-15-4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×a 表-15-4</td> </tr> <tr> <td>注入材料</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>Q_{P1}式3 備考4</td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ損料</td> <td>吐出量 0~20ℓ/min×2 (9.8MPa)</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×b 表-15-2</td> </tr> <tr> <td>注入消耗材料費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>表-15-20</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>表-15-16</td> </tr> <tr> <td>特許料金</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 N : 1日当り施工本数 2 a : 編成人員 3 b : 施工台数 4 Q_{P1} : 二重管ダブルパッカー工法の一次注入の1本当り注入量 (ℓ)</p>		種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役		人				1/N×a 表-15-4	特殊作業員		人				1/N×a 表-15-4	普通作業員		人				1/N×a 表-15-4	グラウト材		ℓ				Q _G 式2 備考4	薬液注入管		本				E-15-3	ボーリングマシン運転	ロータリーバー カッション式 クローラ型 81kW級	日				1/N×b 表-15-2	削孔消耗材料費		式	1			表-15-19 備考5	諸雑費		式	1			表-15-16	計							種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役		人				1/N×a 表-15-4	特殊作業員		人				1/N×a 表-15-4	普通作業員		人				1/N×a 表-15-4	注入材料		ℓ				Q _{P1} 式3 備考4	薬液注入ポンプ損料	吐出量 0~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	日				1/N×b 表-15-2	注入消耗材料費		式	1			表-15-20	諸雑費		式	1			表-15-16	特許料金		式	1			必要に応じて計上	計						
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																									
土木一般世話役		人				1/N×a 表-15-4																																																																																																																																									
特殊作業員		人				1/N×a 表-15-4																																																																																																																																									
普通作業員		人				1/N×a 表-15-4																																																																																																																																									
グラウト材		ℓ				Q _G 式2 備考4																																																																																																																																									
薬液注入管		本				E-15-3																																																																																																																																									
ボーリングマシン運転	ロータリーバー カッション式 クローラ型 81kW級	日				1/N×b 表-15-2																																																																																																																																									
削孔消耗材料費		式	1			表-15-19 備考5																																																																																																																																									
諸雑費		式	1			表-15-16																																																																																																																																									
計																																																																																																																																															
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																									
土木一般世話役		人				1/N×a 表-15-4																																																																																																																																									
特殊作業員		人				1/N×a 表-15-4																																																																																																																																									
普通作業員		人				1/N×a 表-15-4																																																																																																																																									
注入材料		ℓ				Q _{P1} 式3 備考4																																																																																																																																									
薬液注入ポンプ損料	吐出量 0~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	日				1/N×b 表-15-2																																																																																																																																									
注入消耗材料費		式	1			表-15-20																																																																																																																																									
諸雑費		式	1			表-15-16																																																																																																																																									
特許料金		式	1			必要に応じて計上																																																																																																																																									
計																																																																																																																																															

工種名	管路施設 (開削工法)																																																																																																																																																		
		改		定																																																																																																																																															
		<p>(2) 二重管ダブルパッカー工法1本当り D-15-6 削孔工 【DGD10600】 (1本当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>—</td> <td>人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1/N×a 表-15-4</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>—</td> <td>人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1/N×a 表-15-4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>—</td> <td>人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1/N×a 表-15-4</td> </tr> <tr> <td>グラウト材</td> <td>—</td> <td>ℓ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>Q_G式2 備考4</td> </tr> <tr> <td>薬液注入管</td> <td>—</td> <td>本</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>E-15-3</td> </tr> <tr> <td>ボーリングマシン運転</td> <td>ロータリーバー カッション式 クローラ型 81kW級</td> <td>日</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1/N×b 表-15-2</td> </tr> <tr> <td>削孔消耗材料費</td> <td>—</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>表-15-19 備考5</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td>—</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>表-15-16</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 N : 1日当り施工本数 2 a : 編成人員 3 b : 施工台数 4 Q_G : グラウト注入の1本当り注入量 (ℓ) 5 削孔消耗材料費は、次式により算出する。 $P = L_1 \times P_1 + L_2 \times P_2 + L_3 \times P_3$ P : 削孔消耗材料費 (円/本) L₁ : 礫質土部分削孔長 (m/本) L₂ : 砂質土部分削孔長 (m/本) L₃ : 粘性土部分削孔長 (m/本) P₁ : 礫質土1m当り削孔消耗材料費 (円/m) P₂ : 砂質土1m当り削孔消耗材料費 (円/m) P₃ : 粘性土1m当り削孔消耗材料費 (円/m)</p> <p>D-15-7 一次注入工 【DGD10610】 (1本当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>—</td> <td>人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1/N×a 表-15-4</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>—</td> <td>人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1/N×a 表-15-4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>—</td> <td>人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1/N×a 表-15-4</td> </tr> <tr> <td>注入材料</td> <td>—</td> <td>ℓ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>Q_{P1}式3 備考4</td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ損料</td> <td>吐出量 0~20ℓ/min×2 (9.8MPa)</td> <td>日</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1/N×b 表-15-2</td> </tr> <tr> <td>注入消耗材料費</td> <td>—</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>表-15-20</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td>—</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>表-15-16</td> </tr> <tr> <td>特許料金</td> <td>—</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 N : 1日当り施工本数 2 a : 編成人員 3 b : 施工台数 4 Q_{P1} : 二重管ダブルパッカー工法の一次注入の1本当り注入量 (ℓ)</p>						種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役	—	人	—	—	—	1/N×a 表-15-4	特殊作業員	—	人	—	—	—	1/N×a 表-15-4	普通作業員	—	人	—	—	—	1/N×a 表-15-4	グラウト材	—	ℓ	—	—	—	Q_G式2 備考4	薬液注入管	—	本	—	—	—	E-15-3	ボーリングマシン運転	ロータリーバー カッション式 クローラ型 81kW級	日	—	—	—	1/N×b 表-15-2	削孔消耗材料費	—	式	1	—	—	表-15-19 備考5	諸雑費	—	式	1	—	—	表-15-16	計	—	—	—	—	—	—	種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役	—	人	—	—	—	1/N×a 表-15-4	特殊作業員	—	人	—	—	—	1/N×a 表-15-4	普通作業員	—	人	—	—	—	1/N×a 表-15-4	注入材料	—	ℓ	—	—	—	Q_{P1}式3 備考4	薬液注入ポンプ損料	吐出量 0~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	日	—	—	—	1/N×b 表-15-2	注入消耗材料費	—	式	1	—	—	表-15-20	諸雑費	—	式	1	—	—	表-15-16	特許料金	—	式	1	—	—	必要に応じて計上	計	—	—	—	—	—	—
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																													
土木一般世話役	—	人	—	—	—	1/N×a 表-15-4																																																																																																																																													
特殊作業員	—	人	—	—	—	1/N×a 表-15-4																																																																																																																																													
普通作業員	—	人	—	—	—	1/N×a 表-15-4																																																																																																																																													
グラウト材	—	ℓ	—	—	—	Q_G式2 備考4																																																																																																																																													
薬液注入管	—	本	—	—	—	E-15-3																																																																																																																																													
ボーリングマシン運転	ロータリーバー カッション式 クローラ型 81kW級	日	—	—	—	1/N×b 表-15-2																																																																																																																																													
削孔消耗材料費	—	式	1	—	—	表-15-19 備考5																																																																																																																																													
諸雑費	—	式	1	—	—	表-15-16																																																																																																																																													
計	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																													
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																													
土木一般世話役	—	人	—	—	—	1/N×a 表-15-4																																																																																																																																													
特殊作業員	—	人	—	—	—	1/N×a 表-15-4																																																																																																																																													
普通作業員	—	人	—	—	—	1/N×a 表-15-4																																																																																																																																													
注入材料	—	ℓ	—	—	—	Q_{P1}式3 備考4																																																																																																																																													
薬液注入ポンプ損料	吐出量 0~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	日	—	—	—	1/N×b 表-15-2																																																																																																																																													
注入消耗材料費	—	式	1	—	—	表-15-20																																																																																																																																													
諸雑費	—	式	1	—	—	表-15-16																																																																																																																																													
特許料金	—	式	1	—	—	必要に応じて計上																																																																																																																																													
計	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																													

頁	改定趣旨	現	行																																																																																																																																																																								
75	表記の修正	<p>D-15-8 二次注入工 【DGD10620】 (1本当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×a 表-15-4</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×a 表-15-4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×a 表-15-4</td> </tr> <tr> <td>注入材料</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>Q_{P2} 式4 備考4</td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ損料</td> <td>吐出量 0~20ℓ/min×2 (9.8MPa)</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×b 表-15-2</td> </tr> <tr> <td>ゲルミキサ損料</td> <td>300ℓ×1槽</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×b 表-15-2 備考5</td> </tr> <tr> <td>ミキシングプラント損料</td> <td>3,000ℓ/h</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×b 表-15-2 備考6</td> </tr> <tr> <td>水ガラス積算流量計損料</td> <td>0~50ℓ/min</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×b 表-15-2 備考7</td> </tr> <tr> <td>注入消耗材料費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>表-15-20</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>表-15-16</td> </tr> <tr> <td>特許料金</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 N : 1日当り施工本数 2 a : 編成人員 3 b : 施工台数 4 Q_{P2}: 二重管ダブルパッカー工法の二次注入の1本当り注入量(ℓ) 5 ゲルミキサは、溶液型有機系注入時に計上する。 6 ミキシングプラントは、溶液型無機系注入時に計上する。 7 水ガラス積算流量計損料は、総注入量500ℓ以上の場合に計上する。</p> <p>E-15-1 トラック損料(注入時) 【DGD10630】 (1日当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トラック損料(クレーン装置付)</td> <td>ベーストラック4t級 吊能力2.9t</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック損料</td> <td>4~4.5t積</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 上記のトラック損料(クレーン装置付)、トラック損料は、「建設機械等損料算定表」の供用1日当り損料額(11)欄を用いること。</p> <p>E-15-2 排水汚泥土処理工 【DGD10640】 (1日当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-24</td> </tr> <tr> <td>工事用水中モータポンプ損料</td> <td>φ50mm 2.2kW</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-24</td> </tr> <tr> <td>アルカリ水中和装置損料</td> <td>炭酸ガス式 処理能力6m³/h</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-24</td> </tr> <tr> <td>水槽損料</td> <td>鋼板製簡易水槽5m³</td> <td>供用日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-24</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>表-15-24</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役		人				1/N×a 表-15-4	特殊作業員		人				1/N×a 表-15-4	普通作業員		人				1/N×a 表-15-4	注入材料		ℓ				Q _{P2} 式4 備考4	薬液注入ポンプ損料	吐出量 0~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	日				1/N×b 表-15-2	ゲルミキサ損料	300ℓ×1槽	日				1/N×b 表-15-2 備考5	ミキシングプラント損料	3,000ℓ/h	日				1/N×b 表-15-2 備考6	水ガラス積算流量計損料	0~50ℓ/min	日				1/N×b 表-15-2 備考7	注入消耗材料費		式	1			表-15-20	諸雑費		式	1			表-15-16	特許料金		式	1			必要に応じて計上	計							種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	トラック損料(クレーン装置付)	ベーストラック4t級 吊能力2.9t	日	1				トラック損料	4~4.5t積	日	1				計							名称	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	普通作業員		人				表-15-24	工事用水中モータポンプ損料	φ50mm 2.2kW	日				表-15-24	アルカリ水中和装置損料	炭酸ガス式 処理能力6m ³ /h	時間				表-15-24	水槽損料	鋼板製簡易水槽5m ³	供用日				表-15-24	諸雑費		式	1			表-15-24	計						
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																																					
土木一般世話役		人				1/N×a 表-15-4																																																																																																																																																																					
特殊作業員		人				1/N×a 表-15-4																																																																																																																																																																					
普通作業員		人				1/N×a 表-15-4																																																																																																																																																																					
注入材料		ℓ				Q _{P2} 式4 備考4																																																																																																																																																																					
薬液注入ポンプ損料	吐出量 0~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	日				1/N×b 表-15-2																																																																																																																																																																					
ゲルミキサ損料	300ℓ×1槽	日				1/N×b 表-15-2 備考5																																																																																																																																																																					
ミキシングプラント損料	3,000ℓ/h	日				1/N×b 表-15-2 備考6																																																																																																																																																																					
水ガラス積算流量計損料	0~50ℓ/min	日				1/N×b 表-15-2 備考7																																																																																																																																																																					
注入消耗材料費		式	1			表-15-20																																																																																																																																																																					
諸雑費		式	1			表-15-16																																																																																																																																																																					
特許料金		式	1			必要に応じて計上																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																											
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																																					
トラック損料(クレーン装置付)	ベーストラック4t級 吊能力2.9t	日	1																																																																																																																																																																								
トラック損料	4~4.5t積	日	1																																																																																																																																																																								
計																																																																																																																																																																											
名称	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																																					
普通作業員		人				表-15-24																																																																																																																																																																					
工事用水中モータポンプ損料	φ50mm 2.2kW	日				表-15-24																																																																																																																																																																					
アルカリ水中和装置損料	炭酸ガス式 処理能力6m ³ /h	時間				表-15-24																																																																																																																																																																					
水槽損料	鋼板製簡易水槽5m ³	供用日				表-15-24																																																																																																																																																																					
諸雑費		式	1			表-15-24																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																											

工種名	管路施設(開削工法)																																																																																																																																																																								
<p>D-15-8 二次注入工 【DGD10620】 (1本当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×a 表-15-4</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×a 表-15-4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×a 表-15-4</td> </tr> <tr> <td>注入材料</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>Q_{P2} 式4 備考4</td> </tr> <tr> <td>薬液注入ポンプ損料</td> <td>吐出量 0~20ℓ/min×2 (9.8MPa)</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×b 表-15-2</td> </tr> <tr> <td>ゲルミキサ損料</td> <td>300ℓ×1槽</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×b 表-15-2 備考5</td> </tr> <tr> <td>ミキシングプラント損料</td> <td>3,000ℓ/h</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×b 表-15-2 備考6</td> </tr> <tr> <td>水ガラス積算流量計損料</td> <td>0~50ℓ/min</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1/N×b 表-15-2 備考7</td> </tr> <tr> <td>注入消耗材料費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>表-15-20</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>表-15-16</td> </tr> <tr> <td>特許料金</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 N : 1日当り施工本数 2 a : 編成人員 3 b : 施工台数 4 Q_{P2}: 二重管ダブルパッカー工法の二次注入の1本当り注入量(ℓ) 5 ゲルミキサは、溶液型有機系注入時に計上する。 6 ミキシングプラントは、溶液型無機系注入時に計上する。 7 水ガラス積算流量計損料は、総注入量500ℓ以上の場合に計上する。</p> <p>E-15-1 トラック損料(注入時) 【DGD10630】 (1日当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トラック損料(クレーン装置付)</td> <td>ベーストラック4~ 4.5t級 吊能力2.9t</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック損料</td> <td>4~4.5t積</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 上記のトラック損料(クレーン装置付)、トラック損料は、「建設機械等損料算定表」の供用1日当り損料額(11)欄を用いること。</p> <p>E-15-2 排水汚泥土処理工 【DGD10640】 (1日当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-24</td> </tr> <tr> <td>工事用水中モータポンプ損料</td> <td>φ50mm 2.2kW</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-24</td> </tr> <tr> <td>アルカリ水中和装置損料</td> <td>炭酸ガス式 処理能力6m³/h</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-24</td> </tr> <tr> <td>水槽損料</td> <td>鋼板製簡易水槽5m³</td> <td>供用日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表-15-24</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>表-15-24</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役		人				1/N×a 表-15-4	特殊作業員		人				1/N×a 表-15-4	普通作業員		人				1/N×a 表-15-4	注入材料		ℓ				Q _{P2} 式4 備考4	薬液注入ポンプ損料	吐出量 0~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	日				1/N×b 表-15-2	ゲルミキサ損料	300ℓ×1槽	日				1/N×b 表-15-2 備考5	ミキシングプラント損料	3,000ℓ/h	日				1/N×b 表-15-2 備考6	水ガラス積算流量計損料	0~50ℓ/min	日				1/N×b 表-15-2 備考7	注入消耗材料費		式	1			表-15-20	諸雑費		式	1			表-15-16	特許料金		式	1			必要に応じて計上	計							種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	トラック損料(クレーン装置付)	ベーストラック4~ 4.5t級 吊能力2.9t	日	1				トラック損料	4~4.5t積	日	1				計							名称	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	普通作業員		人				表-15-24	工事用水中モータポンプ損料	φ50mm 2.2kW	日				表-15-24	アルカリ水中和装置損料	炭酸ガス式 処理能力6m ³ /h	時間				表-15-24	水槽損料	鋼板製簡易水槽5m ³	供用日				表-15-24	諸雑費		式	1			表-15-24	計						
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																																			
土木一般世話役		人				1/N×a 表-15-4																																																																																																																																																																			
特殊作業員		人				1/N×a 表-15-4																																																																																																																																																																			
普通作業員		人				1/N×a 表-15-4																																																																																																																																																																			
注入材料		ℓ				Q _{P2} 式4 備考4																																																																																																																																																																			
薬液注入ポンプ損料	吐出量 0~20ℓ/min×2 (9.8MPa)	日				1/N×b 表-15-2																																																																																																																																																																			
ゲルミキサ損料	300ℓ×1槽	日				1/N×b 表-15-2 備考5																																																																																																																																																																			
ミキシングプラント損料	3,000ℓ/h	日				1/N×b 表-15-2 備考6																																																																																																																																																																			
水ガラス積算流量計損料	0~50ℓ/min	日				1/N×b 表-15-2 備考7																																																																																																																																																																			
注入消耗材料費		式	1			表-15-20																																																																																																																																																																			
諸雑費		式	1			表-15-16																																																																																																																																																																			
特許料金		式	1			必要に応じて計上																																																																																																																																																																			
計																																																																																																																																																																									
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																																			
トラック損料(クレーン装置付)	ベーストラック4~ 4.5t級 吊能力2.9t	日	1																																																																																																																																																																						
トラック損料	4~4.5t積	日	1																																																																																																																																																																						
計																																																																																																																																																																									
名称	規格	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																																			
普通作業員		人				表-15-24																																																																																																																																																																			
工事用水中モータポンプ損料	φ50mm 2.2kW	日				表-15-24																																																																																																																																																																			
アルカリ水中和装置損料	炭酸ガス式 処理能力6m ³ /h	時間				表-15-24																																																																																																																																																																			
水槽損料	鋼板製簡易水槽5m ³	供用日				表-15-24																																																																																																																																																																			
諸雑費		式	1			表-15-24																																																																																																																																																																			
計																																																																																																																																																																									

76	改定趣旨 表記の修正	現 行						
		E-15-3 薬液注入管 【DGD10650】 (1本当り)						
		種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
		注 入 外 管		m				注入長 L-φ ₂
		塩 ビ パ イ プ	VP40mm	m				土被り長 φ ₂
		ア ダ プ タ ー		箇所	1			
		先 端 キ ャ ッ プ		箇所	1			
		諸 雑 費		式	1			
		計						
		備考 諸雑費は、接着剤等の費用で材料費の合計額に3%の率を乗じた金額を上限として計上する。						
		16. 機械運転単価表						
		機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項			
		ト ラ ッ ク (ク レ ーン 装 置 付)	ペーストラック4t級 吊能力2.9t	機-1				
		ボ ー リ ン ダ マ シ ン	ロータリーパーカッション式 クローラ型 81kW級	機-12	燃料消費量→78ℓ/日			

工 種 名	管路施設 (開削工法)																																																								
改 定																																																									
E-15-3 薬液注入管 【DGD10650】 (1本当り)																																																									
<table border="1"> <tr> <td>種 目</td> <td>形 状 寸 法</td> <td>単 位</td> <td>数 量</td> <td>単 価 (円)</td> <td>金 額 (円)</td> <td>摘 要</td> </tr> <tr> <td>注 入 外 管</td> <td>—</td> <td>≡</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>注入長 L-φ₂</td> </tr> <tr> <td>塩 ビ パ イ プ</td> <td>VP40mm</td> <td>≡</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>土被り長 φ₂</td> </tr> <tr> <td>ア ダ プ タ ー</td> <td>—</td> <td>箇所</td> <td>±</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>先 端 キ ャ ッ プ</td> <td>—</td> <td>箇所</td> <td>±</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>—</td> <td>式</td> <td>±</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>									種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	注 入 外 管	—	≡	—	—	—	注入長 L-φ₂	塩 ビ パ イ プ	VP40mm	≡	—	—	—	土被り長 φ₂	ア ダ プ タ ー	—	箇所	±	—	—	—	先 端 キ ャ ッ プ	—	箇所	±	—	—	—	諸 雑 費	—	式	±	—	—	—	計	—	—	—	—	—	—
種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																																																			
注 入 外 管	—	≡	—	—	—	注入長 L-φ₂																																																			
塩 ビ パ イ プ	VP40mm	≡	—	—	—	土被り長 φ₂																																																			
ア ダ プ タ ー	—	箇所	±	—	—	—																																																			
先 端 キ ャ ッ プ	—	箇所	±	—	—	—																																																			
諸 雑 費	—	式	±	—	—	—																																																			
計	—	—	—	—	—	—																																																			
備考 諸雑費は、接着剤等の費用で材料費の合計額に3%の率を乗じた金額を上限として計上する。																																																									
16. 機械運転単価表																																																									
<table border="1"> <tr> <td>機 械 名</td> <td>規 格</td> <td>適 用 単 価 表</td> <td colspan="6">指 定 事 項</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク (ク レ ーン 装 置 付)</td> <td>ペーストラック4t~4.5t級 吊能力2.9t</td> <td>機-1</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>ボ ー リ ン ダ マ シ ン</td> <td>ロータリーパーカッション式 クローラ型 81kW級</td> <td>機-12</td> <td colspan="6">燃料消費量→78ℓ/日</td> </tr> </table>									機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項						ト ラ ッ ク (ク レ ーン 装 置 付)	ペーストラック4t~4.5t級 吊能力2.9t	機-1							ボ ー リ ン ダ マ シ ン	ロータリーパーカッション式 クローラ型 81kW級	機-12	燃料消費量→78ℓ/日																											
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																						
ト ラ ッ ク (ク レ ーン 装 置 付)	ペーストラック4t~4.5t級 吊能力2.9t	機-1																																																							
ボ ー リ ン ダ マ シ ン	ロータリーパーカッション式 クローラ型 81kW級	機-12	燃料消費量→78ℓ/日																																																						

頁	改定趣旨	現 行							
		種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
94	表記の修正	B-12 取付管布設工 (一式)							
		取 付 管	材質・管径	m	m or 箇所				C-24
		取 付 管	推進	m	m or 箇所				(下位代価なし)
		計							

改 定							
種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
B-12 取付管布設工 (一式)							
取 付 管	材質・管径	m	m or 箇所				C-24
取 付 管	推進	m	m				(下位代価なし)
計							

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路

頁		改定趣旨		現 行		工 種 名		管路施設 (推進工法)	
								改 定	
175	表記の修正	目次				目次			
		III 本工事費内訳	177			III 本工事費内訳	177		
		A-6 管きよ工○○mm, ○○推進工法	A-6-1			A-6 管きよ工○○mm, ○○推進工法	A-6-1		
		B-35 刃口推進工	A-6-1			B-35 刃口推進工	A-6-1		
		C-70 推進用鉄筋コンクリート管 (刃口)	A-6-1			C-70 推進用鉄筋コンクリート管 (刃口)	A-6-1		
		D-70-1 管内掘削工	A-6-10			D-70-1 管内掘削工	A-6-10		
		D-70-2 坑内作業工	A-6-10			D-70-2 坑内作業工	A-6-10		
		D-70-3 坑外作業工	A-6-10			D-70-3 坑外作業工	A-6-10		
		C-71 裏込め	A-6-11			C-71 裏込め	A-6-11		
		D-71-1 裏込注入工 (刃口推進)	A-6-12			D-71-1 裏込注入工 (刃口推進)	A-6-12		
		D-71-2 裏込注入工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-12			D-71-2 裏込注入工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-12		
		C-72 管目地	A-6-13			C-110 管目地	A-6-13		
		D-72-1 目地モルタル工	A-6-13			D-72-1 目地モルタル工	A-6-13		
		B-36 泥水推進工	A-6-14			B-36 泥水推進工	A-6-14		
		C-73 推進用鉄筋コンクリート管 (泥水)	A-6-14			C-73 推進用鉄筋コンクリート管 (泥水)	A-6-14		
		D-73-1 切羽坑内作業工	A-6-29			D-73-1 切羽坑内作業工	A-6-29		
		D-73-2 坑外作業工	A-6-29			D-73-2 坑外作業工	A-6-29		
		D-73-3 機械器具損料及び電力料	A-6-29			D-73-3 機械器具損料及び電力料	A-6-29		
		B-38 仮設備工 (刃口)	A-6-29			B-38 仮設備工 (刃口)	A-6-30		
		C-57 支圧壁	A-6-30			C-57 支圧壁	A-6-30		
		D-57-2 支圧壁工 (○○工法)	A-6-30			D-57-2 支圧壁工 (○○工法)	A-6-30		
		C-75 クレーン設備組立撤去	A-6-30			C-75 クレーン設備組立撤去	A-6-30		
		D-75-1 クレーン設備工 (刃口推進)	A-6-31			D-75-1 クレーン設備工 (刃口推進)	A-6-32		
		D-75-2 クレーン設備工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-31			D-75-2 クレーン設備工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-32		
		C-54 立坑基礎	A-6-31			C-54 立坑基礎	A-6-32		
		C-76 坑口	A-6-32			C-76 坑口	A-6-33		
		D-76-1 坑口工 (刃口推進)	A-6-33			D-76-1 坑口工 (刃口推進)	A-6-34		
		D-76-2 坑口工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-33			D-76-2 坑口工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-34		
		E-76-1 発進坑口工	A-6-34			E-76-1 発進坑口工	A-6-35		
		E-76-2 到達坑口工	A-6-34			E-76-2 到達坑口工	A-6-35		
		C-55 鏡切り	A-6-35			C-55 鏡切り	A-6-36		
		D-55-2 鏡切り工 (○○○推進)	A-6-36			D-55-1, 6 鏡切り工 (○○○推進)	A-6-37		
		E-55-1 鏡切り工	A-6-36			E-55-1 鏡切り工	A-6-37		
		C-77 刃口及び推進設備	A-6-37			C-77 刃口及び推進設備	A-6-38		
		D-77-1 推進設備工 (刃口推進)	A-6-38			D-77-1 推進設備工 (刃口推進)	A-6-39		
		D-77-2 刃口撤去工	A-6-38			D-77-2 刃口撤去工	A-6-39		
		C-78 中押し装置	A-6-38			C-78 中押し装置	A-6-39		
		D-78-1 中押し装置設備工	A-6-39			D-78-1 中押し装置設備工	A-6-40		
		C-79 殻搬出	A-6-39			C-79 殻搬出	A-6-40		
		D-79-1 坑外コンクリート塊搬出工	A-6-40			D-79-1 坑外コンクリート塊搬出工	A-6-41		
		E-79-1 門型クレーン運転費	A-6-40			E-79-1 門型クレーン運転費	A-6-41		
		B-39 仮設備工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-41			B-39 仮設備工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-42		
		C-80 推進用機器据付撤去	A-6-41			C-80 推進用機器据付撤去	A-6-42		
		D-80-1 推進用機器据付撤去工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-42			D-80-1 推進用機器据付撤去工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-43		
		C-81 掘進機引上用受台	A-6-42			C-81 掘進機引上用受台	A-6-43		
		D-81-1 掘進機引上用受台設置工	A-6-43			D-81-1 掘進機引上用受台設置工	A-6-44		
		D-81-2 掘進機引上用受台撤去工	A-6-43			D-81-2 掘進機引上用受台撤去工	A-6-44		
		C-82 掘進機据付	A-6-43			C-82 掘進機据付	A-6-44		
		D-82-1 掘進機据付工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-44			D-82-1 掘進機据付工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-45		
		C-83 掘進機回転据付	A-6-45			C-83 掘進機回転据付	A-6-46		
		D-83-1 掘進機回転据付工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-46			D-83-1 掘進機回転据付工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-47		
		C-84 掘進機搬出	A-6-47			C-84 掘進機搬出	A-6-48		
		D-84-1 掘進機搬出工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-48			D-84-1 掘進機搬出工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-49		
		B-40 通信・換気設備工	A-6-49			B-40 通信・換気設備工	A-6-50		
		C-85 通信配線設備 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-49			C-85 通信配線設備 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-50		
		D-85-1 通信配線設備工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-49			D-85-1 通信配線設備工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-50		
		C-86 換気設備 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-50			C-86 換気設備 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-51		
		D-86-1 換気設備工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-51			D-86-1 換気設備工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-52		
		B-41 注入設備工	A-6-52			B-41 注入設備工	A-6-53		
		C-88 注入設備	A-6-52			C-88 注入設備	A-6-53		
		D-88-1 注入設備工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-52			D-88-1 注入設備工 (泥水式・泥濃式推進)	A-6-53		

B-37	泥濃推進工	A-6-53
C-74	推進用鉄筋コンクリート管（泥濃）	A-6-53
D-74-1	切羽作業工	A-6-64
D-74-2	坑内作業工	A-6-64
D-74-3	坑外作業工	A-6-64
D-74-4	機械器具損料及び電力料	A-6-64
E-74-1	高濃度泥水	A-6-65

B-37	泥濃推進工	A-6-54
C-74	推進用鉄筋コンクリート管（泥濃）	A-6-54
D-74-1	切羽作業工	A-6-65
D-74-2	坑内作業工	A-6-65
D-74-3	坑外作業工	A-6-65
D-74-4	機械器具損料及び電力料	A-6-65
E-74-1	高濃度泥水	A-6-66

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路

頁	改定趣旨	現	行
177	本工事費内訳の改定	管きょ工(中大口径推進, 管径○○mm, ○○工法)	A-6
		仮設備工(刃口)	B-38
		支圧壁	式 or 箇所 C-57
		クレーン設備組立撤去	式 or 箇所 C-75
		立坑基礎	式 or 箇所 C-54
		坑口	式 or 箇所 C-76
		鏡切り	式 or 箇所 C-55
		刃口及び推進設備	式 or 箇所 C-77
		中押し装置	式 or 箇所 C-78
		般搬出	式 or m3 C-79
		般運搬	式 or m3 *
		般処分	式 or m3 *
		(中略)	
		仮設備工(泥水式・泥濃式推進)	B-39
		支圧壁	式 or 箇所 C-57
		クレーン設備組立撤去	式 or 箇所 C-75
		坑口	式 or 箇所 C-76
		鏡切り	式 or 箇所 C-55
		推進用機器据付撤去	式 or 箇所 C-80
		掘進機発進用受台	式 or 箇所
掘進機引上用受台	式 or 箇所 C-81		
掘進機据付	式 or 台 C-82		
掘進機回転据付	式 or 台 C-83		
掘進機搬出	式 or 台 C-84		
立坑基礎	式 or 箇所 C-54		
中押し装置	式 or 箇所 C-78		
般搬出	式 or m3 C-79		
般運搬	式 or m3 *		
般処分	式 or m3 *		

工種名	管路施設 (中大口径推進)	改	定
		管きょ工(中大口径推進, 管径○○mm, ○○工法)	A-6
		仮設備工(刃口)	B-38
		支圧壁	式 or 箇所 C-57
		クレーン設備組立撤去	式 or 箇所 C-75
		立坑基礎	式 or 箇所 C-54
		坑口	式 or 箇所 C-76
		鏡切り	式 or 箇所 C-55
		刃口及び推進設備	式 or 箇所 C-77
		中押し装置	式 or 箇所 C-78
		般搬出	式 or m3 C-79
		般運搬	式 or m3 *
		般処分	式 or m3 *
		(中略)	
		仮設備工(泥水式・泥濃式推進)	B-39
		支圧壁	式 or 箇所 C-57
		クレーン設備組立撤去	式 or 箇所 C-75
		坑口	式 or 箇所 C-76
		鏡切り	式 or 箇所 C-55
		推進用機器据付撤去	式 or 箇所 C-80
		掘進機発進用受台	式 or 箇所
掘進機引上用受台	式 or 箇所 C-81		
掘進機据付	式 or 台 C-82		
掘進機回転据付	式 or 台 C-83		
掘進機搬出	式 or 台 C-84		
立坑基礎	式 or 箇所 C-54		
中押し装置	式 or 箇所 C-78		
般搬出	式 or m3 C-79		
般運搬	式 or m3 *		
般処分	式 or m3 *		

頁	改定趣旨	現 行																																																
179	表記の修正	<p>B-35 刃口推進工 (一式)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>総括表 単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価 (円)</th> <th>金 額 (円)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推進用鉄筋コンクリート管 (刃 口)</td> <td></td> <td>m</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-70</td> </tr> <tr> <td>発 生 土 処 理</td> <td></td> <td>m³</td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>C-3 (開削代価)</td> </tr> <tr> <td>裏 込 め</td> <td></td> <td>m</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-71</td> </tr> <tr> <td>管 目 地</td> <td></td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-72</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	推進用鉄筋コンクリート管 (刃 口)		m	m				C-70	発 生 土 処 理		m ³	式	1			C-3 (開削代価)	裏 込 め		m	m				C-71	管 目 地		箇所	箇所				C-72	計							
種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																																											
推進用鉄筋コンクリート管 (刃 口)		m	m				C-70																																											
発 生 土 処 理		m ³	式	1			C-3 (開削代価)																																											
裏 込 め		m	m				C-71																																											
管 目 地		箇所	箇所				C-72																																											
計																																																		
189	表記の修正	<p>2. 作業歩掛</p> <p style="text-align: center;">表-71-5 8時間当り裏込日進量 (泥水式推進, 泥濃式推進工法) (m/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び径 (mm)</th> <th>800</th> <th>900</th> <th>1,000</th> <th>1,100</th> <th>1,200</th> <th>1,350</th> <th>1,500</th> <th>1,650</th> <th>1,800</th> <th>2,000</th> <th>2,200</th> <th>2,400</th> <th>2,600</th> <th>2,800</th> <th>3,000</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>注入延長</td> <td>41.0</td> <td>39.0</td> <td>36.0</td> <td>36.0</td> <td>34.0</td> <td>34.0</td> <td>34.0</td> <td>32.0</td> <td>32.0</td> <td>29.0</td> <td>29.0</td> <td>27.0</td> <td>24.0</td> <td>24.0</td> <td>24.0</td> </tr> </tbody> </table>	呼び径 (mm)	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	3,000	注入延長	41.0	39.0	36.0	36.0	34.0	34.0	34.0	32.0	32.0	29.0	29.0	27.0	24.0	24.0	24.0																
呼び径 (mm)	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	3,000																																			
注入延長	41.0	39.0	36.0	36.0	34.0	34.0	34.0	32.0	32.0	29.0	29.0	27.0	24.0	24.0	24.0																																			
192	表記の修正	<p>B-36 泥水推進工 (一式)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>総括表 単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価 (円)</th> <th>金 額 (円)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推進用鉄筋コンクリート管 (泥 水)</td> <td></td> <td>m</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-73</td> </tr> <tr> <td>発 生 土 処 理</td> <td></td> <td>m³</td> <td>式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-3 (開削代価)</td> </tr> <tr> <td>裏 込 め</td> <td></td> <td>m</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-71</td> </tr> <tr> <td>管 目 地</td> <td></td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-72</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	推進用鉄筋コンクリート管 (泥 水)		m	m				C-73	発 生 土 処 理		m ³	式				C-3 (開削代価)	裏 込 め		m	m				C-71	管 目 地		箇所	箇所				C-72	計							
種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																																											
推進用鉄筋コンクリート管 (泥 水)		m	m				C-73																																											
発 生 土 処 理		m ³	式				C-3 (開削代価)																																											
裏 込 め		m	m				C-71																																											
管 目 地		箇所	箇所				C-72																																											
計																																																		

工 種 名	管路施設 (中大口径推進)																																																
改 定																																																	
<p>B-35 刃口推進工 (一式)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>総括表 単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価 (円)</th> <th>金 額 (円)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推進用鉄筋コンクリート管 (刃 口)</td> <td></td> <td>m</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-70</td> </tr> <tr> <td>発 生 土 処 理</td> <td></td> <td>m³</td> <td>式 or m</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>C-3 (開削代価)</td> </tr> <tr> <td>裏 込 め</td> <td></td> <td>m</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-71</td> </tr> <tr> <td>管 目 地</td> <td></td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-72</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	推進用鉄筋コンクリート管 (刃 口)		m	m				C-70	発 生 土 処 理		m ³	式 or m	1			C-3 (開削代価)	裏 込 め		m	m				C-71	管 目 地		箇所	箇所				C-72	計							
種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																																										
推進用鉄筋コンクリート管 (刃 口)		m	m				C-70																																										
発 生 土 処 理		m ³	式 or m	1			C-3 (開削代価)																																										
裏 込 め		m	m				C-71																																										
管 目 地		箇所	箇所				C-72																																										
計																																																	
<p>2. 作業歩掛</p> <p style="text-align: center;">表-71-5 8時間当り裏込日進量 (泥水式推進, 泥濃式推進工法) (m/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び径 (mm)</th> <th>800</th> <th>900</th> <th>1,000</th> <th>1,100</th> <th>1,200</th> <th>1,350</th> <th>1,500</th> <th>1,650</th> <th>1,800</th> <th>2,000</th> <th>2,200</th> <th>2,400</th> <th>2,600</th> <th>2,800</th> <th>3,000</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>注入延長</td> <td>41.0</td> <td>39.0</td> <td>36.0</td> <td>36.0</td> <td>34.0</td> <td>34.0</td> <td>34.0</td> <td>32.0</td> <td>32.0</td> <td>29.0</td> <td>29.0</td> <td>27.0</td> <td>24.0</td> <td>24.0</td> <td>24.0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="color: red; font-size: small;">備考 長距離推進等、標準的な条件以外の場合は、別途考慮する。</p>		呼び径 (mm)	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	3,000	注入延長	41.0	39.0	36.0	36.0	34.0	34.0	34.0	32.0	32.0	29.0	29.0	27.0	24.0	24.0	24.0																
呼び径 (mm)	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	3,000																																		
注入延長	41.0	39.0	36.0	36.0	34.0	34.0	34.0	32.0	32.0	29.0	29.0	27.0	24.0	24.0	24.0																																		
<p>B-36 泥水推進工 (一式)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>総括表 単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価 (円)</th> <th>金 額 (円)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推進用鉄筋コンクリート管 (泥 水)</td> <td></td> <td>m</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-73</td> </tr> <tr> <td>発 生 土 処 理</td> <td></td> <td>m³</td> <td>式 or m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-3 (開削代価)</td> </tr> <tr> <td>裏 込 め</td> <td></td> <td>m</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-71</td> </tr> <tr> <td>管 目 地</td> <td></td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-72</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	推進用鉄筋コンクリート管 (泥 水)		m	m				C-73	発 生 土 処 理		m ³	式 or m				C-3 (開削代価)	裏 込 め		m	m				C-71	管 目 地		箇所	箇所				C-72	計							
種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																																										
推進用鉄筋コンクリート管 (泥 水)		m	m				C-73																																										
発 生 土 処 理		m ³	式 or m				C-3 (開削代価)																																										
裏 込 め		m	m				C-71																																										
管 目 地		箇所	箇所				C-72																																										
計																																																	

頁	改定趣旨	現 行																																																																	
195	表記の修正	<p>7. 作業歩掛</p> <p>(1) 切羽坑内作業工</p> <p style="text-align: center;">表-73-7 1m当り滑材注入量 (ℓ/m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び径(mm) 土質区分</th> <th>800</th><th>900</th><th>1,000</th><th>1,100</th><th>1,200</th><th>1,350</th><th>1,500</th><th>1,650</th><th>1,800</th><th>2,000</th><th>2,200</th><th>2,400</th><th>2,600</th><th>2,800</th><th>3,000</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂質土・粘性土</td> <td>62.0</td><td>69.0</td><td>77.0</td><td>83.0</td><td>91.0</td><td>101.0</td><td>114.0</td><td>124.0</td><td>134.0</td><td>149.0</td><td>164.0</td><td>179.0</td><td>193.0</td><td>207.0</td><td>222.0</td> </tr> <tr> <td>砂礫土</td> <td>93.0</td><td>104.0</td><td>116.0</td><td>125.0</td><td>137.0</td><td>152.0</td><td>171.0</td><td>186.0</td><td>201.0</td><td>224.0</td><td>246.0</td><td>269.0</td><td>290.0</td><td>311.0</td><td>333.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 坑外作業工</p> <p style="text-align: center;">表-73-8 坑外作業工歩掛表 (1日当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 目 呼び径 (mm)</th> <th colspan="2">クレーン運転</th> <th rowspan="2">特殊作業員 (人)</th> <th rowspan="2">普通作業員 (人)</th> </tr> <tr> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>運転手 (特殊) (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>800~1,100</td> <td>1.0</td> <td>—</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>1,200~3,000</td> <td>—</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 特殊作業員……泥水作成管理、処理装置の運転操作、玉掛け、クレーン作業等 普通作業員……玉掛け手伝い、泥水処理手伝い</p>	呼び径(mm) 土質区分	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	3,000	砂質土・粘性土	62.0	69.0	77.0	83.0	91.0	101.0	114.0	124.0	134.0	149.0	164.0	179.0	193.0	207.0	222.0	砂礫土	93.0	104.0	116.0	125.0	137.0	152.0	171.0	186.0	201.0	224.0	246.0	269.0	290.0	311.0	333.0	種 目 呼び径 (mm)	クレーン運転		特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	特殊作業員 (人)	運転手 (特殊) (人)	800~1,100	1.0	—	1.0	1.0	1,200~3,000	—	1.0	1.0	1.0
呼び径(mm) 土質区分	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	3,000																																																				
砂質土・粘性土	62.0	69.0	77.0	83.0	91.0	101.0	114.0	124.0	134.0	149.0	164.0	179.0	193.0	207.0	222.0																																																				
砂礫土	93.0	104.0	116.0	125.0	137.0	152.0	171.0	186.0	201.0	224.0	246.0	269.0	290.0	311.0	333.0																																																				
種 目 呼び径 (mm)	クレーン運転		特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)																																																															
	特殊作業員 (人)	運転手 (特殊) (人)																																																																	
800~1,100	1.0	—	1.0	1.0																																																															
1,200~3,000	—	1.0	1.0	1.0																																																															

工種名	管路施設 (推進工法)																																																																	
	改 定																																																																	
7. 作業歩掛	<p>(1) 切羽坑内作業工</p> <p style="text-align: center;">表-73-7 1m当り滑材注入量 (ℓ/m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び径(mm) 土質区分</th> <th>800</th><th>900</th><th>1,000</th><th>1,100</th><th>1,200</th><th>1,350</th><th>1,500</th><th>1,650</th><th>1,800</th><th>2,000</th><th>2,200</th><th>2,400</th><th>2,600</th><th>2,800</th><th>3,000</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂質土・粘性土</td> <td>62.0</td><td>69.0</td><td>77.0</td><td>83.0</td><td>91.0</td><td>101.0</td><td>114.0</td><td>124.0</td><td>134.0</td><td>149.0</td><td>164.0</td><td>179.0</td><td>193.0</td><td>207.0</td><td>222.0</td> </tr> <tr> <td>砂礫土</td> <td>93.0</td><td>104.0</td><td>116.0</td><td>125.0</td><td>137.0</td><td>152.0</td><td>171.0</td><td>186.0</td><td>201.0</td><td>224.0</td><td>246.0</td><td>269.0</td><td>290.0</td><td>311.0</td><td>333.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 長距離推進等、標準的な条件以外の場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) 坑外作業工</p> <p style="text-align: center;">表-73-8 坑外作業工歩掛表 (1日当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 目 呼び径 (mm)</th> <th colspan="2">クレーン運転</th> <th rowspan="2">特殊作業員 (人)</th> <th rowspan="2">普通作業員 (人)</th> </tr> <tr> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>運転手 (特殊) (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>800~1,100</td> <td>1.0</td> <td>—</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>1,200~3,000</td> <td>—</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 特殊作業員……泥水作成管理、処理装置の運転操作、玉掛け、クレーン作業等 普通作業員……玉掛け手伝い、泥水処理手伝い ラフテレーンクレーンを採用する場合、賃料に運転手が含まれているため、クレーン運転を計上しない。</p>	呼び径(mm) 土質区分	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	3,000	砂質土・粘性土	62.0	69.0	77.0	83.0	91.0	101.0	114.0	124.0	134.0	149.0	164.0	179.0	193.0	207.0	222.0	砂礫土	93.0	104.0	116.0	125.0	137.0	152.0	171.0	186.0	201.0	224.0	246.0	269.0	290.0	311.0	333.0	種 目 呼び径 (mm)	クレーン運転		特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	特殊作業員 (人)	運転手 (特殊) (人)	800~1,100	1.0	—	1.0	1.0	1,200~3,000	—	1.0	1.0	1.0
呼び径(mm) 土質区分	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	3,000																																																			
砂質土・粘性土	62.0	69.0	77.0	83.0	91.0	101.0	114.0	124.0	134.0	149.0	164.0	179.0	193.0	207.0	222.0																																																			
砂礫土	93.0	104.0	116.0	125.0	137.0	152.0	171.0	186.0	201.0	224.0	246.0	269.0	290.0	311.0	333.0																																																			
種 目 呼び径 (mm)	クレーン運転		特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)																																																														
	特殊作業員 (人)	運転手 (特殊) (人)																																																																
800~1,100	1.0	—	1.0	1.0																																																														
1,200~3,000	—	1.0	1.0	1.0																																																														

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路

頁	改定趣旨	現 行															
		(3) 機械器具損料及び電力料 (元押し)															
196		表記の修正															
		表-73-9 機械器具損料及び電力算定表 (その1) (泥水式元押し)															
		必要台数	運転日数	供用日数	時1日当り運転間転	損料額単価	機 械 器 具 損 料				電 力 料						
		記号	a	b	c	d	f	g	h	i	j	k	l	m	n	p	q
		算出方法	算	別算	別算					$a \times b \times d \times f$	$a \times b \times g$	$a \times c \times h$	$i + j + k + l$		$a \times b \times d \times n$	$p \times \text{電力料 (円/kWh)}$	
		機械名・規格	台	日	日	時間	円	円	円	円	円	円	円	円	kWh	kW	円
		掘進機	1				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		姿勢検出装置	1				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		電動ホイスト (巻上, 横行モーター含む)	1				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		門型クレーン(走行モーター含)	1				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		多段ジャッキ (元押し)	1				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		グラウトポンプ(滑材)	1				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		グラウトミキサ(滑材)	1				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		グラウトポンプ(裏込)	1				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		グラウトミキサ(裏込)	1				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		合 計															

備考 掘進機損料=1現場当り修理費+供用日当り損料×供用日数^(注)
 供用日数=Σ(各スパンの供用日数+段取り替え日数×α)(α:供用日の割増率)
 1) 各スパンの供用日数=(掘進機据付日数+推進延長/日進量+掘進機撤去日数)×α(α:供用日の割増率)
 掘進機据付日数=2.0日
 掘進機撤去日数=1.0日
 2) 発進立坑で同一の掘進機を両発進する場合は、推進設備の段取り替えに要する実日数を計上する。
 (注) 供用日数が30日未満の場合は別途考慮する。
 3) 姿勢検出装置は、曲線推進または1スパンの推進延長150mを越える場合など、必要に応じて計上する。

工種名	改 定																	
	(3) 機械器具損料及び電力料 (元押し)																	
		表-73-9 機械器具損料及び電力算定表 (その1) (泥水式元押し)																
		必要台数	運転日数	供用日数	時1日当り運転間転	損料額単価	機 械 器 具 損 料				電 力 料							
		記号	a	b	c	d	f	g	h	i	j	k	l	m	n	p	q	
		算出方法	別算	別算	別算					$a \times b \times d \times f$	$a \times b \times g$	$a \times c \times h$	$i + j + k + l$		$a \times b \times d \times n$	$p \times \text{電力料 (円/kWh)}$		
		機械名・規格	台	日	日	時間	円	円	円	円	円	円	円	円	kWh	kW	円	
		掘進機	1				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		姿勢検出装置	1				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		電動ホイスト (巻上, 横行モーター含む)	1				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		門型クレーン(走行モーター含)	1				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		多段ジャッキ (元押し)	1				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		グラウトポンプ(滑材)	1				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		グラウトミキサ(滑材)	1				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		グラウトポンプ(裏込)	1				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		グラウトミキサ(裏込)	1				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		合 計																

備考 掘進機損料=1現場当り修理費+供用日当り損料×供用日数^(注)
 供用日数=Σ(各スパンの供用日数+段取り替え日数×α)(α:供用日の割増率)
 1) 各スパンの供用日数=(掘進機据付日数+推進延長/日進量+掘進機撤去日数)×α(α:供用日の割増率)
 掘進機据付日数=2.0日
 掘進機撤去日数=1.0日
 2) 発進立坑で同一の掘進機を両発進する場合は、推進設備の段取り替えに要する実日数を計上する。
 (注) 供用日数が30日未満の場合は別途考慮する。
 3) 姿勢検出装置は、曲線推進または1スパンの推進延長150mを越える場合など、必要に応じて計上する。
 4) ラフテレンクレーンを使用する場合は、門型クレーンと電動ホイストを計上しない。

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路

197	改定趣旨 表記の修正	現 行														
		表-73-11 推進標準機械設備設置台数 (元押し) (立坑設備及び滑材、裏込)														
		機 械 名			規 格			台 数								
		電 動 ホ イ ス ト (巻上げ、横行モーターを含む。)			適用径 (mm) 仕 様 出力 (kW)			1								
		1,200~1,500			2.8 t 4.6			1								
		1,650~2,200			5 t 6.8			1								
		2,400~2,800			10 t 13.0			1								
		3,000			15 t 24.6			1								
		21.8			20 t 21.8			1								
		門 型 ク レ ー ン (走行モーター含む。)			適用径 (mm) 出力 (kW)			1								
		800~1,100			1.5			1								
		1,200~1,500			3.0			1								
		1,650~3,000			4.4			1								
		グ ラ ウ ト ポ ン プ 横 型 2 連 複 動 式			適用径 (mm) 仕 様 出力 (kW)			1								
		800~1,650			37~100#/min 8			1								
		1,800~3,000			200#/min 11			1								
		グ ラ ウ ト ミ キ サ 並列2槽式 並列2槽式			適用径 (mm) 仕 様 出力 (kW)			1								
		800~1,650			200#×2 2			1								
		1,800~3,000			400#×2 11			1								
		※ テルハ型クレーンを使用する場合は走行モーターは計上しない。														
規格表の追加		表-73-12 標準機械設備1日(8時間)当り稼働時間 (元押し) (砂質土・粘性土)														
		表-73-12 標準機械設備1日(8時間)当り稼働時間 (元押し) (砂質土・粘性土)														
		表-73-13 標準機械設備1日(8時間)当り稼働時間 (元押し) (砂礫土)														
		表-73-13 標準機械設備1日(8時間)当り稼働時間 (元押し) (砂礫土)														
表記の修正		表-73-14 標準機械設備1日(8時間)当り稼働時間 (元押し) (砂礫土)														
		表-73-14 標準機械設備1日(8時間)当り稼働時間 (元押し) (砂礫土)														

工 種 名		管路施設 (推進工法)														
		改 定														
		表-73-11 推進標準機械設備設置台数 (元押し) (立坑設備及び滑材、裏込)														
		機 械 名			規 格			台 数								
		電 動 ホ イ ス ト (巻上げ、横行モーターを含む。)			適用径 (mm) 仕 様 出力 (kW)			1								
		1,200~1,500			2.8 t 4.6			1								
		1,650~2,200			5 t 6.8			1								
		2,400~2,800			10 t 13.0			1								
		3,000			15 t 24.6			1								
		21.8			20 t 21.8			1								
		門 型 ク レ ー ン (走行モーター含む。)			適用径 (mm) 出力 (kW)			1								
		800~1,100			1.5			1								
		1,200~1,500			3.0			1								
		1,650~3,000			4.4			1								
		グ ラ ウ ト ポ ン プ 2 筒 複 動 式			適用径 (mm) 仕 様 出力 (kW)			1								
		800~1,650			37~100#/min 8			1								
		1,800~3,000			200#/min 11			1								
		グ ラ ウ ト ミ キ サ 並列2槽式 並列2槽式			適用径 (mm) 仕 様 出力 (kW)			1								
		800~1,650			200#×2 2			1								
		1,800~3,000			400#×2 11			1								
		備考 テルハ型クレーンを使用する場合は走行モーターは計上しない。														
		表-73-12 ラフテレーンクレーンの規格表 (1台当り)														
		表-73-12 ラフテレーンクレーンの規格表 (1台当り)														
		表-73-13 標準機械設備1日(8時間)当り稼働時間 (元押し) (砂質土・粘性土)														
		表-73-13 標準機械設備1日(8時間)当り稼働時間 (元押し) (砂質土・粘性土)														
		表-73-14 標準機械設備1日(8時間)当り稼働時間 (元押し) (砂礫土)														
		表-73-14 標準機械設備1日(8時間)当り稼働時間 (元押し) (砂礫土)														

頁 改定趣旨

現 行

改 定

198 表記の修正

表-73-14 標準機械1時間当り燃料消費量（泥水式元押し）

呼び径 (mm)		800～1,100		1,200～1,500		1,650	
機 械 名	1時間当り消費率	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)
掘 進 機	0.533	—	—	—	—	—	—
電動ホイスト	0.305	4.6	1.4	6.8	2.1	13.0	4.0
門型クレーン(本体)	0.305	1.5	0.5	3.0	0.9	4.4	1.3
グラウトポンプ	0.613	8.0	4.9	8.0	4.9	8.0	4.9
グラウトミキサ	0.613	2.0	1.2	2.0	1.2	2.0	1.2
呼び径 (mm)		1,800～2,200		2,400～2,800		3,000	
機 械 名	1時間当り消費率	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)
掘 進 機	0.533	—	—	—	—	—	—
電動ホイスト	0.305	13.0	4.0	24.6	7.5	21.8	6.6
門型クレーン(本体)	0.305	4.4	1.3	4.4	1.3	4.4	1.3
グラウトポンプ	0.613	11.0	6.7	11.0	6.7	11.0	6.7
グラウトミキサ	0.613	11.0	6.7	11.0	6.7	11.0	6.7

表-73-15 多段ジャッキ1時間当り電力消費量算定表

最大配置設備推進力 (kN)	1時間当り消費率	機関出力	電力消費量
		(kW)	(kWh/台)
4,000	0.533	15.0	8.0
6,000	0.533	22.0	11.7
8,000	0.533	22.0or30.0	11.7or16.0
9,000	0.533	30.0	16.0
12,000	0.533	30.0	16.0
16,000	0.533	37.0	19.7
20,000	0.533	52.0	27.7

表-73-15 標準機械1時間当り燃料消費量（泥水式元押し）

呼び径 (mm)		800～1,100		1,200～1,500		1,650	
機 械 名	1時間当り消費率	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)
掘 進 機	0.533	—	—	—	—	—	—
電動ホイスト	0.305	4.6	1.4	6.8	2.1	13.0	4.0
門型クレーン(本体)	0.305	1.5	0.5	3.0	0.9	4.4	1.3
グラウトポンプ	0.613	8.0	4.9	8.0	4.9	8.0	4.9
グラウトミキサ	0.613	2.0	1.2	2.0	1.2	2.0	1.2
呼び径 (mm)		1,800～2,200		2,400～2,800		3,000	
機 械 名	1時間当り消費率	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)
掘 進 機	0.533	—	—	—	—	—	—
電動ホイスト	0.305	13.0	4.0	24.6	7.5	21.8	6.6
門型クレーン(本体)	0.305	4.4	1.3	4.4	1.3	4.4	1.3
グラウトポンプ	0.613	11.0	6.7	11.0	6.7	11.0	6.7
グラウトミキサ	0.613	11.0	6.7	11.0	6.7	11.0	6.7

表-73-16 多段ジャッキ1時間当り電力消費量算定表

最大配置設備推進力 (kN)	1時間当り消費率	機関出力	電力消費量
		(kW)	(kWh/台)
4,000	0.533	15.0	8.0
6,000	0.533	22.0	11.7
8,000	0.533	22.0or30.0	11.7or16.0
9,000	0.533	30.0	16.0
12,000	0.533	30.0	16.0
16,000	0.533	37.0	19.7
20,000	0.533	52.0	27.7

表記の修正

頁	改定趣旨	現 行															
		(4) 機械器具損料及び電力料 (中押し)															
199	表記の修正	表-73-17 機械器具損料及び電力料算定表 (その1) (泥水式中押し)															
		内 容	必 要 台 数	運 転 日 数	供 用 日 数	損料額単価				機 械 器 具 損 料				電 力 料			
時 間 当 り	運 転 日 当 り					供 用 日 当 り	1 日 当 り 運 転 時 間	時 間 当 り	運 転 日 当 り	供 用 日 当 り	1 日 当 り 運 転 時 間	小 計	時 間 当 り 電 力 消 費 量	総 電 力 量	電 力 料		
記号		a	b	c	d	f	g	h	i	j	k	ℓ	m	n	p	q	
算出方法		算 別 計	算 別 計	算 別 計					$a \times b \times d \times f$	$a \times b \times g$	$a \times c \times h$		$i+j+k+\ell$		$a \times b \times d \times n$	$p \times \text{電力料 (円/kWh)}$	
機械名・規格		台	日	日	時間	円	円	円	円	円	円	円	円	円	kWh	kW	円
掘 進 機		1				-	-	-	-	-	-	-					
姿 勢 検 出 装 置		1				-	-	-	-	-	-	-					
電 動 ホ イ ス ト (巻上, 横行モーター含む)		1				-	-	-	-	-	-	-					
門型クレーン(走行モーター含)		1				-	-	-	-	-	-	-					
多 段 ジ ャ ッ キ (元押)		1				-	-	-	-	-	-	-					
油 圧 ポ ン プ (中押)		1				-	-	-	-	-	-	-					
油 圧 ジ ャ ッ キ (中押)		N	-			-	-	-	-	-	-	-			-	-	-
操 作 盤		1	-			-	-	-	-	-	-	-			-	-	-
グ ラ ウ ト ポ ン プ (滑材)		1				-	-	-	-	-	-	-					
グ ラ ウ ト ミ キ サ (滑材)		1				-	-	-	-	-	-	-					
グ ラ ウ ト ポ ン プ (裏込)		1				-	-	-	-	-	-	-					
グ ラ ウ ト ミ キ サ (裏込)		1				-	-	-	-	-	-	-					
合 計																	

備考 掘進機損料=1現場当り修理費+供用日当り損料×供用日数^(注)
 供用日数=Σ(各スパンの供用日数+段取替え日数×α)(α:供用日の割増率)
 1) 各スパンの供用日数=(掘進機据付日数+掘進延長/日進量+掘進機撤去日数)×α(α:供用日の割増率)
 掘進機据付日数=2.0日
 掘進機撤去日数=1.0日
 2) 発進立坑で同一の掘進機を両発進する場合は、推進設備の段取替えに要する実日数を計上する。
 (注) 供用日数が30日未満の場合は別途考慮する。
 3) 姿勢検出装置は、曲線推進または1スパンの推進延長150mを越える場合など、必要に応じて計上する。

工 種 名	改 定																
	(4) 機械器具損料及び電力料 (中押し)																
	表-73-17 機械器具損料及び電力料算定表 (その1) (泥水式中押し)																
	内 容	必 要 台 数	運 転 日 数	供 用 日 数	損料額単価				機 械 器 具 損 料				電 力 料				
時 間 当 り					運 転 日 当 り	供 用 日 当 り	1 日 当 り 運 転 時 間	時 間 当 り	運 転 日 当 り	供 用 日 当 り	1 日 当 り 運 転 時 間	小 計	時 間 当 り 電 力 消 費 量	総 電 力 量	電 力 料		
記号		a	b	c	d	f	g	h	i	j	k	ℓ	m	n	p	q	
算出方法		算 別 計	算 別 計	算 別 計					$a \times b \times d \times f$	$a \times b \times g$	$a \times c \times h$		$i+j+k+\ell$		$a \times b \times d \times n$	$p \times \text{電力料 (円/kWh)}$	
機械名・規格		台	日	日	時間	円	円	円	円	円	円	円	円	円	kWh	kW	円
掘 進 機		1				-	-	-	-	-	-	-					
姿 勢 検 出 装 置		1				-	-	-	-	-	-	-					
電 動 ホ イ ス ト (巻上, 横行モーター含む)		1				-	-	-	-	-	-	-					
門型クレーン(走行モーター含)		1				-	-	-	-	-	-	-					
多 段 ジ ャ ッ キ (元押)		1				-	-	-	-	-	-	-					
油 圧 ポ ン プ (中押)		1				-	-	-	-	-	-	-					
油 圧 ジ ャ ッ キ (中押)		N	-			-	-	-	-	-	-	-			-	-	-
操 作 盤		1	-			-	-	-	-	-	-	-			-	-	-
グ ラ ウ ト ポ ン プ (滑材)		1				-	-	-	-	-	-	-					
グ ラ ウ ト ミ キ サ (滑材)		1				-	-	-	-	-	-	-					
グ ラ ウ ト ポ ン プ (裏込)		1				-	-	-	-	-	-	-					
グ ラ ウ ト ミ キ サ (裏込)		1				-	-	-	-	-	-	-					
合 計																	

備考 掘進機損料=1現場当り修理費+供用日当り損料×供用日数^(注)
 供用日数=Σ(各スパンの供用日数+段取替え日数×α)(α:供用日の割増率)
 1) 各スパンの供用日数=(掘進機据付日数+掘進延長/日進量+掘進機撤去日数)×α(α:供用日の割増率)
 掘進機据付日数=2.0日
 掘進機撤去日数=1.0日
 2) 発進立坑で同一の掘進機を両発進する場合は、推進設備の段取替えに要する実日数を計上する。
 (注) 供用日数が30日未満の場合は別途考慮する。
 3) 姿勢検出装置は、曲線推進または1スパンの推進延長150mを越える場合など、必要に応じて計上する。
 4) ラフテレンクレーンを使用する場合は、門型クレーンと電動ホイストを計上しない。

頁

改定趣旨

現 行

改 定

201 表記の修正

表-73-20 推進標準機械設備設置台数（中押し）

（立坑設備及び滑材，裏込）

機 械 名	規 格			台 数
	適用径 (mm)	仕 様	出力 (kW)	
電 動 ホ イ ス ト (巻上, 横行モーターを含む。)	800~1,100	2.8 t	4.6	1
	1,200~1,500	5 t	6.8	1
	1,650~2,200	10 t	13.0	1
	2,400~2,800	15 t	24.6	1
	3,000	20 t	21.8	1
門 型 ク レ ー ン (走行モータ含む。)	適用径 (mm)		出力 (kW)	
	800~1,100		1.5	1
	1,200~1,500		3.0	1
グ ラ ウ ト ポ ン プ 横 型 2 連 複 動 ピ ス ト ン 式	適用径 (mm)	仕 様	出力 (kW)	
	800~1,650	37~100#/min	8	1
	1,800~3,000	200#/min	11	1
グ ラ ウ ト ミ キ サ 並 列 2 槽 式 並 列 2 槽 式	適用径 (mm)	仕 様	出力 (kW)	
	800~1,650	200#×2	2	1
	1,800~3,000	400#×2	11	1

※ テルハ型クレーンを使用する場合は走行モータは計上しない。

表-73-20 推進標準機械設備設置台数（中押し）

（立坑設備及び滑材，裏込）

機 械 名	規 格			台 数
	適用径 (mm)	仕 様	出力 (kW)	
電 動 ホ イ ス ト (巻上, 横行モーターを含む。)	800~1,100	2.8 t	4.6	1
	1,200~1,500	5 t	6.8	1
	1,650~2,200	10 t	13.0	1
	2,400~2,800	15 t	24.6	1
	3,000	20 t	21.8	1
門 型 ク レ ー ン (走行モータ含む。)	適用径 (mm)		出力 (kW)	
	800~1,100		1.5	1
	1,200~1,500		3.0	1
グ ラ ウ ト ポ ン プ 2 筒 複 動 ピ ス ト ン 式	適用径 (mm)	仕 様	出力 (kW)	
	800~1,650	37~100#/min	8	1
	1,800~3,000	200#/min	11	1
グ ラ ウ ト ミ キ サ 並 列 2 槽 式 並 列 2 槽 式	適用径 (mm)	仕 様	出力 (kW)	
	800~1,650	200#×2	2	1
	1,800~3,000	400#×2	11	1

備考 テルハ型クレーンを使用する場合は走行モータは計上しない。

頁	改定趣旨	現 行															
		表-73-27 泥水式推進機械器具損料 (管推進工)															
205	表記の修正	機 械 名	規 格			基礎 価格 (千円)	標準 使用 年数 (年)	年 間 標 準			維持修 理費率 (%)	年間管 理費率 (%)	運 転 1 時 間 当 り		供 用 1 日 当 り		参 考 備 考
			諸 元	機 関 出力 (kW)	機 械 質量 (t)			運 転 時間 (時間)	運 転 日数 (日)	供 用 日数 (日)			損 料 率 (%)	損 料 (円)	損 料 率 (%)	損 料 (円)	
		油 圧 ジャッキ	(kN×mm) 300(30)×300 500(50)×300 1000(100) × 300				—	—	—			—	—	—	—	中押し推進装 置 (2084-27)	
		操 作 盤					—	—				—	—		中押し推進装 置 (2084-27)		
		グラウトポンプ 縦型二速電動ピ ストン式	37~100L /min 200 L/min	8 11	0.3 0.6		—	—				(日) *	(日) *			*昼間2交脚作 業を行う場合、損 料を30%増しとす る 0571-28	
		グラウトミキサ 立型1槽 並列2槽式	200×1 400×2	6 11	0.36 0.6		—	—				(日) *	(日) *			* 0572-17 0572-37	
		ミキシングブラ ント	中型 大型		0.4 0.75		—	—				(日) *	(日) *			* (0572-17) (0572-37)	
		門型クレーン80~130 2.8t吊地上操作型ホ イスト	2.8t吊				—	—				(日)	(日)			(横行起リマ ーク 一七念二)	
		門型クレーン120~ 130 5t吊地上操作型ホ イスト	5t吊				—	—				(日)	(日)			(横行起リマ ーク 一七念二)	
		門型クレーン160~ 220 10t吊地上操作型ホ イスト	10t吊				—	—				(日)	(日)			(横行起リマ ーク 一七念二)	
		門型クレーン240~ 280 15t吊地上操作型ホ イスト	15+2.8t吊				—	—				(日)	(日)			(横行起リマ ーク 一七念二)	
		門型クレーン300 20t吊地上操作型ホ イスト	20+2.8t吊				—	—				(日)	(日)			(横行起リマ ーク 一七念二)	

207 表記の修正

8. 単価表
D-73-2 坑外作業工 [DGD20680] (1m当り)

種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
運 転 手 (特 殊) 又 は 特 殊 作 業 員		人				表-73-8
特 殊 作 業 員		人				表-73-8
普 通 作 業 員		人				表-73-8
計						1日当り
1 m 当 り						計/推進日進量 (表-73-1, 2)

工 種 名	改 定																
	表-73-27 泥水式推進機械器具損料 (管推進工)																
205	表記の修正	機 械 名	規 格			基礎 価格 (千円)	標準 使用 年数 (年)	年 間 標 準			維持修 理費率 (%)	年間管 理費率 (%)	運 転 1 時 間 当 り		供 用 1 日 当 り		参 考 備 考
			諸 元	機 関 出力 (kW)	機 械 質量 (t)			運 転 時間 (時間)	運 転 日数 (日)	供 用 日数 (日)			損 料 率 (%)	損 料 (円)	損 料 率 (%)	損 料 (円)	
		油 圧 ジャッキ	(kN×mm) 300(30)×300 500(50)×300 1000(100) × 300				—	—	—			—	—	—	—	中押し推進装 置 (2084-27)	
		操 作 盤					—	—				—	—		中押し推進装 置 (2084-27)		
		グラウトポンプ 2速電動ピスト ン式	37~100L /min 200 L/min	8 11	0.3 0.6		—	—				(日) *	(日) *			*昼間2交脚作 業を行う場合、損 料を30%増しとす る 0571-28	
		グラウトミキサ 立型1槽 並列2槽式	200×1 400×2	6 11	0.36 0.6		—	—				(日) *	(日) *			* 0572-17 0572-37	
		ミキシングブラ ント	中型 大型		0.4 0.75		—	—				(日) *	(日) *			* (0572-17) (0572-37)	
		門型クレーン80~130 2.8t吊地上操作型ホ イスト	2.8t吊				—	—				(日)	(日)			(横行起リマ ーク 一七念二)	
		門型クレーン120~ 130 5t吊地上操作型ホ イスト	5t吊				—	—				(日)	(日)			(横行起リマ ーク 一七念二)	
		門型クレーン160~ 220 10t吊地上操作型ホ イスト	10t吊				—	—				(日)	(日)			(横行起リマ ーク 一七念二)	
		門型クレーン240~ 280 15t吊地上操作型ホ イスト	15+2.8t吊				—	—				(日)	(日)			(横行起リマ ーク 一七念二)	
		門型クレーン300 20t吊地上操作型ホ イスト	20+2.8t吊				—	—				(日)	(日)			(横行起リマ ーク 一七念二)	

8. 単価表
D-73-2 坑外作業工 [DGD20680] (1m当り)

種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
運 転 手 (特 殊) 又 は 特 殊 作 業 員		人				表-73-8
特 殊 作 業 員		人				表-73-8
普 通 作 業 員		人				表-73-8
計						1日当り
1 m 当 り						計/推進日進量 (表-73-1, 2)

備考 現場条件を考慮して門型クレーンもしくはラフテレーンクレーンを採用する。

頁	改定趣旨	現 行							
		B-38 仮設備工 (刃口) (一式)							
207	表記の修正	種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
		支 圧 壁		箇所	式 or 箇所				C-57
		クレーン設備組立撤去		箇所	式 or 箇所				C-75
		立 坑 基 礎		箇所	式 or 箇所				C-54
		坑 口		箇所	式 or 箇所				C-76
		鏡 切 り		箇所	式 or 箇所				C-55
		刃口及び推進設備		箇所	式 or 箇所				C-77
		中 押 し 装 置		箇所	式 or 箇所				C-78
		殻 搬 出		m ³	式 or m ³				C-79
		殻 運 搬		m ³	式 or m ³				土木工事標準歩掛による
		殻 処 分		m ³	式 or m ³				土木工事標準歩掛による
		計							
213	表記の修正	2. 施工歩掛 (2) 泥水式・泥濃式推進							
		表-55-10 泥水式・泥濃式推進鏡切り延長表 (1箇所当り)							
		呼び径(mm)	種目	発進口切断延長(m)	到達口切断延長(m)	摘 要			
		800		7.0	7.0				
		900		8.0	8.0				
		1,000		9.0	9.0				
		1,100		10.0	10.0				
		1,200		11.0	11.0				
		1,350		14.0	14.0				
		1,500		16.0	16.0				
		1,650		18.0	18.0				
		1,800		20.0	20.0				
		2,000		22.0	22.0				
		2,200		24.0	24.0				
		2,400		26.0	26.0				
		2,600		29.0	29.0				
		2,800		30.0	30.0				
		3,000		33.0	33.0				
		備考 本表は鋼矢板Ⅲ型の切断延長である。							
218	表記の修正	3. 単価表 D-79-1 坑外コンクリート塊搬出工 [DGD20770] (1箇所当り)							
		種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	
		クレーン運転費		日	1			E-79-1	
		諸 雑 費		式	1			端数処理	
		計						1日当り	
		1 箇 所 当 り						計×1箇所当りコンクリート塊搬出量÷9m ³	

工 種 名		管路施設 (推進工法)							
		改 定							
		B-38 仮設備工 (刃口) (一式)							
		種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
		支 圧 壁		箇所	式 or 箇所				C-57
		クレーン設備組立撤去		箇所	式 or 箇所				C-75
		立 坑 基 礎		箇所	式 or 箇所				C-54
		坑 口		箇所	式 or 箇所				C-76
		鏡 切 り		箇所	式 or 箇所				C-55
		刃口及び推進設備		箇所	式 or 箇所				C-77
		中 押 し 装 置		箇所	式 or 箇所				C-78
		殻 搬 出		m ³	式 or m ³				C-79
		殻 運 搬		m ³	式 or m ³				土木工事標準歩掛による
		殻 処 分		m ³	式 or m ³				土木工事標準歩掛による
		計							
		2. 施工歩掛 (2) 泥水式・泥濃式推進							
		表-55-10 泥水式・泥濃式推進鏡切り延長表 (1箇所当り)							
		呼び径(mm)	種目	発進口切断延長(m)	到達口切断延長(m)	摘 要			
		800		7.0	7.0				
		900		8.0	8.0				
		1,000		9.0	9.0				
		1,100		10.0	10.0				
		1,200		11.0	11.0				
		1,350		14.0	14.0				
		1,500		16.0	16.0				
		1,650		18.0	18.0				
		1,800		20.0	20.0				
		2,000		22.0	22.0				
		2,200		24.0	24.0				
		2,400		26.0	26.0				
		2,600		29.0	29.0				
		2,800		30.0	30.0				
		3,000		33.0	33.0				
		備考 本表は鋼矢板Ⅲ型及びライナープレートの切断延長である。							
		3. 単価表 D-79-1 坑外コンクリート塊搬出工 [DGD20770] (1箇所当り)							
		種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	
		クレーン運転費		日	1			E-79-1	
		ラフテレーンクレーン賃料		日	1			表-73-12	
		諸 雑 費		式	1			端数処理	
		計						1日当り	
		1 箇 所 当 り						計×1箇所当りコンクリート塊搬出量÷9m ³	
		備考 現場条件を考慮して門型クレーンもしくはラフテレーンクレーンを採用する。							

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路

頁	改定趣旨	現 行							
219	表記の修正	B-39 仮設備工 (泥水式・泥濃式推進) (一式)							
		種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘 要
		支 圧 壁		箇所	式or箇所				C-57
		クレーン設備組立撤去		箇所	式or箇所				C-75
		坑 口		箇所	式or箇所				C-76
		鏡 切 り		箇所	式or箇所				C-55
		推進用機器据付撤去		箇所	式or箇所				C-80
		掘進機発進用受台		箇所	式or箇所				(下位代価なし)
		掘進機引上用受台		箇所	式or箇所				C-81
		掘進機据付		台	式or台				C-82
		掘進機回転据付		台	式or台				C-83
		掘進機搬出		台	式or台				C-84
		立 坑 基 礎		箇所	式or箇所				C-54
		中 押 し 装 置		箇所	式or箇所				C-78
		般 搬 出		m ³	式orm ³				C-79
般 運 搬		m ³	式orm ³				土木工事標準歩掛による		
般 処 理		m ³	式orm ³				土木工事標準歩掛による		
計									

2. 作業歩掛

(1) 泥水式・泥濃式推進工法

表-80-1 推進用機器据付撤去工歩掛表 (1箇所当り)

種目 呼び径	土木一般 世話役	特殊作業員	普通作業員	門型クレーン 運転費
	(人)	(人)	(人)	(日)
800~1,100	2.0	4.0	4.0	2.0
1,200~1,500	2.0	4.5	5.0	2.0
1,650~2,200	3.0	5.5	7.0	3.0
2,400~2,800	4.0	6.0	10.0	4.0
3,000	4.5	6.5	11.5	4.5

備考 1 本工種に含まれる作業は、推進ジャッキ、推進反力装置、油圧機器等元押推進作業に関するすべての設備の設置および撤去を含むものとする。

2 全日数の60%を据付日数、40%を撤去日数とする。

3 門型クレーン運転費は(E-79-1 門型クレーン運転費)の表による。

3. 単価表

D-80-1 推進用機器据付撤去工 (泥水式・泥濃式推進) 【DGD20790】 (1箇所当り)

種 目	形 状 寸 法	単 位	数量	単価(円)	金額(円)	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人				表-80-1
特 殊 作 業 員		人				表-80-1
普 通 作 業 員		人				表-80-1
床 板 材		m ³				必要数量を計上
門 型 ク レ ー ン 運 転 費		日				表-80-1
諸 雑 費		式	1			端数処理
計						

工 種 名	管 路 施 設 (推 進 工 法)								
改 定									
220	表記の修正	B-39 仮設備工 (泥水式・泥濃式推進) (一式)							
		種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘 要
		支 圧 壁		箇所	式or箇所				C-57
		クレーン設備組立撤去		箇所	式or箇所				C-75
		坑 口		箇所	式or箇所				C-76
		鏡 切 り		箇所	式or箇所				C-55
		推進用機器据付撤去		箇所	式or箇所				C-80
		掘進機発進用受台		箇所	式or箇所				(下位代価なし)
		掘進機引上用受台		箇所	式or箇所				C-81
		掘進機据付		台	式or台				C-82
		掘進機回転据付		台	式or台				C-83
		掘進機搬出		台	式or台				C-84
		立 坑 基 礎		箇所	式or箇所				C-54
		中 押 し 装 置		箇所	式or箇所				C-78
		般 搬 出		m ³	式or m ³				C-79
般 運 搬		m ³	式or m ³				土木工事標準歩掛による		
般 処 理		m ³	式or m ³				土木工事標準歩掛による		
計									

2. 作業歩掛

(1) 泥水式・泥濃式推進工法

表-80-1 推進用機器据付撤去工歩掛表 (1箇所当り)

種目 呼び径	土木一般 世話役	特殊作業員	普通作業員	門型クレーン 運転費	ラフテレーンクレーン 賃料
	(人)	(人)	(人)	(日)	(日)
800~1,100	2.0	4.0	4.0	2.0	2.0
1,200~1,500	2.0	4.5	5.0	2.0	2.0
1,650~2,200	3.0	5.5	7.0	3.0	3.0
2,400~2,800	4.0	6.0	10.0	4.0	4.0
3,000	4.5	6.5	11.5	4.5	4.5

備考 1 本工種に含まれる作業は、推進ジャッキ、推進反力装置、油圧機器等元押推進作業に関するすべての設備の設置および撤去を含むものとする。

2 全日数の60%を据付日数、40%を撤去日数とする。

3 門型クレーン運転費は(E-79-1 門型クレーン運転費)の表による。

4 現場条件を考慮して門型クレーンもしくはラフテレーンクレーンを採用する。

3. 単価表

D-80-1 推進用機器据付撤去工 (泥水式・泥濃式推進) 【DGD20790】 (1箇所当り)

種 目	形 状 寸 法	単 位	数量	単価(円)	金額(円)	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人				表-80-1
特 殊 作 業 員		人				表-80-1
普 通 作 業 員		人				表-80-1
床 板 材		m ³				必要数量を計上
門 型 ク レ ー ン 運 転 費		日				表-80-1
ラフテレーンクレーン賃料		日				表-73-12, 表-80-1
諸 雑 費		式	1			端数処理
計						

備考 現場条件を考慮して門型クレーンもしくはラフテレーンクレーンを採用する。

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路

頁	改定趣旨	現 行																																																
230	表記の修正	<p>B-41 注入設備工 (一式)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>総括表 単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価 (円)</th> <th>金 額 (円)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>注 入 設 備</td> <td></td> <td>箇所</td> <td>式 or 箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-88</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	注 入 設 備		箇所	式 or 箇所				C-88	計																															
種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																																											
注 入 設 備		箇所	式 or 箇所				C-88																																											
計																																																		
231	表記の修正	<p>B-37 泥濃推進工 (一式)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>総括表 単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価 (円)</th> <th>金 額 (円)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推進用鉄筋コンクリート管 (泥 濃)</td> <td></td> <td>m</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-74</td> </tr> <tr> <td>発 生 土 処 理</td> <td></td> <td>m³</td> <td>式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-3 (開削代価)</td> </tr> <tr> <td>裏 込 込 め</td> <td></td> <td>m</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-71</td> </tr> <tr> <td>管 目 地</td> <td></td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-72</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	推進用鉄筋コンクリート管 (泥 濃)		m	m				C-74	発 生 土 処 理		m ³	式				C-3 (開削代価)	裏 込 込 め		m	m				C-71	管 目 地		箇所	箇所				C-72	計							
種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																																											
推進用鉄筋コンクリート管 (泥 濃)		m	m				C-74																																											
発 生 土 処 理		m ³	式				C-3 (開削代価)																																											
裏 込 込 め		m	m				C-71																																											
管 目 地		箇所	箇所				C-72																																											
計																																																		
234	表記の修正	<p>6. 作業歩掛 (2) 坑内作業工</p> <p style="text-align: center;">表-74-8 1m当り滑材注入量 (ℓ/m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び径 (mm)</th> <th>800</th> <th>900</th> <th>1,000</th> <th>1,100</th> <th>1,200</th> <th>1,350</th> <th>1,500</th> <th>1,650</th> <th>1,800</th> <th>2,000</th> <th>2,200</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂質土・粘性土</td> <td>62.0</td> <td>69.0</td> <td>77.0</td> <td>83.0</td> <td>91.0</td> <td>101.0</td> <td>114.0</td> <td>124.0</td> <td>134.0</td> <td>149.0</td> <td>164.0</td> </tr> <tr> <td>砂礫土</td> <td>93.0</td> <td>104.0</td> <td>116.0</td> <td>125.0</td> <td>137.0</td> <td>152.0</td> <td>171.0</td> <td>186.0</td> <td>201.0</td> <td>224.0</td> <td>246.0</td> </tr> </tbody> </table>	呼び径 (mm)	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	1,800	2,000	2,200	砂質土・粘性土	62.0	69.0	77.0	83.0	91.0	101.0	114.0	124.0	134.0	149.0	164.0	砂礫土	93.0	104.0	116.0	125.0	137.0	152.0	171.0	186.0	201.0	224.0	246.0												
呼び径 (mm)	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	1,800	2,000	2,200																																							
砂質土・粘性土	62.0	69.0	77.0	83.0	91.0	101.0	114.0	124.0	134.0	149.0	164.0																																							
砂礫土	93.0	104.0	116.0	125.0	137.0	152.0	171.0	186.0	201.0	224.0	246.0																																							

工 種 名	管路施設 (中大口径推進)																																																
改 定																																																	
	<p>B-41 注入設備工 (一式)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>総括表 単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価 (円)</th> <th>金 額 (円)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>注 入 設 備</td> <td></td> <td>箇所</td> <td>式 or 箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-88</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	注 入 設 備		箇所	式 or 箇所				C-88	計																															
種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																																										
注 入 設 備		箇所	式 or 箇所				C-88																																										
計																																																	
	<p>B-37 泥濃推進工 (一式)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>総括表 単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価 (円)</th> <th>金 額 (円)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推進用鉄筋コンクリート管 (泥 濃)</td> <td></td> <td>m</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-74</td> </tr> <tr> <td>発 生 土 処 理</td> <td></td> <td>m³</td> <td>式 or m³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-3 (開削代価)</td> </tr> <tr> <td>裏 込 込 め</td> <td></td> <td>m</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-71</td> </tr> <tr> <td>管 目 地</td> <td></td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-72</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	推進用鉄筋コンクリート管 (泥 濃)		m	m				C-74	発 生 土 処 理		m ³	式 or m ³				C-3 (開削代価)	裏 込 込 め		m	m				C-71	管 目 地		箇所	箇所				C-72	計							
種 目	形 状 寸 法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																																										
推進用鉄筋コンクリート管 (泥 濃)		m	m				C-74																																										
発 生 土 処 理		m ³	式 or m ³				C-3 (開削代価)																																										
裏 込 込 め		m	m				C-71																																										
管 目 地		箇所	箇所				C-72																																										
計																																																	
	<p>6. 作業歩掛 (2) 坑内作業工</p> <p style="text-align: center;">表-74-8 1m当り滑材注入量 (ℓ/m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び径 (mm)</th> <th>800</th> <th>900</th> <th>1,000</th> <th>1,100</th> <th>1,200</th> <th>1,350</th> <th>1,500</th> <th>1,650</th> <th>1,800</th> <th>2,000</th> <th>2,200</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂質土・粘性土</td> <td>62.0</td> <td>69.0</td> <td>77.0</td> <td>83.0</td> <td>91.0</td> <td>101.0</td> <td>114.0</td> <td>124.0</td> <td>134.0</td> <td>149.0</td> <td>164.0</td> </tr> <tr> <td>砂礫土</td> <td>93.0</td> <td>104.0</td> <td>116.0</td> <td>125.0</td> <td>137.0</td> <td>152.0</td> <td>171.0</td> <td>186.0</td> <td>201.0</td> <td>224.0</td> <td>246.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 長距離推進等、標準的な条件以外の場合は、別途考慮する。</p>	呼び径 (mm)	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	1,800	2,000	2,200	砂質土・粘性土	62.0	69.0	77.0	83.0	91.0	101.0	114.0	124.0	134.0	149.0	164.0	砂礫土	93.0	104.0	116.0	125.0	137.0	152.0	171.0	186.0	201.0	224.0	246.0												
呼び径 (mm)	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	1,800	2,000	2,200																																						
砂質土・粘性土	62.0	69.0	77.0	83.0	91.0	101.0	114.0	124.0	134.0	149.0	164.0																																						
砂礫土	93.0	104.0	116.0	125.0	137.0	152.0	171.0	186.0	201.0	224.0	246.0																																						

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路

頁	改定趣旨	現	行																																																																																																																																																																																																																																																																				
235	表記の修正	<p>(3) 坑外作業工 ①歩掛は、1日当り8時間作業を標準とする。 ②労務単価は、昼間又は夜間単価とする。</p> <p style="text-align: center;">表-74-11 坑外作業工歩掛表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種目 呼び径 (mm)</th> <th colspan="2">クレーン運転</th> <th rowspan="2">特殊作業員 (人)</th> <th rowspan="2">普通作業員 (人)</th> </tr> <tr> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>運転手 (特殊) (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>800~1,100</td> <td>1.0</td> <td>—</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>1,200~2,200</td> <td>—</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 特殊作業員 … 高濃度泥水作成管理、吸泥排土設備の運転操作、玉掛け 普通作業員 … 玉掛け手伝い、排土、泥水処理手伝い</p> <p>(4) 機械器具損料及び電力料 (元押し)</p> <p style="text-align: center;">表-74-12 機械器具損料及び電力算定表 (その1) (泥濃式)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">内 容</th> <th rowspan="3">必 要 台 数</th> <th rowspan="3">運 転 日 数</th> <th rowspan="3">供 用 日 数</th> <th colspan="2">損 料 額 単 価</th> <th colspan="2">機 械 器 具 損 料</th> <th colspan="2">電 力 料</th> </tr> <tr> <th>時 間 当 り</th> <th>運 転 日 当 り</th> <th>時 間 当 り</th> <th>運 転 日 当 り</th> <th>時 間 当 り</th> <th>電 力 消 費 量</th> <th>電 力 料</th> </tr> <tr> <th>時 間 当 り</th> <th>日 当 り</th> <th>時 間 当 り</th> <th>日 当 り</th> <th>時 間 当 り</th> <th>電 力 消 費 量</th> <th>電 力 料</th> </tr> <tr> <th>記号</th> <th>a</th> <th>b</th> <th>c</th> <th>d</th> <th>f</th> <th>g</th> <th>h</th> <th>i</th> <th>j</th> <th>k</th> <th>l</th> <th>m</th> <th>n</th> <th>p</th> <th>q</th> </tr> <tr> <th>算出方法</th> <td></td> <td>別 計 算</td> <td>別 計 算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>$a \times b \times d \times f$</td> <td>$a \times b \times g \times h$</td> <td>$a \times c \times h$</td> <td></td> <td>$i+j+k+l$</td> <td></td> <td>$a \times b \times d \times n$</td> <td>$p \times \text{電力料 (円/kWh)}$</td> </tr> <tr> <th>機械名・規格</th> <td>台</td> <td>日</td> <td>日</td> <td>時間</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>kWh</td> <td>kW</td> <td>円</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘 進 機</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>姿 勢 検 出 装 置</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電 動 ホ イ ス ト (巻上、横行モーター含む)</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>門型クレーン(走行モーター含)</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>多段ジャッキ (元押し)</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラウトポンプ (滑材)</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラウトミキサ (滑材)</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラウトポンプ (裏込)</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラウトミキサ (裏込)</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 掘進機損料=1現場当り修理費+供用日当り損料×供用日数^(注) 供用日数=Σ(各スパンの供用日数+段取り替え日数×α)(α:供用日の割増率) 1) 各スパンの供用日数=(掘進機据付日数+推進延長/日進量+掘進機撤去日数)×α(α:供用日の割増率) 掘進機据付日数=2.0日 掘進機撤去日数=1.0日 2) 発達立坑で同一の掘進機を両発達する場合は、推進設備の段取り替えに要する実日数を計上する。 (注) 供用日数が30日未満の場合は別途考慮する。 3) 姿勢検出装置は、曲線推進または1スパンの推進延長150mを越える場合など、必要に応じて計上する。</p>		種目 呼び径 (mm)	クレーン運転		特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	特殊作業員 (人)	運転手 (特殊) (人)	800~1,100	1.0	—	1.0	1.0	1,200~2,200	—	1.0	1.0	1.0	内 容	必 要 台 数	運 転 日 数	供 用 日 数	損 料 額 単 価		機 械 器 具 損 料		電 力 料		時 間 当 り	運 転 日 当 り	時 間 当 り	運 転 日 当 り	時 間 当 り	電 力 消 費 量	電 力 料	時 間 当 り	日 当 り	時 間 当 り	日 当 り	時 間 当 り	電 力 消 費 量	電 力 料	記号	a	b	c	d	f	g	h	i	j	k	l	m	n	p	q	算出方法		別 計 算	別 計 算					$a \times b \times d \times f$	$a \times b \times g \times h$	$a \times c \times h$		$i+j+k+l$		$a \times b \times d \times n$	$p \times \text{電力料 (円/kWh)}$	機械名・規格	台	日	日	時間	円	円	円	円	円	円	円	円	円	kWh	kW	円	掘 進 機	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—				姿 勢 検 出 装 置	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—				電 動 ホ イ ス ト (巻上、横行モーター含む)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—				門型クレーン(走行モーター含)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—				多段ジャッキ (元押し)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—				グラウトポンプ (滑材)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—				グラウトミキサ (滑材)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—				グラウトポンプ (裏込)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—				グラウトミキサ (裏込)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—				合 計																
種目 呼び径 (mm)	クレーン運転		特殊作業員 (人)		普通作業員 (人)																																																																																																																																																																																																																																																																		
	特殊作業員 (人)	運転手 (特殊) (人)																																																																																																																																																																																																																																																																					
800~1,100	1.0	—	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																			
1,200~2,200	—	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																			
内 容	必 要 台 数	運 転 日 数	供 用 日 数	損 料 額 単 価		機 械 器 具 損 料		電 力 料																																																																																																																																																																																																																																																															
				時 間 当 り	運 転 日 当 り	時 間 当 り	運 転 日 当 り	時 間 当 り	電 力 消 費 量	電 力 料																																																																																																																																																																																																																																																													
				時 間 当 り	日 当 り	時 間 当 り	日 当 り	時 間 当 り	電 力 消 費 量	電 力 料																																																																																																																																																																																																																																																													
記号	a	b	c	d	f	g	h	i	j	k	l	m	n	p	q																																																																																																																																																																																																																																																								
算出方法		別 計 算	別 計 算					$a \times b \times d \times f$	$a \times b \times g \times h$	$a \times c \times h$		$i+j+k+l$		$a \times b \times d \times n$	$p \times \text{電力料 (円/kWh)}$																																																																																																																																																																																																																																																								
機械名・規格	台	日	日	時間	円	円	円	円	円	円	円	円	円	kWh	kW	円																																																																																																																																																																																																																																																							
掘 進 機	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																										
姿 勢 検 出 装 置	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																										
電 動 ホ イ ス ト (巻上、横行モーター含む)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																										
門型クレーン(走行モーター含)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																										
多段ジャッキ (元押し)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																										
グラウトポンプ (滑材)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																										
グラウトミキサ (滑材)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																										
グラウトポンプ (裏込)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																										
グラウトミキサ (裏込)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																										
合 計																																																																																																																																																																																																																																																																							

工 種 名	管路施設 (推進工法)																																																																																																																																																																																																																																																																				
改 定																																																																																																																																																																																																																																																																					
<p>(3) 坑外作業工 ①歩掛は、1日当り8時間作業を標準とする。 ②労務単価は、昼間又は夜間単価とする。</p> <p style="text-align: center;">表-74-11 坑外作業工歩掛表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種目 呼び径 (mm)</th> <th colspan="2">クレーン運転</th> <th rowspan="2">特殊作業員 (人)</th> <th rowspan="2">普通作業員 (人)</th> </tr> <tr> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>運転手 (特殊) (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>800~1,100</td> <td>1.0</td> <td>—</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>1,200~2,200</td> <td>—</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 特殊作業員……泥水作成管理、処理装置の運転操作、玉掛け、クレーン作業等 普通作業員……玉掛け手伝い、泥水処理手伝い ラフテレンクレーンを採用する場合、賃料に運転手が含まれているため、クレーン運転を計上しない。</p> <p>(4) 機械器具損料及び電力料 (元押し)</p> <p style="text-align: center;">表-74-12 機械器具損料及び電力算定表 (その1) (泥濃式)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">内 容</th> <th rowspan="3">必 要 台 数</th> <th rowspan="3">運 転 日 数</th> <th rowspan="3">供 用 日 数</th> <th colspan="2">損 料 額 単 価</th> <th colspan="2">機 械 器 具 損 料</th> <th colspan="2">電 力 料</th> </tr> <tr> <th>時 間 当 り</th> <th>運 転 日 当 り</th> <th>時 間 当 り</th> <th>運 転 日 当 り</th> <th>時 間 当 り</th> <th>電 力 消 費 量</th> <th>電 力 料</th> </tr> <tr> <th>時 間 当 り</th> <th>日 当 り</th> <th>時 間 当 り</th> <th>日 当 り</th> <th>時 間 当 り</th> <th>電 力 消 費 量</th> <th>電 力 料</th> </tr> <tr> <th>記号</th> <th>a</th> <th>b</th> <th>c</th> <th>d</th> <th>f</th> <th>g</th> <th>h</th> <th>i</th> <th>j</th> <th>k</th> <th>l</th> <th>m</th> <th>n</th> <th>p</th> <th>q</th> </tr> <tr> <th>算出方法</th> <td></td> <td>別 計 算</td> <td>別 計 算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>$a \times b \times d \times f$</td> <td>$a \times b \times g \times h$</td> <td>$a \times c \times h$</td> <td></td> <td>$i+j+k+l$</td> <td></td> <td>$a \times b \times d \times n$</td> <td>$p \times \text{電力料 (円/kWh)}$</td> </tr> <tr> <th>機械名・規格</th> <td>台</td> <td>日</td> <td>日</td> <td>時間</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>kWh</td> <td>kW</td> <td>円</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘 進 機</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>姿 勢 検 出 装 置</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電 動 ホ イ ス ト (巻上、横行モーター含む)</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>門型クレーン(走行モーター含)</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>多段ジャッキ (元押し)</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラウトポンプ (滑材)</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラウトミキサ (滑材)</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラウトポンプ (裏込)</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラウトミキサ (裏込)</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 掘進機損料=1現場当り修理費+供用日当り損料×供用日数^(注) 供用日数=Σ(各スパンの供用日数+段取り替え日数×α)(α:供用日の割増率) 1) 各スパンの供用日数=(掘進機据付日数+推進延長/日進量+掘進機撤去日数)×α(α:供用日の割増率) 掘進機据付日数=2.0日 掘進機撤去日数=1.0日 2) 発達立坑で同一の掘進機を両発達する場合は、推進設備の段取り替えに要する実日数を計上する。 (注) 供用日数が30日未満の場合は別途考慮する。 3) 姿勢検出装置は、曲線推進または1スパンの推進延長150mを越える場合など、必要に応じて計上する。 4) ラフテレンクレーンを使用する場合は、門型クレーンと電動ホイストを計上しない。</p>		種目 呼び径 (mm)	クレーン運転		特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	特殊作業員 (人)	運転手 (特殊) (人)	800~1,100	1.0	—	1.0	1.0	1,200~2,200	—	1.0	1.0	1.0	内 容	必 要 台 数	運 転 日 数	供 用 日 数	損 料 額 単 価		機 械 器 具 損 料		電 力 料		時 間 当 り	運 転 日 当 り	時 間 当 り	運 転 日 当 り	時 間 当 り	電 力 消 費 量	電 力 料	時 間 当 り	日 当 り	時 間 当 り	日 当 り	時 間 当 り	電 力 消 費 量	電 力 料	記号	a	b	c	d	f	g	h	i	j	k	l	m	n	p	q	算出方法		別 計 算	別 計 算					$a \times b \times d \times f$	$a \times b \times g \times h$	$a \times c \times h$		$i+j+k+l$		$a \times b \times d \times n$	$p \times \text{電力料 (円/kWh)}$	機械名・規格	台	日	日	時間	円	円	円	円	円	円	円	円	円	kWh	kW	円	掘 進 機	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—				姿 勢 検 出 装 置	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—				電 動 ホ イ ス ト (巻上、横行モーター含む)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—				門型クレーン(走行モーター含)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—				多段ジャッキ (元押し)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—				グラウトポンプ (滑材)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—				グラウトミキサ (滑材)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—				グラウトポンプ (裏込)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—				グラウトミキサ (裏込)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—				合 計																
種目 呼び径 (mm)	クレーン運転		特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)																																																																																																																																																																																																																																																																	
	特殊作業員 (人)	運転手 (特殊) (人)																																																																																																																																																																																																																																																																			
800~1,100	1.0	—	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																	
1,200~2,200	—	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																	
内 容	必 要 台 数	運 転 日 数	供 用 日 数	損 料 額 単 価		機 械 器 具 損 料		電 力 料																																																																																																																																																																																																																																																													
				時 間 当 り	運 転 日 当 り	時 間 当 り	運 転 日 当 り	時 間 当 り	電 力 消 費 量	電 力 料																																																																																																																																																																																																																																																											
				時 間 当 り	日 当 り	時 間 当 り	日 当 り	時 間 当 り	電 力 消 費 量	電 力 料																																																																																																																																																																																																																																																											
記号	a	b	c	d	f	g	h	i	j	k	l	m	n	p	q																																																																																																																																																																																																																																																						
算出方法		別 計 算	別 計 算					$a \times b \times d \times f$	$a \times b \times g \times h$	$a \times c \times h$		$i+j+k+l$		$a \times b \times d \times n$	$p \times \text{電力料 (円/kWh)}$																																																																																																																																																																																																																																																						
機械名・規格	台	日	日	時間	円	円	円	円	円	円	円	円	円	kWh	kW	円																																																																																																																																																																																																																																																					
掘 進 機	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
姿 勢 検 出 装 置	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
電 動 ホ イ ス ト (巻上、横行モーター含む)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
門型クレーン(走行モーター含)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
多段ジャッキ (元押し)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
グラウトポンプ (滑材)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
グラウトミキサ (滑材)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
グラウトポンプ (裏込)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
グラウトミキサ (裏込)	1				—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																								
合 計																																																																																																																																																																																																																																																																					

頁 改定趣旨
237 表記の修正
規格表の追加
表記の修正

現 行

表-74-15 推進標準機械設備設置台数 (元押し) (立坑設備及び滑材、裏込)

機 械 名	規 格			台 数
電 動 ホ イ ス ト (巻上げ、横行モーターを含む。)	適用径 (mm)	仕 様	出力 (kW)	1
	800~1,100	2.8 t	4.6	
	1,200~1,500	5 t	6.8	
	1,650~2,200	10 t	13.0	1
門 型 ク レ ー ン (走 行 モ ー タ 含 む。)	適用径 (mm)	出力 (kW)		1
	800~1,100	1.5		
	1,200~1,500	3.0		
	1,650~2,200	4.4		1
グ ラ ウ ト ボ ン プ 横 型 2 連 複 動 ピ ス ト ン 式	適用径 (mm)	仕 様	出力 (kW)	1
	800~1,650	37~100@min	8	
	1,800~2,200	200@min	11	1
グ ラ ウ ト ミ キ サ 並 列 2 槽 式	適用径 (mm)	仕 様	出力 (kW)	1
	800~1,650	200φ×2	2	
	1,800~2,200	400φ×2	11	1

備考 テルハ型クレーンを使用する場合は走行モータは計上しない。

表-74-16 推進標準機械設備設置台数 (元押し) (送排泥設備)

機 械 名	規 格			台 数
コンプレッサ	適用径 (mm)	仕様 (m³)	出力 (kW)	1
	800~1,200	1.1~1.5	7.5	
	1,350~2,200	1.4~1.6	11.0	1
吸 泥 排 土 装 置	適用径 (mm)	仕様 (m³)	出力 (kW)	1
	800~1,500	30	55	
	1,650~1,800	39	75	
	2,000~2,200	30	55	
		39	75	1
グ ラ ウ ト ボ ン プ (高濃度泥水)	適用径 (mm)	仕様 (m³)	出力 (kW)	2
	800~1,350	65	2.2	
	1,500~1,800	65	2.2	1
		90	7.5	1
	2,000~2,200	65	2.2	1
		90	7.5	2
グ ラ ウ ト ミ キ サ (高濃度泥水)	適用径 (mm)	仕様 (m³)	出力 (kW)	3
	800~1,800	0.5	2.2	
	2,000~2,200	0.5	2.2	6

改 定

表-74-15 推進標準機械設備設置台数 (元押し) (立坑設備及び滑材、裏込)

機 械 名	規 格			台 数
電 動 ホ イ ス ト (巻上げ、横行モーターを含む。)	適用径 (mm)	仕 様	出力 (kW)	1
	800~1,100	2.8 t	4.6	
	1,200~1,500	5 t	6.8	
	1,650~2,200	10 t	13.0	1
門 型 ク レ ー ン (走 行 モ ー タ 含 む。)	適用径 (mm)	出力 (kW)		1
	800~1,100	1.5		
	1,200~1,500	3.0		
	1,650~2,200	4.4		1
グ ラ ウ ト ボ ン プ 2 筒 複 動 ピ ス ト ン 式	適用径 (mm)	仕 様	出力 (kW)	1
	800~1,650	37~100@min	8	
	1,800~2,200	200@min	11	1
グ ラ ウ ト ミ キ サ 並 列 2 槽 式	適用径 (mm)	仕 様	出力 (kW)	1
	800~1,650	200φ×2	2	
	1,800~2,200	400φ×2	11	1

備考 テルハ型クレーンを使用する場合は走行モーターは計上しない。

表-74-16 ラフテレーンクレーンの規格表 (1台当り)

呼び径 (mm)	800~900	1,000~1,350	1,500~1,800	2,000~2,200
規 格	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型			
	4.9 t 吊	16 t 吊	25 t 吊	35 t 吊

備考 現場条件に応じて、標準規格以外のクレーンを適用する場合は、別途考慮する。

表-74-17 推進標準機械設備設置台数 (元押し) (送排泥設備)

機 械 名	規 格			台 数
コンプレッサ	適用径 (mm)	仕様 (m³)	出力 (kW)	1
	800, 900	0.83	3.7	
	1,000~1,200	1.1~1.5	7.5	
	1,350~2,200	1.4~1.6	11.0	1
吸 泥 排 土 装 置	適用径 (mm)	仕様 (m³)	出力 (kW)	1
	800~1,200	22.5	37	
	1,350~1,500	35	55	
	1,650~1,800	44	75	
	2,000~2,200	35	55	2
グ ラ ウ ト ボ ン プ (高濃度泥水)	適用径 (mm)	仕様 (m³)	出力 (kW)	2
	800~1,350	65	2.2	
	1,500~1,800	65	2.2	1
		90	7.5	1
	2,000~2,200	65	2.2	1
		90	7.5	2
グ ラ ウ ト ミ キ サ (高濃度泥水)	適用径 (mm)	仕様 (m³)	出力 (kW)	3
	800~1,800	0.5	2.2	
	2,000~2,200	0.5	2.2	6

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路

頁 改定趣旨
237 表記の修正
238 表記の修正

現 行

表-74-17 標準機械設備1日(8時間) 当り稼働時間 (元押し) (砂質土・粘性土)

機械の種類	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	1,800	2,000	2,200
掘進機	4.7	4.6	4.5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2	4.1	4.1	4.0
電動ホイスト	2.2	2.3	2.3	2.1	2.1	2.3	2.3	2.2	2.4	2.5	2.4
門型クレーン(本体)	2.0	2.1	2.1	1.9	1.9	2.1	2.1	2.0	2.2	2.3	2.2
多段ジャッキ(元押し)	4.7	4.6	4.5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2	4.1	4.1	4.0
グラウトポンプ(滑材)	4.7	4.6	4.5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2	4.1	4.1	4.0
グラウトミキサ(滑材)	4.9	4.8	4.7	4.7	4.6	4.5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2
グラウトポンプ(裏込)	2.1	2.3	2.5	2.5	2.7	2.9	3.1	3.2	3.4	3.5	3.7
グラウトミキサ(裏込)	3.4	3.6	3.8	3.8	3.9	4.1	4.2	4.2	4.4	4.5	4.7
コンプレッサ	4.8	4.8	4.7	4.6	4.6	4.5	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2
吸泥排土設備	4.8	4.8	4.7	4.6	4.6	4.5	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2
グラウトポンプ(高濃度泥水)	4.8	4.8	4.7	4.6	4.6	4.5	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2
グラウトミキサ(高濃度泥水)	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
給水ポンプ	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0	1.1

表-74-18 標準機械設備1日(8時間) 当り稼働時間 (元押し) (砂礫土)

機械の種類	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	1,800	2,000	2,200
掘進機	5.0	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.5
電動ホイスト	1.8	1.9	1.8	1.8	1.8	1.9	2.0	1.8	2.0	2.1	2.0
門型クレーン(本体)	1.6	1.7	1.6	1.6	1.6	1.7	1.8	1.6	1.8	1.9	1.8
多段ジャッキ(元押し)	5.0	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.5
グラウトポンプ(滑材)	5.0	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.5
グラウトミキサ(滑材)	5.2	5.1	5.1	5.0	5.0	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.7
グラウトポンプ(裏込)	2.1	2.3	2.5	2.5	2.7	2.9	3.1	3.2	3.4	3.5	3.7
グラウトミキサ(裏込)	3.4	3.6	3.8	3.8	3.9	4.1	4.2	4.2	4.4	4.5	4.7
コンプレッサ	5.1	5.1	5.0	4.9	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.5
吸泥排土設備	5.1	5.1	5.0	4.9	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.5
グラウトポンプ(高濃度泥水)	5.1	5.1	5.0	4.9	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.5
グラウトミキサ(高濃度泥水)	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
給水ポンプ	1.2	1.2	1.3	1.3	1.3	1.2	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2

表-74-19 標準機械1時間当り燃料消費量 (泥濃式元押し)

呼び径 (mm)		800~1,100		1,200~1,500		1,650	
機械名	1時間当り消費率	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)
掘進機	0.533	—	—	—	—	—	—
電動ホイスト	0.305	4.6	1.4	6.8	2.1	13.0	4.0
門型クレーン(本体)	0.305	1.5	0.5	3.0	0.9	4.4	1.3
グラウトポンプ	0.613	8.0	4.9	8.0	4.9	8.0	4.9
グラウトミキサ	0.613	2.0	1.2	2.0	1.2	2.0	1.2

呼び径 (mm)		1,800~2,200	
機械名	1時間当り消費率	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)
掘進機	0.533	—	—
電動ホイスト	0.305	13.0	4.0
門型クレーン(本体)	0.305	4.4	1.3
グラウトポンプ	0.613	11.0	6.7
グラウトミキサ	0.613	11.0	6.7

工種名 管路施設(推進工法)

改 定

表-74-18 標準機械設備1日(8時間) 当り稼働時間 (元押し) (砂質土・粘性土)

機械の種類	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	1,800	2,000	2,200
掘進機	4.7	4.6	4.5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2	4.1	4.1	4.0
電動ホイスト	2.2	2.3	2.3	2.1	2.1	2.3	2.3	2.2	2.4	2.5	2.4
門型クレーン(本体)	2.0	2.1	2.1	1.9	1.9	2.1	2.1	2.0	2.2	2.3	2.2
多段ジャッキ(元押し)	4.7	4.6	4.5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2	4.1	4.1	4.0
グラウトポンプ(滑材)	4.7	4.6	4.5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2	4.1	4.1	4.0
グラウトミキサ(滑材)	4.9	4.8	4.7	4.7	4.6	4.5	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2
グラウトポンプ(裏込)	2.1	2.3	2.5	2.5	2.7	2.9	3.1	3.2	3.4	3.5	3.7
グラウトミキサ(裏込)	3.4	3.6	3.8	3.8	3.9	4.1	4.2	4.2	4.4	4.5	4.7
コンプレッサ	4.8	4.8	4.7	4.6	4.6	4.5	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2
吸泥排土設備	4.8	4.8	4.7	4.6	4.6	4.5	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2
グラウトポンプ(高濃度泥水)	4.8	4.8	4.7	4.6	4.6	4.5	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2
グラウトミキサ(高濃度泥水)	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
給水ポンプ	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0	1.1

表-74-19 標準機械設備1日(8時間) 当り稼働時間 (元押し) (砂礫土)

機械の種類	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	1,800	2,000	2,200
掘進機	5.0	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.5
電動ホイスト	1.8	1.9	1.8	1.8	1.8	1.9	2.0	1.8	2.0	2.1	2.0
門型クレーン(本体)	1.6	1.7	1.6	1.6	1.6	1.7	1.8	1.6	1.8	1.9	1.8
多段ジャッキ(元押し)	5.0	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.5
グラウトポンプ(滑材)	5.0	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.5
グラウトミキサ(滑材)	5.2	5.1	5.1	5.0	5.0	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.7
グラウトポンプ(裏込)	2.1	2.3	2.5	2.5	2.7	2.9	3.1	3.2	3.4	3.5	3.7
グラウトミキサ(裏込)	3.4	3.6	3.8	3.8	3.9	4.1	4.2	4.2	4.4	4.5	4.7
コンプレッサ	5.1	5.1	5.0	4.9	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.5
吸泥排土設備	5.1	5.1	5.0	4.9	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.5
グラウトポンプ(高濃度泥水)	5.1	5.1	5.0	4.9	4.8	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.5
グラウトミキサ(高濃度泥水)	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
給水ポンプ	1.2	1.2	1.3	1.3	1.3	1.2	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2

表-74-20 標準機械1時間当り燃料消費量 (泥濃式元押し)

呼び径 (mm)		800~1,100		1,200~1,500		1,650	
機械名	1時間当り消費率	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)
掘進機	0.533	—	—	—	—	—	—
電動ホイスト	0.305	4.6	1.4	6.8	2.1	13.0	4.0
門型クレーン(本体)	0.305	1.5	0.5	3.0	0.9	4.4	1.3
グラウトポンプ	0.613	8.0	4.9	8.0	4.9	8.0	4.9
グラウトミキサ	0.613	2.0	1.2	2.0	1.2	2.0	1.2

呼び径 (mm)		1,800~2,200	
機械名	1時間当り消費率	機関出力 (kW)	電力消費量 (kWh/台)
掘進機	0.533	—	—
電動ホイスト	0.305	13.0	4.0
門型クレーン(本体)	0.305	4.4	1.3
グラウトポンプ	0.613	11.0	6.7
グラウトミキサ	0.613	11.0	6.7

頁 改定趣旨
 238 表記の修正
 242 表記の修正

現 行

表-74-20 機械別1時間当り燃料消費率

機 械 名	1時間当り消費率
吸 泥 排 土 設 備	0.681
コ ン プ レ ッ サ	0.595
グ ラ ウ ト ポ ン プ	0.613
グ ラ ウ ト ミ キ サ	0.613

表-74-21 多段ジャッキ1時間当り電力消費量算定表

最大配置設備推進力 (kN)	1時間当り消費率	機関出力	電力消費量
		(kW)	(kWh/台)
4,000	0.533	15.0	8.0
6,000	0.533	22.0	11.7
8,000	0.533	22.0or30.0	11.7or16.0
9,000	0.533	30.0	16.0
12,000	0.533	30.0	16.0
16,000	0.533	37.0	19.7
20,000	0.533	52.0	27.7

7. 単価表
 D-74-3 坑外作業工

【DGD20890】
 (1m当り)

種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
運 転 手 (特 殊) 又 は 特 殊 作 業 員		人				表-74-11
特 殊 作 業 員		人				表-74-11
普 通 作 業 員		人				表-74-11
計						1日当り
1 m 当 り						計/推進日進量 (表-74-1, 2)

D-74-4 機械器具損料及び電力料

(1式)

種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
電 力 料		式	1			表-74-12, 13
機 械 器 具 損 料 (1)		式	1			表-74-12
機 械 器 具 損 料 (2)		式	1			表-74-13
機 械 器 具 損 料 (3)		式	1			表-74-22
諸 雑 費		式	1			端数処理
計						

改 定

表-74-21 機械別1時間当り燃料消費率

機 械 名	1時間当り消費率
吸 泥 排 土 設 備	0.681
コ ン プ レ ッ サ	0.595
グ ラ ウ ト ポ ン プ	0.613
グ ラ ウ ト ミ キ サ	0.613

表-74-22 多段ジャッキ1時間当り電力消費量算定表

最大配置設備推進力 (kN)	1時間当り消費率	機関出力	電力消費量
		(kW)	(kWh/台)
4,000	0.533	15.0	8.0
6,000	0.533	22.0	11.7
8,000	0.533	22.0or30.0	11.7or16.0
9,000	0.533	30.0	16.0
12,000	0.533	30.0	16.0
16,000	0.533	37.0	19.7
20,000	0.533	52.0	27.7

7. 単価表
 D-74-3 坑外作業工

【DGD20890】
 (1m当り)

種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
運 転 手 (特 殊) 又 は 特 殊 作 業 員		人				表-74-11
特 殊 作 業 員		人				表-74-11
普 通 作 業 員		人				(中押し)
ラフテレーンクレーン賃料		台	1			表-74-16
計						1日当り
1 m 当 り						計/推進日進量 (表-74-1, 2)

備考 現場条件を考慮して門型クレーンもしくはラフテレーンクレーンを採用する。

D-74-4 機械器具損料及び電力料

(1式)

種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
電 力 料		式	1			表-74-12, 13
機 械 器 具 損 料 (1)		式	1			表-74-12
機 械 器 具 損 料 (2)		式	1			表-74-13
機 械 器 具 損 料 (3)		式	1			表-74-23
諸 雑 費		式	1			端数処理
計						

頁	改定趣旨	現	行																								
262	歩掛表の改定	<p>2. 作業歩掛</p> <p>(1) 高濃度泥水注入設備工</p> <p style="text-align: center;">表-87-1 高濃度泥水注入設備工歩掛表 (1箇所当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>土木一般世話役 (人)</th> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>溶接工 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> <th>ラフテレーンクレーン賃料(日) 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 16t 吊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歩掛</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 高濃度泥水注入設備工にはプラント～発進立坑間の高濃度泥水及び滑材の配管、撤去及びプラント設置、撤去片付けに伴う段取り一式を含む。 2 本歩掛は、組立工、撤去工を含むものであり、組立工、撤去工、別計上の場合は60%を組立工、40%を撤去工とする。</p> <p>(2) 吸泥排土設備工</p> <p style="text-align: center;">表-87-2 吸泥排土設備工歩掛表 (1箇所当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>土木一般世話役 (人)</th> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>溶接工 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> <th>ラフテレーンクレーン賃料(日) 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歩掛</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 吸泥排土設備工にはプラント～発進立坑間の配管及びプラント設置、撤去片付けに伴う段取り一式を含む。 2 本歩掛は、組立工、撤去工を含むものであり、組立工、撤去工、別計上の場合は60%を組立工、40%を撤去工とする。</p>		種目	土木一般世話役 (人)	特殊作業員 (人)	溶接工 (人)	普通作業員 (人)	ラフテレーンクレーン賃料(日) 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 16t 吊	歩掛	1.0	1.5	1.0	2.0	1.0	種目	土木一般世話役 (人)	特殊作業員 (人)	溶接工 (人)	普通作業員 (人)	ラフテレーンクレーン賃料(日) 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	歩掛	1.0	2.0	1.5	2.0	1.0
種目	土木一般世話役 (人)	特殊作業員 (人)	溶接工 (人)	普通作業員 (人)	ラフテレーンクレーン賃料(日) 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 16t 吊																						
歩掛	1.0	1.5	1.0	2.0	1.0																						
種目	土木一般世話役 (人)	特殊作業員 (人)	溶接工 (人)	普通作業員 (人)	ラフテレーンクレーン賃料(日) 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊																						
歩掛	1.0	2.0	1.5	2.0	1.0																						

改		定															
2. 作業歩掛																	
(1) 高濃度泥水注入設備工		<p style="text-align: center;">表-87-1 高濃度泥水注入設備工歩掛表 (1箇所当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>土木一般世話役 (人)</th> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>溶接工 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> <th>ラフテレーンクレーン賃料(日) 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 16t 吊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歩掛</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 高濃度泥水注入設備工にはプラント～発進立坑間の高濃度泥水及び滑材の配管、撤去及びプラント設置、撤去片付けに伴う段取り一式を含む。 2 本歩掛は、組立工、撤去工を含むものであり、組立工、撤去工、別計上の場合は60%を組立工、40%を撤去工とする。</p>				種目	土木一般世話役 (人)	特殊作業員 (人)	溶接工 (人)	普通作業員 (人)	ラフテレーンクレーン賃料(日) 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 16t 吊	歩掛	1.0	2.0	1.5	2.5	1.0
種目	土木一般世話役 (人)	特殊作業員 (人)	溶接工 (人)	普通作業員 (人)	ラフテレーンクレーン賃料(日) 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 16t 吊												
歩掛	1.0	2.0	1.5	2.5	1.0												
(2) 吸泥排土設備工		<p style="text-align: center;">表-87-2 吸泥排土設備工歩掛表 (1箇所当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>土木一般世話役 (人)</th> <th>特殊作業員 (人)</th> <th>溶接工 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> <th>ラフテレーンクレーン賃料(日) 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歩掛</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 吸泥排土設備工にはプラント～発進立坑間の配管及びプラント設置、撤去片付けに伴う段取り一式を含む。 2 本歩掛は、組立工、撤去工を含むものであり、組立工、撤去工、別計上の場合は60%を組立工、40%を撤去工とする。</p>				種目	土木一般世話役 (人)	特殊作業員 (人)	溶接工 (人)	普通作業員 (人)	ラフテレーンクレーン賃料(日) 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	歩掛	1.0	2.0	1.5	2.5	1.0
種目	土木一般世話役 (人)	特殊作業員 (人)	溶接工 (人)	普通作業員 (人)	ラフテレーンクレーン賃料(日) 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊												
歩掛	1.0	2.0	1.5	2.5	1.0												

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路

頁	改定趣旨	現 行											
291	本工事費内訳の改定	管きょ工(〇〇式シールド工法, 仕上り内径〇〇mm)									A-7		
		仮設備工(シールド)									B-53		
			立坑基礎				箇所					C-54	
			発進坑口				箇所					C-108	
			到達坑口				箇所						
			支圧壁				箇所					C-109	
			立坑内作業床				箇所					C-110	
			シールド機発進用受台				箇所					C-111	
			シールド機引上用受台				箇所					C-112	
			シールド機据付				箇所					C-113	
			シールド機回転据付				箇所					C-114	
			シールド機搬出				箇所					C-115	
			シールド機解体残置				箇所					C-116	
			シールド機仮発進				箇所					C-117	
			後続台車設備				箇所					C-118	
			鏡切り				箇所					C-119	
			軌条設備				式					C-120	
			般運搬				式 or m3					*	
			殻処分				式 or m3					*	
		(中略)											
				坑外設備工									B-56
		仮囲い				式					*		
		仮囲い門扉				式					C-128		
		裏込注入設備				式					C-129		
		添加材注入設備				式					C-130		

工 種 名	管路施設 (シールド工法)												
改 定													
		管きょ工(〇〇式シールド工法, 仕上り内径〇〇mm)									A-7		
		仮設備工(シールド)									B-53		
			立坑基礎				箇所					C-54	
			発進坑口				箇所					C-108	
			到達坑口				箇所						
			支圧壁				箇所					C-109	
			立坑内作業床				箇所					C-110	
			シールド機発進用受台				箇所					C-111	
			シールド機引上用受台				箇所					C-112	
			シールド機据付				箇所					C-113	
			シールド機回転据付				箇所					C-114	
			シールド機搬出				箇所					C-115	
			シールド機解体残置				箇所					C-116	
			シールド機仮発進				箇所					C-117	
			後続台車設備				箇所					C-118	
			鏡切り				箇所					C-119	
			軌条設備				式					C-120	
			般運搬				式 or m3					*	
			殻処分				式 or m3					*	
		(中略)											
				坑外設備工									B-56
		仮囲い				式 or m					*		
		仮囲い門扉				式					C-128		
		裏込注入設備				式					C-129		
		添加材注入設備				式					C-130		

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路

頁	改定趣旨	現 行																																																																																																																																					
337	表記の修正	<p>B-53 仮設備工 (シールド) 1. 適用範囲 本歩掛は泥水式シールド、泥土圧式シールド工事の立坑基礎、発進坑口、到達坑口、支圧壁、立坑内作業床、シールド機発進用受台、シールド機引上用受台、シールド機据付、シールド機回転据付、シールド機搬出、シールド機解体残置、シールド機仮発進、後続台車設備、鏡切り、軌条設備、殻運搬処理の各作業に適用する。</p> <p style="text-align: right;">(一式)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価 (円)</th> <th>金 額 (円)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>立 坑 基 礎</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-54</td> </tr> <tr> <td>発 進 坑 口</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-108</td> </tr> <tr> <td>到 達 坑 口</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(下位代価なし)</td> </tr> <tr> <td>支 圧 壁</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-109</td> </tr> <tr> <td>立 坑 内 作 業 床</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-110</td> </tr> <tr> <td>シールド機発進用受台</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-111</td> </tr> <tr> <td>シールド機引上用受台</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-112</td> </tr> <tr> <td>シールド機据付</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-113</td> </tr> <tr> <td>シールド機回転据付</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-114</td> </tr> <tr> <td>シールド機搬出</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-115</td> </tr> <tr> <td>シールド機解体残置</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-116</td> </tr> <tr> <td>シールド機仮発進</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-117</td> </tr> <tr> <td>後続台車設備</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-118</td> </tr> <tr> <td>鏡 切 り</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-119</td> </tr> <tr> <td>軌 条 設 備</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>C-120</td> </tr> <tr> <td>殻 運 搬</td> <td></td> <td>式orm³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>土木工事標準歩掛による</td> </tr> <tr> <td>殻 処 理</td> <td></td> <td>式orm³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>土木工事標準歩掛による</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	立 坑 基 礎		箇所				C-54	発 進 坑 口		箇所				C-108	到 達 坑 口		箇所				(下位代価なし)	支 圧 壁		箇所				C-109	立 坑 内 作 業 床		箇所				C-110	シールド機発進用受台		箇所				C-111	シールド機引上用受台		箇所				C-112	シールド機据付		箇所				C-113	シールド機回転据付		箇所				C-114	シールド機搬出		箇所				C-115	シールド機解体残置		箇所				C-116	シールド機仮発進		箇所				C-117	後続台車設備		箇所				C-118	鏡 切 り		箇所				C-119	軌 条 設 備		式	1			C-120	殻 運 搬		式orm ³				土木工事標準歩掛による	殻 処 理		式orm ³				土木工事標準歩掛による	計						
種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																																																																																																																																	
立 坑 基 礎		箇所				C-54																																																																																																																																	
発 進 坑 口		箇所				C-108																																																																																																																																	
到 達 坑 口		箇所				(下位代価なし)																																																																																																																																	
支 圧 壁		箇所				C-109																																																																																																																																	
立 坑 内 作 業 床		箇所				C-110																																																																																																																																	
シールド機発進用受台		箇所				C-111																																																																																																																																	
シールド機引上用受台		箇所				C-112																																																																																																																																	
シールド機据付		箇所				C-113																																																																																																																																	
シールド機回転据付		箇所				C-114																																																																																																																																	
シールド機搬出		箇所				C-115																																																																																																																																	
シールド機解体残置		箇所				C-116																																																																																																																																	
シールド機仮発進		箇所				C-117																																																																																																																																	
後続台車設備		箇所				C-118																																																																																																																																	
鏡 切 り		箇所				C-119																																																																																																																																	
軌 条 設 備		式	1			C-120																																																																																																																																	
殻 運 搬		式orm ³				土木工事標準歩掛による																																																																																																																																	
殻 処 理		式orm ³				土木工事標準歩掛による																																																																																																																																	
計																																																																																																																																							
366	表記の修正	<p>B-56 坑外設備工</p> <p style="text-align: right;">(一式)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価 (円)</th> <th>金 額 (円)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮 囲 い</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>(土木工事標準歩掛)</td> </tr> <tr> <td>仮 囲 い 門 扉</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>C-128</td> </tr> <tr> <td>裏 込 注 入 設 備</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>C-129</td> </tr> <tr> <td>添 加 材 注 入 設 備</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>C-130</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	仮 囲 い		式	1			(土木工事標準歩掛)	仮 囲 い 門 扉		式	1			C-128	裏 込 注 入 設 備		式	1			C-129	添 加 材 注 入 設 備		式	1			C-130	計																																																																																																	
種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																																																																																																																																	
仮 囲 い		式	1			(土木工事標準歩掛)																																																																																																																																	
仮 囲 い 門 扉		式	1			C-128																																																																																																																																	
裏 込 注 入 設 備		式	1			C-129																																																																																																																																	
添 加 材 注 入 設 備		式	1			C-130																																																																																																																																	
計																																																																																																																																							

工 種 名	管 路 施 設 (シールド工法)																																																																																																																																					
改 定																																																																																																																																						
	<p>B-53 仮設備工 (シールド) 1. 適用範囲 本歩掛は泥水式シールド、泥土圧式シールド工事の立坑基礎、発進坑口、到達坑口、支圧壁、立坑内作業床、シールド機発進用受台、シールド機引上用受台、シールド機据付、シールド機回転据付、シールド機搬出、シールド機解体残置、シールド機仮発進、後続台車設備、鏡切り、軌条設備、殻運搬処理の各作業に適用する。</p> <p style="text-align: right;">(一式)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価 (円)</th> <th>金 額 (円)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>立 坑 基 礎</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-54</td> </tr> <tr> <td>発 進 坑 口</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-108</td> </tr> <tr> <td>到 達 坑 口</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(下位代価なし)</td> </tr> <tr> <td>支 圧 壁</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-109</td> </tr> <tr> <td>立 坑 内 作 業 床</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-110</td> </tr> <tr> <td>シールド機発進用受台</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-111</td> </tr> <tr> <td>シールド機引上用受台</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-112</td> </tr> <tr> <td>シールド機据付</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-113</td> </tr> <tr> <td>シールド機回転据付</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-114</td> </tr> <tr> <td>シールド機搬出</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-115</td> </tr> <tr> <td>シールド機解体残置</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-116</td> </tr> <tr> <td>シールド機仮発進</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-117</td> </tr> <tr> <td>後続台車設備</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-118</td> </tr> <tr> <td>鏡 切 り</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-119</td> </tr> <tr> <td>軌 条 設 備</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>C-120</td> </tr> <tr> <td>殻 運 搬</td> <td></td> <td>式orm³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>土木工事標準歩掛による</td> </tr> <tr> <td>殻 処 理</td> <td></td> <td>式orm³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>土木工事標準歩掛による</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	立 坑 基 礎		箇所				C-54	発 進 坑 口		箇所				C-108	到 達 坑 口		箇所				(下位代価なし)	支 圧 壁		箇所				C-109	立 坑 内 作 業 床		箇所				C-110	シールド機発進用受台		箇所				C-111	シールド機引上用受台		箇所				C-112	シールド機据付		箇所				C-113	シールド機回転据付		箇所				C-114	シールド機搬出		箇所				C-115	シールド機解体残置		箇所				C-116	シールド機仮発進		箇所				C-117	後続台車設備		箇所				C-118	鏡 切 り		箇所				C-119	軌 条 設 備		式	1			C-120	殻 運 搬		式orm ³				土木工事標準歩掛による	殻 処 理		式orm ³				土木工事標準歩掛による	計						
種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																																																																																																																																
立 坑 基 礎		箇所				C-54																																																																																																																																
発 進 坑 口		箇所				C-108																																																																																																																																
到 達 坑 口		箇所				(下位代価なし)																																																																																																																																
支 圧 壁		箇所				C-109																																																																																																																																
立 坑 内 作 業 床		箇所				C-110																																																																																																																																
シールド機発進用受台		箇所				C-111																																																																																																																																
シールド機引上用受台		箇所				C-112																																																																																																																																
シールド機据付		箇所				C-113																																																																																																																																
シールド機回転据付		箇所				C-114																																																																																																																																
シールド機搬出		箇所				C-115																																																																																																																																
シールド機解体残置		箇所				C-116																																																																																																																																
シールド機仮発進		箇所				C-117																																																																																																																																
後続台車設備		箇所				C-118																																																																																																																																
鏡 切 り		箇所				C-119																																																																																																																																
軌 条 設 備		式	1			C-120																																																																																																																																
殻 運 搬		式orm ³				土木工事標準歩掛による																																																																																																																																
殻 処 理		式orm ³				土木工事標準歩掛による																																																																																																																																
計																																																																																																																																						
	<p>B-56 坑外設備工</p> <p style="text-align: right;">(一式)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価 (円)</th> <th>金 額 (円)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮 囲 い</td> <td></td> <td>式 or m</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>(土木工事標準歩掛)</td> </tr> <tr> <td>仮 囲 い 門 扉</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>C-128</td> </tr> <tr> <td>裏 込 注 入 設 備</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>C-129</td> </tr> <tr> <td>添 加 材 注 入 設 備</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>C-130</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	仮 囲 い		式 or m	1			(土木工事標準歩掛)	仮 囲 い 門 扉		式	1			C-128	裏 込 注 入 設 備		式	1			C-129	添 加 材 注 入 設 備		式	1			C-130	計																																																																																																	
種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																																																																																																																																
仮 囲 い		式 or m	1			(土木工事標準歩掛)																																																																																																																																
仮 囲 い 門 扉		式	1			C-128																																																																																																																																
裏 込 注 入 設 備		式	1			C-129																																																																																																																																
添 加 材 注 入 設 備		式	1			C-130																																																																																																																																
計																																																																																																																																						

頁

改定趣旨

現 行

改 定

401

表記の修正

4. 編成人員
注入口取付工の編成人員は、次表を標準とする。

表-152-1 注入口取付工の編成人員 (1回当り)

既設管径 (mm)	編成人員 (人)	
	土木一般世話役	普通作業員
250	0.05	0.15
300	0.05	0.16
350	0.06	0.18
400	0.06	0.19
450	0.07	0.21
500	0.08	0.23
600	0.10	0.30
700	0.14	0.43

4. 編成人員

注入口取付工の編成人員は、次表を標準とする。

表-152-1 注入口取付工の編成人員 (1回当り)

既設管径 (mm)	編成人員 (人)	
	土木一般世話役	普通作業員
250	0.05	0.15
300	0.05	0.16
350	0.06	0.18
400	0.06	0.19
450	0.07	0.21
500	0.08	0.23
600	0.10	0.30
700	0.14	0.43

備考 上表に記載のない既設管径の場合、直近下位の規格を適用する。

頁	改定趣旨	現 行						
402	表記の修正	E-152-1 注入口横料 【DGB32070】 (1組当り)						
		種 目	形状寸法	単位	数量	単価 (円)	金額 (円)	摘 要
		【 注 入 用 】						
		塩ビパイプ	一般管 VP φ50mm	m	4			
		塩ビエルボ	TS継手 φ50mm 90°	個	2			
		塩ビバルブソケット	TS継手 φ50mm	個	2			
		塩ビボールバルブ	φ50mm	個	2			
		【 エア抜き用 】						
		塩ビパイプ	一般管 VP φ13mm	m	4			
		塩ビエルボ	TS継手 φ13mm 90°	個	2			
		塩ビボールバルブ	φ13mm	個	1			
		計					(A)	
		注 入 ホ ー ス	高圧ホース φ50mm 20m	本	1			
		圧 力 ゲ ー ジ プ ロ テ ク タ ー		個	1			
		圧 力 ゲ ー ジ	圧力計 0.10Mpa φ100mm 1.6級	個	1			
		カ ム ロ ッ ク	φ50mm (オス・メス)	個	2			
		T 字 管	径違いチーズ φ50mm	個	2			
		ニ ッ プ ル	φ50mm	個	2			
		計					(b)	20回使用
		1 回 当 り					(B = b / 20)	
		合 計					(A+B)	

		改 定						
		E-152-1 注入口横料 【DGB32070】 (1組当り)						
		種 目	形状寸法	単位	数量	単価 (円)	金額 (円)	摘 要
		【 注 入 用 】						
		塩ビパイプ	一般管 VP φ50mm	m	4			
		塩ビエルボ	TS継手 φ50mm 90°	個	2			
		塩ビバルブソケット	TS継手 φ50mm	個	2			
		塩ビボールバルブ	φ50mm	個	2			
		【 エア抜き用 】						
		塩ビパイプ	一般管 VP φ13mm	m	4			
		塩ビエルボ	TS継手 φ13mm 90°	個	2			
		塩ビボールバルブ	φ13mm	個	1			
		計					(A)	
		注 入 ホ ー ス	高圧ホース φ50mm 20m	本	1			
		圧 力 ゲ ー ジ プ ロ テ ク タ ー		個	1			
		圧 力 ゲ ー ジ	圧力計 0.10Mpa φ100mm 1.6級	個	1			
		カ ム ロ ッ ク	φ50mm (オス・メス)	個	2			
		T 字 管	径違いチーズ φ50mm	個	2			
		ニ ッ プ ル	φ50mm	個	2			
		計					(b)	20回使用
		1 回 当 り					(B = b / 20)	
		合 計					(A+B)	

頁	改定趣旨	現 行																																							
404	表記の修正	<p>3. 編成人員 本管口仕上工の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表-153-1 本管口仕上工の編成人員 (1箇所当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">既設管径 (mm)</th> <th colspan="3">編成人員(人)</th> </tr> <tr> <th>土木一般世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>250</td><td>0.06</td><td>0.12</td><td>0.12</td></tr> <tr><td>300</td><td>0.06</td><td>0.13</td><td>0.13</td></tr> <tr><td>350</td><td>0.07</td><td>0.13</td><td>0.13</td></tr> <tr><td>400</td><td>0.07</td><td>0.14</td><td>0.14</td></tr> <tr><td>450</td><td>0.08</td><td>0.17</td><td>0.17</td></tr> <tr><td>500</td><td>0.09</td><td>0.18</td><td>0.18</td></tr> <tr><td>600</td><td>0.11</td><td>0.22</td><td>0.22</td></tr> <tr><td>700</td><td>0.14</td><td>0.29</td><td>0.29</td></tr> </tbody> </table>	既設管径 (mm)	編成人員(人)			土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	250	0.06	0.12	0.12	300	0.06	0.13	0.13	350	0.07	0.13	0.13	400	0.07	0.14	0.14	450	0.08	0.17	0.17	500	0.09	0.18	0.18	600	0.11	0.22	0.22	700	0.14	0.29	0.29
既設管径 (mm)	編成人員(人)																																								
	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																						
250	0.06	0.12	0.12																																						
300	0.06	0.13	0.13																																						
350	0.07	0.13	0.13																																						
400	0.07	0.14	0.14																																						
450	0.08	0.17	0.17																																						
500	0.09	0.18	0.18																																						
600	0.11	0.22	0.22																																						
700	0.14	0.29	0.29																																						
408	表記の修正	<p>3. 施工歩掛 (1) 1日当り仮設備設置・撤去回数 1日当り仮設備設置・撤去回数は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表-154-2 1日当り仮設備設置・撤去回数 (単位:回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>既設管径 (mm)</th> <th>250</th> <th>300</th> <th>350</th> <th>400</th> <th>450</th> <th>500</th> <th>600</th> <th>700</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>撤去</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	既設管径 (mm)	250	300	350	400	450	500	600	700	設置	10	9	8	8	7	7	6	4	撤去	12	12	11	10	10	9	8	7												
既設管径 (mm)	250	300	350	400	450	500	600	700																																	
設置	10	9	8	8	7	7	6	4																																	
撤去	12	12	11	10	10	9	8	7																																	

改 定																																							
<p>3. 編成人員 本管口仕上工の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表-153-1 本管口仕上工の編成人員 (1箇所当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">既設管径 (mm)</th> <th colspan="3">編成人員(人)</th> </tr> <tr> <th>土木一般世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>250</td><td>0.06</td><td>0.12</td><td>0.12</td></tr> <tr><td>300</td><td>0.06</td><td>0.13</td><td>0.13</td></tr> <tr><td>350</td><td>0.07</td><td>0.13</td><td>0.13</td></tr> <tr><td>400</td><td>0.07</td><td>0.14</td><td>0.14</td></tr> <tr><td>450</td><td>0.08</td><td>0.17</td><td>0.17</td></tr> <tr><td>500</td><td>0.09</td><td>0.18</td><td>0.18</td></tr> <tr><td>600</td><td>0.11</td><td>0.22</td><td>0.22</td></tr> <tr><td>700</td><td>0.14</td><td>0.29</td><td>0.29</td></tr> </tbody> </table> <p style="color: red;">備考 上表に記載のない既設管径の場合、直近下位の規格を適用する。</p>	既設管径 (mm)	編成人員(人)			土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	250	0.06	0.12	0.12	300	0.06	0.13	0.13	350	0.07	0.13	0.13	400	0.07	0.14	0.14	450	0.08	0.17	0.17	500	0.09	0.18	0.18	600	0.11	0.22	0.22	700	0.14	0.29	0.29
既設管径 (mm)		編成人員(人)																																					
	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																				
250	0.06	0.12	0.12																																				
300	0.06	0.13	0.13																																				
350	0.07	0.13	0.13																																				
400	0.07	0.14	0.14																																				
450	0.08	0.17	0.17																																				
500	0.09	0.18	0.18																																				
600	0.11	0.22	0.22																																				
700	0.14	0.29	0.29																																				
<p>3. 施工歩掛 (1) 1日当り仮設備設置・撤去回数 1日当り仮設備設置・撤去回数は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表-154-2 1日当り仮設備設置・撤去回数 (単位:回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>既設管径 (mm)</th> <th>250</th> <th>300</th> <th>350</th> <th>400</th> <th>450</th> <th>500</th> <th>600</th> <th>700</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>撤去</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p style="color: red;">備考 上表に記載のない既設管径の場合、直近下位の規格を適用する。</p>	既設管径 (mm)	250	300	350	400	450	500	600	700	設置	10	9	8	8	7	7	6	4	撤去	12	12	11	10	10	9	8	7												
既設管径 (mm)	250	300	350	400	450	500	600	700																															
設置	10	9	8	8	7	7	6	4																															
撤去	12	12	11	10	10	9	8	7																															

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路

頁	改定趣旨	現 行																								
417	表記の修正	<p>3. 使用機械及び規格 反転・形成の使用機械及び規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表-157-2 反転・形成の使用機械及び規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">既設管径 (mm)</th> <th colspan="5">規 格</th> </tr> <tr> <th>ト ラ ッ ク (クレーン装置付)</th> <th>反 転 ・ 引 込 車</th> <th>硬 化 ・ 形 成 車</th> <th>空 気 圧 縮 機</th> <th>発 動 発 電 機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>800mm 未満</td> <td>4t 級, 2.9t</td> <td>4t, 154kw</td> <td>4t, 154kw</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 5.0 m³/min</td> <td>ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 45kVA</td> </tr> </tbody> </table>	既設管径 (mm)	規 格					ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	反 転 ・ 引 込 車	硬 化 ・ 形 成 車	空 気 圧 縮 機	発 動 発 電 機	800mm 未満	4t 級, 2.9t	4t, 154kw	4t, 154kw	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 5.0 m ³ /min	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 45kVA							
既設管径 (mm)	規 格																									
	ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	反 転 ・ 引 込 車	硬 化 ・ 形 成 車	空 気 圧 縮 機	発 動 発 電 機																					
800mm 未満	4t 級, 2.9t	4t, 154kw	4t, 154kw	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 5.0 m ³ /min	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 45kVA																					
419	機械指定事項の変更	<p>5. 単価表 (3) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ト ラ ッ ク (クレーン装置付)</td> <td>4t 級, 2.9t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1 燃料消費量→31 機械損料数量→1.2</td> </tr> <tr> <td>反 転 ・ 引 込 車</td> <td>4t, 154kw</td> <td>機-19</td> <td>運転労務数量→1 燃料消費量→56 機械損料数量→1.3</td> </tr> <tr> <td>硬 化 ・ 形 成 車</td> <td>4t, 154kw</td> <td>機-19</td> <td>運転労務数量→1 燃料消費量→56 機械損料数量→1.3</td> </tr> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 5.0 m³/min</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量→37 機械賃料数量→1.8</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 45kVA</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量→31 機械賃料数量→1.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考1 反転・引込車は、更生管材の挿入工程施工に関わる専用機能車、ボイラー車、給水車、更生管材牽引装置等の機能を見込んだものである。 2 硬化・形成車は、更生管材の硬化・形成工程施工に関わる専用機能車、ボイラー車、給水車等の機能を見込んだものである。</p>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	4t 級, 2.9t	機-18	運転労務数量→1 燃料消費量→31 機械損料数量→1.2	反 転 ・ 引 込 車	4t, 154kw	機-19	運転労務数量→1 燃料消費量→56 機械損料数量→1.3	硬 化 ・ 形 成 車	4t, 154kw	機-19	運転労務数量→1 燃料消費量→56 機械損料数量→1.3	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 5.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→37 機械賃料数量→1.8	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 45kVA	機-16	燃料消費量→31 機械賃料数量→1.2
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																							
ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	4t 級, 2.9t	機-18	運転労務数量→1 燃料消費量→31 機械損料数量→1.2																							
反 転 ・ 引 込 車	4t, 154kw	機-19	運転労務数量→1 燃料消費量→56 機械損料数量→1.3																							
硬 化 ・ 形 成 車	4t, 154kw	機-19	運転労務数量→1 燃料消費量→56 機械損料数量→1.3																							
空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第1次基準値) 5.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→37 機械賃料数量→1.8																							
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 45kVA	機-16	燃料消費量→31 機械賃料数量→1.2																							

工 種 名	管路施設 (管きょ更生工法)																								
改 定																									
<p>3. 使用機械及び規格 反転・形成の使用機械及び規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表-157-2 反転・形成の使用機械及び規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">既設管径 (mm)</th> <th colspan="5">規 格</th> </tr> <tr> <th>ト ラ ッ ク (クレーン装置付)</th> <th>反 転 ・ 引 込 車</th> <th>硬 化 ・ 形 成 車</th> <th>空 気 圧 縮 機</th> <th>発 動 発 電 機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>800mm 未満</td> <td>4t 級, 2.9t</td> <td>4t, 154kw</td> <td>4t, 154kw</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第3次基準値) 5.0 m³/min</td> <td>ディーゼルエンジン駆動・超低騒音・排出ガス対策型(第3次基準値) 45kVA</td> </tr> </tbody> </table>		既設管径 (mm)	規 格					ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	反 転 ・ 引 込 車	硬 化 ・ 形 成 車	空 気 圧 縮 機	発 動 発 電 機	800mm 未満	4t 級, 2.9t	4t, 154kw	4t, 154kw	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第3次基準値) 5.0 m ³ /min	ディーゼルエンジン駆動・超低騒音・排出ガス対策型(第3次基準値) 45kVA							
既設管径 (mm)	規 格																								
	ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	反 転 ・ 引 込 車	硬 化 ・ 形 成 車	空 気 圧 縮 機	発 動 発 電 機																				
800mm 未満	4t 級, 2.9t	4t, 154kw	4t, 154kw	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第3次基準値) 5.0 m ³ /min	ディーゼルエンジン駆動・超低騒音・排出ガス対策型(第3次基準値) 45kVA																				
<p>5. 単価表 (3) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ト ラ ッ ク (クレーン装置付)</td> <td>4t 級, 2.9t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1 燃料消費量→31 機械損料数量→1.2</td> </tr> <tr> <td>反 転 ・ 引 込 車</td> <td>4t, 154kw</td> <td>機-19</td> <td>運転労務数量→1 燃料消費量→56 機械損料数量→1.3</td> </tr> <tr> <td>硬 化 ・ 形 成 車</td> <td>4t, 154kw</td> <td>機-19</td> <td>運転労務数量→1 燃料消費量→56 機械損料数量→1.3</td> </tr> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第3次基準値) 5.0 m³/min</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量→35 機械賃料数量→1.8</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>ディーゼルエンジン駆動・超低騒音・排出ガス対策型(第3次基準値) 45kVA</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量→34 機械賃料数量→1.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考1 反転・引込車は、更生管材の挿入工程施工に関わる専用機能車、ボイラー車、給水車、更生管材牽引装置等の機能を見込んだものである。 2 硬化・形成車は、更生管材の硬化・形成工程施工に関わる専用機能車、ボイラー車、給水車等の機能を見込んだものである。</p>		機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	4t 級, 2.9t	機-18	運転労務数量→1 燃料消費量→31 機械損料数量→1.2	反 転 ・ 引 込 車	4t, 154kw	機-19	運転労務数量→1 燃料消費量→56 機械損料数量→1.3	硬 化 ・ 形 成 車	4t, 154kw	機-19	運転労務数量→1 燃料消費量→56 機械損料数量→1.3	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第3次基準値) 5.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→ 35 機械賃料数量→1.8	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・ 超低騒音 ・排出ガス対策型(第3次基準値) 45kVA	機-16	燃料消費量→ 34 機械賃料数量→1.2
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																						
ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	4t 級, 2.9t	機-18	運転労務数量→1 燃料消費量→31 機械損料数量→1.2																						
反 転 ・ 引 込 車	4t, 154kw	機-19	運転労務数量→1 燃料消費量→56 機械損料数量→1.3																						
硬 化 ・ 形 成 車	4t, 154kw	機-19	運転労務数量→1 燃料消費量→56 機械損料数量→1.3																						
空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第3次基準値) 5.0 m ³ /min	機-16	燃料消費量→ 35 機械賃料数量→1.8																						
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・ 超低騒音 ・排出ガス対策型(第3次基準値) 45kVA	機-16	燃料消費量→ 34 機械賃料数量→1.2																						

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路

頁	改定趣旨	現	行																																																																																																																																																																																						
421	表記の修正	<p>4. 単価表 (1) 本管口切断工 D-158-1 本管口切断工 【DGD32270】 (1箇所当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック運転(クレーン装置付)</td> <td>4t級, 2.0t</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1日当り</td> </tr> <tr> <td>1箇所当り</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計/1日当り作業量</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 諸雑費は電動切断機の損料等であり、労務費の合計額に昼間作業の場合6%を、夜間作業の場合4%を乗じた金額を上限として計上する。</p>		種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役		人	1.0				特殊作業員		人	1.0				普通作業員		人	2.0				トラック運転(クレーン装置付)	4t級, 2.0t	日	1.0				諸雑費		式	1			備考	計						1日当り	1箇所当り						計/1日当り作業量																																																																																																																														
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																																																			
土木一般世話役		人	1.0																																																																																																																																																																																						
特殊作業員		人	1.0																																																																																																																																																																																						
普通作業員		人	2.0																																																																																																																																																																																						
トラック運転(クレーン装置付)	4t級, 2.0t	日	1.0																																																																																																																																																																																						
諸雑費		式	1			備考																																																																																																																																																																																			
計						1日当り																																																																																																																																																																																			
1箇所当り						計/1日当り作業量																																																																																																																																																																																			
422	表記の修正	<p>(3) 取付管口せん孔仕上工 D-158-3 取付管口せん孔仕上工 (1日施工) 【DGD32300】 (1箇所当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本管用TVカメラ車運転</td> <td>2t, 63kw</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧洗浄車運転</td> <td>4t, 147kw</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>せん孔機車運転</td> <td>2t, 84kw</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック運転</td> <td>2t積</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有料水使用の場合に計上</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1日当り</td> </tr> <tr> <td>1箇所当り</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計/1日当り作業量</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 諸雑費はせん孔機用ビットの消耗額等であり、労務費の合計額に昼間作業の場合4%を、夜間作業の場合3%を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>D-158-4 取付管口せん孔仕上工 (分割施工) 【DGD32310】 (1箇所当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本管用TVカメラ車運転</td> <td>2t, 63kw</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧洗浄車運転</td> <td>4t, 147kw</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>せん孔機車運転</td> <td>2t, 84kw</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック運転</td> <td>2t積</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有料水使用の場合に計上</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1日当り</td> </tr> <tr> <td>1箇所当り (分割施工・仮)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(A)</td> <td></td> <td>計/1日当り作業量</td> </tr> <tr> <td>1箇所当り (分割施工・本)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(B)</td> <td></td> <td>計/1日当り作業量</td> </tr> <tr> <td>1箇所当り</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(A+B)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 諸雑費はせん孔機用ビットの消耗額等であり、労務費の合計額に昼間作業の場合4%を、夜間作業の場合3%を乗じた金額を上限として計上する。</p>		種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役		人	1.0				特殊作業員		人	2.0				普通作業員		人	1.0				本管用TVカメラ車運転	2t, 63kw	日	1.0				高圧洗浄車運転	4t, 147kw	日	1.0				せん孔機車運転	2t, 84kw	日	1.0				トラック運転	2t積	日	1.0				水		m ³				有料水使用の場合に計上	諸雑費		式	1			備考	計						1日当り	1箇所当り						計/1日当り作業量	種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役		人	1.0				特殊作業員		人	2.0				普通作業員		人	1.0				本管用TVカメラ車運転	2t, 63kw	日	1.0				高圧洗浄車運転	4t, 147kw	日	1.0				せん孔機車運転	2t, 84kw	日	1.0				トラック運転	2t積	日	1.0				水		m ³				有料水使用の場合に計上	諸雑費		式	1			備考	計						1日当り	1箇所当り (分割施工・仮)				(A)		計/1日当り作業量	1箇所当り (分割施工・本)				(B)		計/1日当り作業量	1箇所当り				(A+B)		
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																																																			
土木一般世話役		人	1.0																																																																																																																																																																																						
特殊作業員		人	2.0																																																																																																																																																																																						
普通作業員		人	1.0																																																																																																																																																																																						
本管用TVカメラ車運転	2t, 63kw	日	1.0																																																																																																																																																																																						
高圧洗浄車運転	4t, 147kw	日	1.0																																																																																																																																																																																						
せん孔機車運転	2t, 84kw	日	1.0																																																																																																																																																																																						
トラック運転	2t積	日	1.0																																																																																																																																																																																						
水		m ³				有料水使用の場合に計上																																																																																																																																																																																			
諸雑費		式	1			備考																																																																																																																																																																																			
計						1日当り																																																																																																																																																																																			
1箇所当り						計/1日当り作業量																																																																																																																																																																																			
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																																																			
土木一般世話役		人	1.0																																																																																																																																																																																						
特殊作業員		人	2.0																																																																																																																																																																																						
普通作業員		人	1.0																																																																																																																																																																																						
本管用TVカメラ車運転	2t, 63kw	日	1.0																																																																																																																																																																																						
高圧洗浄車運転	4t, 147kw	日	1.0																																																																																																																																																																																						
せん孔機車運転	2t, 84kw	日	1.0																																																																																																																																																																																						
トラック運転	2t積	日	1.0																																																																																																																																																																																						
水		m ³				有料水使用の場合に計上																																																																																																																																																																																			
諸雑費		式	1			備考																																																																																																																																																																																			
計						1日当り																																																																																																																																																																																			
1箇所当り (分割施工・仮)				(A)		計/1日当り作業量																																																																																																																																																																																			
1箇所当り (分割施工・本)				(B)		計/1日当り作業量																																																																																																																																																																																			
1箇所当り				(A+B)																																																																																																																																																																																					

工種名	管路施設 (管きょ更生工法)																																																																																																																																																																																																																																														
改定																																																																																																																																																																																																																																															
<p>4. 単価表 (1) 本管口切断工 D-158-1 本管口切断工 【DGD32270】 (1箇所当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック運転(クレーン装置付)</td> <td>4t級, 2.9t</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1日当り</td> </tr> <tr> <td>1箇所当り</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計/1日当り作業量</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 諸雑費は電動切断機の損料等であり、労務費の合計額に昼間作業の場合6%を、夜間作業の場合4%を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>(3) 取付管口せん孔仕上工 D-158-3 取付管口せん孔仕上工 (1日施工) 【DGD32300】 (1箇所当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本管用TVカメラ車運転</td> <td>2t, 95.5kw</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧洗浄車運転</td> <td>4t, 154kw</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>せん孔機車運転</td> <td>2t, 84kw</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック運転</td> <td>2t積</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有料水使用の場合に計上</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1日当り</td> </tr> <tr> <td>1箇所当り</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計/1日当り作業量</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 諸雑費はせん孔機用ビットの消耗額等であり、労務費の合計額に昼間作業の場合4%を、夜間作業の場合3%を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>D-158-4 取付管口せん孔仕上工 (分割施工) 【DGD32310】 (1箇所当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価(円)</th> <th>金額(円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本管用TVカメラ車運転</td> <td>2t, 95.5kw</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧洗浄車運転</td> <td>4t, 154kw</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>せん孔機車運転</td> <td>2t, 84kw</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラック運転</td> <td>2t積</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有料水使用の場合に計上</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1日当り</td> </tr> <tr> <td>1箇所当り (分割施工・仮)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(A)</td> <td></td> <td>計/1日当り作業量</td> </tr> <tr> <td>1箇所当り (分割施工・本)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(B)</td> <td></td> <td>計/1日当り作業量</td> </tr> <tr> <td>1箇所当り</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(A+B)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 諸雑費はせん孔機用ビットの消耗額等であり、労務費の合計額に昼間作業の場合4%を、夜間作業の場合3%を乗じた金額を上限として計上する。</p>		種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役		人	1.0				特殊作業員		人	1.0				普通作業員		人	2.0				トラック運転(クレーン装置付)	4t級, 2.9t	日	1.0				諸雑費		式	1			備考	計						1日当り	1箇所当り						計/1日当り作業量	種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役		人	1.0				特殊作業員		人	2.0				普通作業員		人	1.0				本管用TVカメラ車運転	2t, 95.5kw	日	1.0				高圧洗浄車運転	4t, 154kw	日	1.0				せん孔機車運転	2t, 84kw	日	1.0				トラック運転	2t積	日	1.0				水		m ³				有料水使用の場合に計上	諸雑費		式	1			備考	計						1日当り	1箇所当り						計/1日当り作業量	種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要	土木一般世話役		人	1.0				特殊作業員		人	2.0				普通作業員		人	1.0				本管用TVカメラ車運転	2t, 95.5kw	日	1.0				高圧洗浄車運転	4t, 154kw	日	1.0				せん孔機車運転	2t, 84kw	日	1.0				トラック運転	2t積	日	1.0				水		m ³				有料水使用の場合に計上	諸雑費		式	1			備考	計						1日当り	1箇所当り (分割施工・仮)				(A)		計/1日当り作業量	1箇所当り (分割施工・本)				(B)		計/1日当り作業量	1箇所当り				(A+B)		
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																																																																																																									
土木一般世話役		人	1.0																																																																																																																																																																																																																																												
特殊作業員		人	1.0																																																																																																																																																																																																																																												
普通作業員		人	2.0																																																																																																																																																																																																																																												
トラック運転(クレーン装置付)	4t級, 2.9t	日	1.0																																																																																																																																																																																																																																												
諸雑費		式	1			備考																																																																																																																																																																																																																																									
計						1日当り																																																																																																																																																																																																																																									
1箇所当り						計/1日当り作業量																																																																																																																																																																																																																																									
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																																																																																																									
土木一般世話役		人	1.0																																																																																																																																																																																																																																												
特殊作業員		人	2.0																																																																																																																																																																																																																																												
普通作業員		人	1.0																																																																																																																																																																																																																																												
本管用TVカメラ車運転	2t, 95.5kw	日	1.0																																																																																																																																																																																																																																												
高圧洗浄車運転	4t, 154kw	日	1.0																																																																																																																																																																																																																																												
せん孔機車運転	2t, 84kw	日	1.0																																																																																																																																																																																																																																												
トラック運転	2t積	日	1.0																																																																																																																																																																																																																																												
水		m ³				有料水使用の場合に計上																																																																																																																																																																																																																																									
諸雑費		式	1			備考																																																																																																																																																																																																																																									
計						1日当り																																																																																																																																																																																																																																									
1箇所当り						計/1日当り作業量																																																																																																																																																																																																																																									
種目	形状寸法	単位	数量	単価(円)	金額(円)	摘要																																																																																																																																																																																																																																									
土木一般世話役		人	1.0																																																																																																																																																																																																																																												
特殊作業員		人	2.0																																																																																																																																																																																																																																												
普通作業員		人	1.0																																																																																																																																																																																																																																												
本管用TVカメラ車運転	2t, 95.5kw	日	1.0																																																																																																																																																																																																																																												
高圧洗浄車運転	4t, 154kw	日	1.0																																																																																																																																																																																																																																												
せん孔機車運転	2t, 84kw	日	1.0																																																																																																																																																																																																																																												
トラック運転	2t積	日	1.0																																																																																																																																																																																																																																												
水		m ³				有料水使用の場合に計上																																																																																																																																																																																																																																									
諸雑費		式	1			備考																																																																																																																																																																																																																																									
計						1日当り																																																																																																																																																																																																																																									
1箇所当り (分割施工・仮)				(A)		計/1日当り作業量																																																																																																																																																																																																																																									
1箇所当り (分割施工・本)				(B)		計/1日当り作業量																																																																																																																																																																																																																																									
1箇所当り				(A+B)																																																																																																																																																																																																																																											

頁 改定趣旨 現 行

改 定

423 機械指定事項の変更

(4) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
トラック (クレーン装置付)	4t 級, 2.0t	機-18	運転労務数量→1 燃料消費量→31 機械損料数量→1.2
トラック	2t 積	機-19	運転労務数量→1 燃料消費量→18 機械損料数量→1.1
本管用 TV カメラ車	2t, 63kw	機-19	運転労務数量→1 燃料消費量→11 機械損料数量→1.3
高圧洗浄車	4t, 147kw	機-19	運転労務数量→1 燃料消費量→25 機械損料数量→1.3
せん孔機車	2t, 84kw	機-19	運転労務数量→1 燃料消費量→20 機械損料数量→1.2

(4) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
トラック (クレーン装置付)	4t 級, 2.9t	機-18	運転労務数量→1 燃料消費量→31 機械損料数量→1.2
トラック	2t 積	機-19	運転労務数量→1 燃料消費量→18 機械損料数量→1.1
本管用 TV カメラ車	2t, 95.5kw	機-19	運転労務数量→1 燃料消費量→26 機械損料数量→1.3
高圧洗浄車	4t, 154kw	機-19	運転労務数量→1 燃料消費量→31 機械損料数量→1.3
せん孔機車	2t, 84kw	機-19	運転労務数量→1 燃料消費量→21 機械損料数量→1.2

424 表記の修正

2. 使用機械及び規格
仮設備の使用機械及び規格は次表を標準とする。

表-159-2 仮設備の使用機械及び規格

既設管径 (mm)	規 格	
	トラック (クレーン装置付)	発 動 発 電 機
800mm 未満	4t 級, 2.9t	ディーゼルエンジン駆動・排出 ガス対策型 (第1次基準値) 45kVA

2. 使用機械及び規格
仮設備の使用機械及び規格は次表を標準とする。

表-159-2 仮設備の使用機械及び規格

既設管径 (mm)	規 格	
	トラック (クレーン装置付)	発 動 発 電 機
800mm 未満	4t 級, 2.9t	ディーゼルエンジン駆動・超低 騒音・排出ガス対策型 (第3次 基準値) 45kVA

425 機械指定事項の変更

5. 単価表
(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
トラック (クレーン装置付)	4t 級, 2.9t	機-18	運転労務数量→1 燃料消費量→31 機械損料数量→1.2
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型 (第1次基準値) 45kVA	機-16	燃料消費量→31 機械損料数量→1.2

5. 単価表
(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
トラック (クレーン装置付)	4t 級, 2.9t	機-18	運転労務数量→1 燃料消費量→31 機械損料数量→1.2
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・超低騒音・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 45kVA	機-16	燃料消費量→34 機械損料数量→1.2

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路

426	改定趣旨 表記の修正	現 行																												
		B-67 換気工 (一式) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形状寸法</th> <th>単 位</th> <th>総括表 単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価 (円)</th> <th>金 額 (円)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換 気 設 備</td> <td></td> <td>日</td> <td>式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-160</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 換気工は、マンホール内作業の施工日数分を計上する。</p>							種 目	形状寸法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	換 気 設 備		日	式				C-160	計					
種 目	形状寸法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																							
換 気 設 備		日	式				C-160																							
計																														

427	改定趣旨 表記の修正	現 行																												
		B-68 管きよ更生水替工 (一式) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形状寸法</th> <th>単 位</th> <th>総括表 単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価 (円)</th> <th>金 額 (円)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>反 転 ・ 形 成 用 水 替</td> <td></td> <td>日</td> <td>式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-161</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 管きよ更生水替工は、施工日数分を計上する。</p>							種 目	形状寸法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	反 転 ・ 形 成 用 水 替		日	式				C-161	計					
種 目	形状寸法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																							
反 転 ・ 形 成 用 水 替		日	式				C-161																							
計																														

工 種 名	管路施設 (管きよ更生工法)																														
改 定																															
B-67 換気工 (一式) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形状寸法</th> <th>単 位</th> <th>総括表 単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価 (円)</th> <th>金 額 (円)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換 気 設 備</td> <td></td> <td>日</td> <td>式 or 日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-160</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 換気工は、マンホール内作業の施工日数分を計上する。</p>								種 目	形状寸法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	換 気 設 備		日	式 or 日				C-160	計							
種 目	形状寸法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																								
換 気 設 備		日	式 or 日				C-160																								
計																															

改 定																															
B-68 管きよ更生水替工 (一式) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形状寸法</th> <th>単 位</th> <th>総括表 単 位</th> <th>数 量</th> <th>単 価 (円)</th> <th>金 額 (円)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>反 転 ・ 形 成 用 水 替</td> <td></td> <td>日</td> <td>式 or 日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C-161</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 管きよ更生水替工は、施工日数分を計上する。</p>								種 目	形状寸法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	反 転 ・ 形 成 用 水 替		日	式 or 日				C-161	計							
種 目	形状寸法	単 位	総括表 単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																								
反 転 ・ 形 成 用 水 替		日	式 or 日				C-161																								
計																															

445	改定趣旨 施工歩掛 の改定	現 行																																																																
		<p>5. 施工歩掛 (1) 圧入掘削積込み工</p> <p style="text-align: center;">表-173-3 クラムシェル、ラフテレーンクレーン規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">種 目 呼び径 (mm)</th> <th style="text-align: center;">油 圧 式 ク ラ ム シ ェ ル テ レ ス コ ピ ッ ク 式 ク ロ ー ラ 型 (平 積)</th> <th style="text-align: center;">ラフテレーンクレーン賃料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">φ 1,500</td> <td style="text-align: center;">0.2m³</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 16 t 吊</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">φ 1,800</td> <td style="text-align: center;">0.3m³</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">φ 2,000</td> <td style="text-align: center;">0.4m³</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">φ 2,500</td> <td style="text-align: center;">0.6m³</td> <td style="text-align: center;">排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> </tr> </tbody> </table>		種 目 呼び径 (mm)	油 圧 式 ク ラ ム シ ェ ル テ レ ス コ ピ ッ ク 式 ク ロ ー ラ 型 (平 積)	ラフテレーンクレーン賃料	φ 1,500	0.2m ³	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 16 t 吊	φ 1,800	0.3m ³	φ 2,000	0.4m ³	φ 2,500	0.6m ³	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊																																																		
種 目 呼び径 (mm)	油 圧 式 ク ラ ム シ ェ ル テ レ ス コ ピ ッ ク 式 ク ロ ー ラ 型 (平 積)	ラフテレーンクレーン賃料																																																																
φ 1,500	0.2m ³	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 16 t 吊																																																																
φ 1,800	0.3m ³																																																																	
φ 2,000	0.4m ³																																																																	
φ 2,500	0.6m ³	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊																																																																
446	機械指定 事項の変更	<p>6. 単価表 (1) 圧入掘削積込み工 D-173-1 圧入掘削積込み工 【DGD40110】 (1m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">種 目</th> <th style="text-align: center;">形 状 寸 法</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">単 価 (円)</th> <th style="text-align: center;">金 額 (円)</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>M×a/T</td> <td></td> <td></td> <td>表-173-1, 2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>M×a/T</td> <td></td> <td></td> <td>表-173-1, 2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>M×a/T</td> <td></td> <td></td> <td>表-173-1, 2</td> </tr> <tr> <td>圧 入 機 運 転 費</td> <td></td> <td>時間</td> <td>a</td> <td></td> <td></td> <td>表-173-2, 機-1</td> </tr> <tr> <td>ク ラ ム シ ェ ル 運 転 費</td> <td>テレスコピック式</td> <td>時間</td> <td>a/1.9</td> <td></td> <td></td> <td>表-173-2, 3, 機-1</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型○t吊</td> <td>日</td> <td>M×a/T</td> <td></td> <td></td> <td>表-173-1~3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>端数処理</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 圧入掘削積込み工の数量は、掘削深 (H2) を計上する。 2 T : 圧入機の運転日当りの運転時間 (T=6.5)</p>		種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	M×a/T			表-173-1, 2	特 殊 作 業 員		人	M×a/T			表-173-1, 2	普 通 作 業 員		人	M×a/T			表-173-1, 2	圧 入 機 運 転 費		時間	a			表-173-2, 機-1	ク ラ ム シ ェ ル 運 転 費	テレスコピック式	時間	a/1.9			表-173-2, 3, 機-1	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型○t吊	日	M×a/T			表-173-1~3	諸 雑 費		式	1			端数処理	計						
種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																																																												
土 木 一 般 世 話 役		人	M×a/T			表-173-1, 2																																																												
特 殊 作 業 員		人	M×a/T			表-173-1, 2																																																												
普 通 作 業 員		人	M×a/T			表-173-1, 2																																																												
圧 入 機 運 転 費		時間	a			表-173-2, 機-1																																																												
ク ラ ム シ ェ ル 運 転 費	テレスコピック式	時間	a/1.9			表-173-2, 3, 機-1																																																												
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型○t吊	日	M×a/T			表-173-1~3																																																												
諸 雑 費		式	1			端数処理																																																												
計																																																																		

工 種 名	管路施設 (立坑) 編																																																															
改 定																																																																
445	<p>5. 施工歩掛 (1) 圧入掘削積込み工</p> <p style="text-align: center;">表-173-3 クラムシェル、ラフテレーンクレーン規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">種 目 呼び径 (mm)</th> <th style="text-align: center;">油 圧 式 ク ラ ム シ ェ ル テ レ ス コ ピ ッ ク 式 ク ロ ー ラ 型 (平 積)</th> <th style="text-align: center;">ラフテレーンクレーン賃料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">φ 1,500</td> <td style="text-align: center;">0.2m³</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 16 t 吊</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">φ 1,800</td> <td style="text-align: center;">0.4m³</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">φ 2,000</td> <td style="text-align: center;">0.6m³</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">φ 2,500</td> <td style="text-align: center;">0.6m³</td> <td style="text-align: center;">排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> </tr> </tbody> </table>	種 目 呼び径 (mm)	油 圧 式 ク ラ ム シ ェ ル テ レ ス コ ピ ッ ク 式 ク ロ ー ラ 型 (平 積)	ラフテレーンクレーン賃料	φ 1,500	0.2m ³	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 16 t 吊	φ 1,800	0.4m ³	φ 2,000	0.6m ³	φ 2,500	0.6m ³	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊																																																		
種 目 呼び径 (mm)	油 圧 式 ク ラ ム シ ェ ル テ レ ス コ ピ ッ ク 式 ク ロ ー ラ 型 (平 積)	ラフテレーンクレーン賃料																																																														
φ 1,500	0.2m ³	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 16 t 吊																																																														
φ 1,800	0.4m ³																																																															
φ 2,000	0.6m ³																																																															
φ 2,500	0.6m ³	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊																																																														
446	<p>6. 単価表 (1) 圧入掘削積込み工 D-173-1 圧入掘削積込み工 【DGD40110】 (1m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">種 目</th> <th style="text-align: center;">形 状 寸 法</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">単 価 (円)</th> <th style="text-align: center;">金 額 (円)</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>M×a/T</td> <td></td> <td></td> <td>表-173-1, 2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>M×a/T</td> <td></td> <td></td> <td>表-173-1, 2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>M×a/T</td> <td></td> <td></td> <td>表-173-1, 2</td> </tr> <tr> <td>圧 入 機 運 転 費</td> <td></td> <td>時間</td> <td>a</td> <td></td> <td></td> <td>表-173-2, 機-1</td> </tr> <tr> <td>ク ラ ム シ ェ ル 運 転 費</td> <td>テレスコピック式</td> <td>時間</td> <td>a/1.9</td> <td></td> <td></td> <td>表-173-2, 3, 機-1</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型○t吊</td> <td>日</td> <td>M×a/T</td> <td></td> <td></td> <td>表-173-1~3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>端数処理</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 1 圧入掘削積込み工の数量は、掘削深 (H2) を計上する。 2 T : 圧入機の運転日当りの運転時間 (T=6.0)</p>	種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	M×a/T			表-173-1, 2	特 殊 作 業 員		人	M×a/T			表-173-1, 2	普 通 作 業 員		人	M×a/T			表-173-1, 2	圧 入 機 運 転 費		時間	a			表-173-2, 機-1	ク ラ ム シ ェ ル 運 転 費	テレスコピック式	時間	a/1.9			表-173-2, 3, 機-1	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型○t吊	日	M×a/T			表-173-1~3	諸 雑 費		式	1			端数処理	計						
種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要																																																										
土 木 一 般 世 話 役		人	M×a/T			表-173-1, 2																																																										
特 殊 作 業 員		人	M×a/T			表-173-1, 2																																																										
普 通 作 業 員		人	M×a/T			表-173-1, 2																																																										
圧 入 機 運 転 費		時間	a			表-173-2, 機-1																																																										
ク ラ ム シ ェ ル 運 転 費	テレスコピック式	時間	a/1.9			表-173-2, 3, 機-1																																																										
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型○t吊	日	M×a/T			表-173-1~3																																																										
諸 雑 費		式	1			端数処理																																																										
計																																																																

頁	改定趣旨	現	行																						
448	機械指定事項の変更	<p>(5) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">圧入機</td> <td>揺動圧入機 呼び径φ1,500, φ1,800, φ2,000</td> <td rowspan="4">機-1</td> <td rowspan="4"> 運転労務数量 → 0.15 燃料消費量 → ○○kw×0.1750/kw-h 機械損料数量 → 1.0 </td> </tr> <tr> <td>揺動圧入機 呼び径φ2500</td> </tr> <tr> <td>回転圧入機 呼び径φ1,500, φ1,800, φ2,000</td> </tr> <tr> <td>回転圧入機 呼び径φ2,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">クラムシエル</td> <td>油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.2m³</td> <td rowspan="4">機-1</td> <td rowspan="4"> 運転労務数量 → 0.16 燃料消費量 → 5.9 機械損料数量 → 1.0 </td> </tr> <tr> <td>油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.3m³</td> </tr> <tr> <td>油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.4m³</td> </tr> <tr> <td>油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.6m³</td> </tr> <tr> <td>クレーン装置付トラック</td> <td>4t級, 2.9t吊</td> <td>機-1</td> <td> 運転労務数量 → 0.17 燃料消費量 → 5.3 機械損料数量 → 1.0 </td> </tr> </tbody> </table>		機械名	規格	適用単価表	指定事項	圧入機	揺動圧入機 呼び径φ1,500, φ1,800, φ2,000	機-1	運転労務数量 → 0.15 燃料消費量 → ○○kw×0.1750/kw-h 機械損料数量 → 1.0	揺動圧入機 呼び径φ2500	回転圧入機 呼び径φ1,500, φ1,800, φ2,000	回転圧入機 呼び径φ2,500	クラムシエル	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.2m³	機-1	運転労務数量 → 0.16 燃料消費量 → 5.9 機械損料数量 → 1.0	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.3m³	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.4m³	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.6m³	クレーン装置付トラック	4t級, 2.9t吊	機-1	運転労務数量 → 0.17 燃料消費量 → 5.3 機械損料数量 → 1.0
機械名	規格	適用単価表	指定事項																						
圧入機	揺動圧入機 呼び径φ1,500, φ1,800, φ2,000	機-1	運転労務数量 → 0.15 燃料消費量 → ○○kw×0.1750/kw-h 機械損料数量 → 1.0																						
	揺動圧入機 呼び径φ2500																								
	回転圧入機 呼び径φ1,500, φ1,800, φ2,000																								
	回転圧入機 呼び径φ2,500																								
クラムシエル	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.2m³	機-1	運転労務数量 → 0.16 燃料消費量 → 5.9 機械損料数量 → 1.0																						
	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.3m³																								
	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.4m³																								
	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.6m³																								
クレーン装置付トラック	4t級, 2.9t吊	機-1	運転労務数量 → 0.17 燃料消費量 → 5.3 機械損料数量 → 1.0																						
449	算定式の変更	$n = \frac{T1+T2+T3+T4+T5}{8}$ <p>ここに、 n : 機械退避・再設置回数 T1 : 機械設置撤去時間 (1.4 h) T2 : 圧入掘削積込み時間 (H2×a h) H2 : 掘削深 (m) a : 1m当り施工時間 (表-173-2) (h/m) T3 : ケーシング溶接時間 (ℓ×0.1 h) ℓ : 総溶接延長 (m) T4 : 底盤コンクリート打設時間 (V×0.2 h) V : 底盤コンクリート量 (m³) T5 : ケーシング引上げ時間 (t1×0.5 h) t1 : ケーシング引上げ長 (m)</p>																							

改	定																						
<p>(5) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">圧入機</td> <td>揺動圧入機 呼び径φ1,500, φ1,800, φ2,000</td> <td rowspan="4">機-1</td> <td rowspan="4"> 運転労務数量 → 0.17 燃料消費量 → ○○kw×0.1750/kw-h 機械損料数量 → 1.0 </td> </tr> <tr> <td>揺動圧入機 呼び径φ2500</td> </tr> <tr> <td>回転圧入機 呼び径φ1,500, φ1,800, φ2,000</td> </tr> <tr> <td>回転圧入機 呼び径φ2,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">クラムシエル</td> <td>油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.2m³</td> <td rowspan="4">機-1</td> <td rowspan="4"> 運転労務数量 → 0.16 燃料消費量 → 5.9 機械損料数量 → 1.0 </td> </tr> <tr> <td>油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.3m³</td> </tr> <tr> <td>油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.4m³</td> </tr> <tr> <td>油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.6m³</td> </tr> <tr> <td>クレーン装置付トラック</td> <td>4t級, 2.9t吊</td> <td>機-1</td> <td> 運転労務数量 → 0.17 燃料消費量 → 5.3 機械損料数量 → 1.0 </td> </tr> </tbody> </table>		機械名	規格	適用単価表	指定事項	圧入機	揺動圧入機 呼び径φ1,500, φ1,800, φ2,000	機-1	運転労務数量 → 0.17 燃料消費量 → ○○kw×0.1750/kw-h 機械損料数量 → 1.0	揺動圧入機 呼び径φ2500	回転圧入機 呼び径φ1,500, φ1,800, φ2,000	回転圧入機 呼び径φ2,500	クラムシエル	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.2m³	機-1	運転労務数量 → 0.16 燃料消費量 → 5.9 機械損料数量 → 1.0	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.3m³	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.4m³	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.6m³	クレーン装置付トラック	4t級, 2.9t吊	機-1	運転労務数量 → 0.17 燃料消費量 → 5.3 機械損料数量 → 1.0
機械名	規格	適用単価表	指定事項																				
圧入機	揺動圧入機 呼び径φ1,500, φ1,800, φ2,000	機-1	運転労務数量 → 0.17 燃料消費量 → ○○kw×0.1750/kw-h 機械損料数量 → 1.0																				
	揺動圧入機 呼び径φ2500																						
	回転圧入機 呼び径φ1,500, φ1,800, φ2,000																						
	回転圧入機 呼び径φ2,500																						
クラムシエル	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.2m³	機-1	運転労務数量 → 0.16 燃料消費量 → 5.9 機械損料数量 → 1.0																				
	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.3m³																						
	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.4m³																						
	油圧クラムシエル テレスコピック式 平積0.6m³																						
クレーン装置付トラック	4t級, 2.9t吊	機-1	運転労務数量 → 0.17 燃料消費量 → 5.3 機械損料数量 → 1.0																				
$n = \frac{T1+T2+T3+T4+T5}{H}$ <p>ここに、 n : 機械退避・再設置回数 T1 : 機械設置撤去時間 (1.4 h) T2 : 圧入掘削積込み時間 (H2×a h) H2 : 掘削深 (m) a : 1m当り施工時間 (表-173-2) (h/m) T3 : ケーシング溶接時間 (ℓ×0.1 h) ℓ : 総溶接延長 (m) T4 : 底盤コンクリート打設時間 (V×0.2 h) V : 底盤コンクリート量 (m³) T5 : ケーシング引上げ時間 (t1×0.5 h) t1 : ケーシング引上げ長 (m) H : 1日当り実作業時間で、6.7時間とする</p>																							

頁 改定趣旨 現 行

改 定

452 表記の削除 **C-179 排水運搬処理** (1箇所当り)

C-179 排水運搬処理 (1箇所当り)

種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
スライム処理工		箇所				D-179-1
泥水処分工		m ³				表-179-1
泥水処分費		m ³				表-179-1
計						〇〇箇所当り
1 箇所当り						計/〇〇箇所

備考 泥水処分工の使用機械は汚泥吸排車を標準とする。

種 目	形 状 寸 法	単 位	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
スライム処理工		箇所				D-179-1
泥水処分工		m ³				表-179-1
泥水処分費		m ³				表-179-1
計						〇〇箇所当り
1 箇所当り						計/〇〇箇所

~~備考 泥水処分工の使用機械は汚泥吸排車を標準とする。~~

下水道用設計標準歩掛表の一部改定 第1巻 管路

頁	改定趣旨	現 行																																																																													
		479	補正係数の改定	<p>2. 市場単価の補正係数 週休2日の補正の種類により,市場単価に乗じる週休2日の補正係数は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2.1 補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">規格・仕様</th> <th colspan="4">補正係数</th> </tr> <tr> <th colspan="2">現場閉所</th> <th colspan="2">交代制</th> </tr> <tr> <th>通期</th> <th>月単位</th> <th>通期</th> <th>月単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>硬質塩化ビニル管設置工</td> <td></td> <td>1.01</td> <td>1.02</td> <td>1.01</td> <td>1.02</td> </tr> <tr> <td>リップ付硬質塩化ビニル管設置工</td> <td></td> <td>1.01</td> <td>1.02</td> <td>1.01</td> <td>1.02</td> </tr> <tr> <td>砂 基 礎 工</td> <td>人力施工</td> <td>1.02</td> <td>1.04</td> <td>1.02</td> <td>1.04</td> </tr> <tr> <td>砂 基 礎 工</td> <td>機械施工</td> <td>1.02</td> <td>1.04</td> <td>1.02</td> <td>1.04</td> </tr> <tr> <td>砕 石 基 礎 工</td> <td>人力施工</td> <td>1.02</td> <td>1.04</td> <td>1.02</td> <td>1.04</td> </tr> <tr> <td>砕 石 基 礎 工</td> <td>機械施工</td> <td>1.02</td> <td>1.04</td> <td>1.02</td> <td>1.04</td> </tr> <tr> <td>組立マンホール設置工</td> <td></td> <td>1.02</td> <td>1.03</td> <td>1.01</td> <td>1.03</td> </tr> <tr> <td>小型マンホール工</td> <td></td> <td>1.00</td> <td>1.01</td> <td>1.00</td> <td>1.01</td> </tr> <tr> <td>取付管およびます設置工</td> <td>ます設置工</td> <td>1.00</td> <td>1.01</td> <td>1.00</td> <td>1.01</td> </tr> <tr> <td>取付管およびます設置工</td> <td>取付管布設及び支管取付工</td> <td>1.01</td> <td>1.02</td> <td>1.01</td> <td>1.02</td> </tr> </tbody> </table>				名 称	規格・仕様	補正係数				現場閉所		交代制		通期	月単位	通期	月単位	硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.01	1.02	リップ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.01	1.02	砂 基 礎 工	人力施工	1.02	1.04	1.02	1.04	砂 基 礎 工	機械施工	1.02	1.04	1.02	1.04	砕 石 基 礎 工	人力施工	1.02	1.04	1.02	1.04	砕 石 基 礎 工	機械施工	1.02	1.04	1.02	1.04	組立マンホール設置工		1.02	1.03	1.01	1.03	小型マンホール工		1.00	1.01	1.00	1.01	取付管およびます設置工	ます設置工	1.00	1.01	1.00	1.01	取付管およびます設置工	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.02
名 称	規格・仕様	補正係数																																																																													
		現場閉所		交代制																																																																											
		通期	月単位	通期	月単位																																																																										
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.01	1.02																																																																										
リップ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.01	1.02																																																																										
砂 基 礎 工	人力施工	1.02	1.04	1.02	1.04																																																																										
砂 基 礎 工	機械施工	1.02	1.04	1.02	1.04																																																																										
砕 石 基 礎 工	人力施工	1.02	1.04	1.02	1.04																																																																										
砕 石 基 礎 工	機械施工	1.02	1.04	1.02	1.04																																																																										
組立マンホール設置工		1.02	1.03	1.01	1.03																																																																										
小型マンホール工		1.00	1.01	1.00	1.01																																																																										
取付管およびます設置工	ます設置工	1.00	1.01	1.00	1.01																																																																										
取付管およびます設置工	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.02	1.01	1.02																																																																										

工 種 名		管 路 施 設 (市 場 単 価)			
		改 定			
2. 市場単価の補正係数		週休2日の補正の種類により,市場単価に乗じる週休2日の補正係数は次表を標準とする。			
		表 2.1 補正係数			
名 称	規格・仕様	補正係数			
		現場閉所		交代制	
		月単位	週単位	月単位	週単位
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01	1.01	1.01
リップ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01	1.01	1.01
砂 基 礎 工	人力施工	1.02	1.02	1.02	1.02
砂 基 礎 工	機械施工	1.02	1.02	1.02	1.02
砕 石 基 礎 工	人力施工	1.02	1.02	1.02	1.02
砕 石 基 礎 工	機械施工	1.02	1.02	1.02	1.02
組立マンホール設置工		1.01	1.01	1.01	1.01
小型マンホール工		1.00	1.00	1.00	1.00
取付管およびます設置工	ます設置工	1.00	1.00	1.00	1.00
取付管およびます設置工	取付管布設及び支管取付工	1.01	1.01	1.01	1.01